

2. 介護予防福祉用具貸与の支援の実態を明らかにするための調査の実施

2.1 介護予防福祉用具貸与の実態調査の実施(アンケート)

2.1.1 調査の目的

介護予防福祉用具貸与の開始時の福祉用具専門相談員の支援の実態を明らかにし、貸与期間設定がなぜ必要か、その重要性や根拠の分析、適切な期間でモニタリングがされていることによって貸与される福祉用具の過不足、利用者が不適切な使用をしていないか等の検証を行うための実事例を収集することを目的としたアンケートを実施した。

2.1.2 調査対象および抽出方法

(1) 事業所向け調査

介護予防福祉用具貸与事業所 1,000 か所を、厚生労働省介護サービス情報公表システムデータから大規模事業所を優先に抽出し、事業所の管理者を対象に調査を行った。

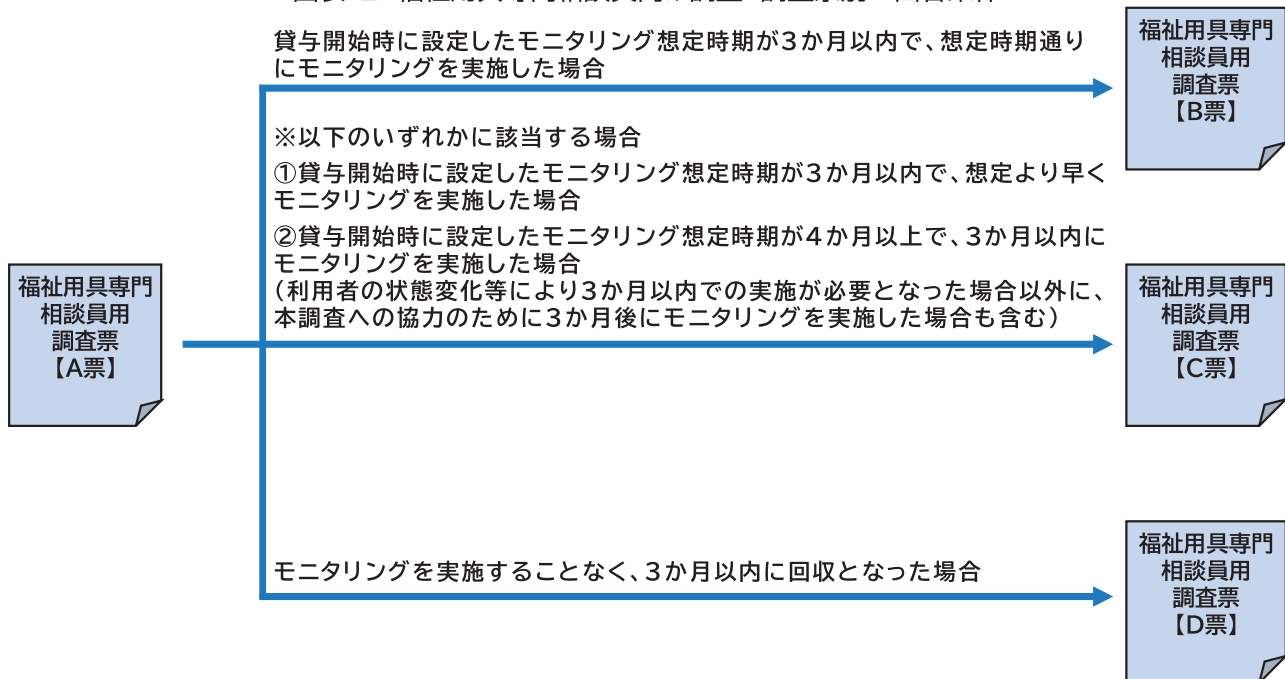
(2) 福祉用具専門相談員向け調査

(1)で抽出された事業所の利用者のうち、令和5年9月に新規で介護予防福祉用具貸与を利用開始した利用者1名を抽出していただき、担当の福祉用具専門相談員を対象に、貸与開始時点とモニタリング実施時点[※]の2時点の状況について調査を行った。

貸与開始時点にはA票に回答し、モニタリング実施時点は以下の条件に従ってB票・C票・D票の3種類のうちいずれかの調査票に回答を依頼した。

※本調査においては、貸与開始時に「利用者の状態等を踏まえ、モニタリングの実施が必要であると想定される時期」を福祉用具専門相談員自身に設定いただき、4か月以上と設定した場合も想定した時期に関わらず3か月以内にモニタリングを実施いただくこととした。

図表 2 福祉用具専門相談員向け調査 調査票別の回答条件



2.1.3 調査時期

- 事業所向け調査:令和5年9月 29 日(金)~11月 17 日(金)
- 福祉用具専門相談員向け調査:令和5年9月 29 日(金)~令和6年1月 19 日(金)

2.1.4 調査方法

- 事業所向け調査:郵送依頼・郵送回収
- 福祉用具専門相談員向け調査:郵送依頼・WEB 回収

2.1.5 回収結果

回収状況は以下の通りであった。

図表 3 回収結果

調査票	調査対象数	有効回収数(率)	
事業所向け調査	1,000	515	51.5%
福祉用具専門相談員向け調査	440 ^{※1}	206 ^{※2}	46.8%

※1…福祉用具専門相談員向け調査票は、事業所の管理者から条件に該当する担当の福祉用具専門相談員に配布いただいた。そのため、事業所向け調査に回答のあった事業所のうち、福祉用具専門相談員向け調査票の対象の選定および配布状況について「抽出条件に該当する利用者がいないため、調査への協力が難しい」と回答した事業所以外を調査対象数とした。

※2…貸与開始時点(A票)とモニタリング実施時点または回収時点(B~D票のいずれか)の回答が両方あるサンプルを有効とした。

2.1.6 調査項目

主な調査項目は以下の通り。

図表 4 主な調査項目(事業所票)

事業所の基本情報	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 回答者の基本情報 ▶ 介護保険による福祉用具貸与の利用者数(令和5年8月分) ▶ 福祉用具専門相談員の人数(令和5年8月1日時点)
事業所のサービス提供体制	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 介護予防福祉用具貸与におけるモニタリング実施体制 ▶ 介護予防福祉用具貸与におけるモニタリング実施状況
福祉用具専門相談員調査票の対象の選定および調査票の配布状況	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 福祉用具専門相談員調査票の対象の選定および調査票の配布状況

図表 5 主な調査項目(福祉用具専門相談員票 A票)

福祉用具専門相談員の基本情報	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 福祉用具専門相談員としての経験年数 ▶ 福祉用具専門相談員以外の保有資格 ▶ 履修済みの研修や取得している民間資格 ▶ 担当利用者数(令和5年8月分)
貸与開始時の利用者の基本情報	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 性別・年齢 ▶ 要介護度 ▶ 介護が必要になった主な原因(疾病・疾患等) ▶ ADL ▶ 生活範囲 ▶ 障害高齢者の日常生活自立度 ▶ 認知症高齢者の日常生活自立度 ▶ 居住環境等 ▶ 他介護予防サービスの利用状況 ▶ 特定介護予防福祉用具販売の利用状況 ▶ 介護予防住宅改修の実施状況
貸与開始時の状況等について	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 介護予防サービス・支援計画書(介護予防ケアプラン)における目標・支援計画期間 ▶ 介護予防福祉用具貸与計画作成にあたっての情報収集と評価における他職種等との連携状況 ▶ 貸与種目・福祉用具利用目標 ▶ 目標を達成するまでの想定期間・根拠 ▶ 目標を達成するまでの期間を想定するにあたって確認した事項、他職種から受けた助言や情報共有の内容 ▶ モニタリング想定時期・根拠 ▶ モニタリング時期を想定するにあたって確認した事項、他職種から受けた助言や情報共有の内容 ▶ モニタリング想定時期に想定される利用者の状況 ▶ 次回モニタリングでの確認事項

図表 6 主な調査項目(福祉用具専門相談員票 B票/C票)

モニタリング実施時の利用者の基本情報	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 年齢 ▶ 要介護度 ▶ 主な疾病・疾患 ▶ ADL ▶ 生活範囲 ▶ 障害高齢者の日常生活自立度 ▶ 認知症高齢者の日常生活自立度 ▶ 居住環境等 ▶ 他介護予防サービスの利用状況 ▶ 特定介護予防福祉用具販売の利用状況 ▶ 介護予防住宅改修の実施状況
モニタリング実施時の状況等について	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 想定した期間よりも早くモニタリングを実施した理由 ※C票のみ ▶ モニタリングでの実施内容 ▶ モニタリング時に確認した利用者の状況は、貸与開始時に想定した通りだったか ▶ 想定とは異なっていた点 ▶ 想定通りにならなかった理由として考えられる点 ▶ モニタリング結果を踏まえ、どのような判断をしたか ▶ 貸与開始からモニタリング実施までの事故、ヒヤリ・ハットの発生状況

図表 7 主な調査項目(福祉用具専門相談員票 D票)

回収となった理由	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 回収となった理由
----------	--

2.1.7 事業所向け調査結果

(1) 事業所の基本情報について

1) 要介護度別利用者数(令和5年8月分)

本調査に回答した事業所の福祉用具貸与の利用者数を要介護度別に見ると、要介護2が平均326.7人と最も多かった。要支援1では平均133.9人、要支援2では平均223.3人と、介護予防福祉用具貸与の利用者も多くいる状況が見てとれた。

図表 8 要介護度別利用者数

	件数	0人	1 ~ 4 9人	5 0 ~ 9 9人	1 0 0 ~ 4 9 9人	1 5 0 ~ 9 9 9人	2 0 0 ~ 9 9 9人	3 0 0 ~ 9 9 9人	4 0 0 ~ 9 9 9人	5 0 0 人 以上	無 回 答	平均	最 大 値	最 小 値
要支援1	515 100.0%	2 0.4%	91 17.7%	142 27.6%	100 19.4%	74 14.4%	54 10.5%	20 3.9%	12 2.3%	5 1.0%	15 2.9%	133.9	660.0	0.0
要支援2	515 100.0%	-	28 5.4%	67 13.0%	89 17.3%	86 16.7%	112 21.7%	65 12.6%	26 5.0%	27 5.2%	15 2.9%	223.3	1037.0	3.0
要介護1	515 100.0%	-	17 3.3%	44 8.5%	74 14.4%	86 16.7%	134 26.0%	63 12.2%	38 7.4%	44 8.5%	15 2.9%	258.2	1290.0	1.0
要介護2	515 100.0%	-	14 2.7%	16 3.1%	44 8.5%	69 13.4%	141 27.4%	93 18.1%	46 8.9%	77 15.0%	15 2.9%	326.7	1735.0	1.0
要介護3	515 100.0%	-	19 3.7%	67 13.0%	113 21.9%	116 22.5%	108 21.0%	42 8.2%	12 2.3%	23 4.5%	15 2.9%	203.7	1056.0	1.0
要介護4	515 100.0%	2 0.4%	29 5.6%	131 25.4%	150 29.1%	80 15.5%	72 14.0%	17 3.3%	7 1.4%	12 2.3%	15 2.9%	155.5	1020.0	0.0
要介護5	515 100.0%	2 0.4%	119 23.1%	203 39.4%	101 19.6%	40 7.8%	24 4.7%	5 1.0%	3 0.6%	3 0.6%	15 2.9%	96.8	814.0	0.0
変更・申請中	515 100.0%	117 22.7%	340 66.0%	30 5.8%	9 1.7%	2 0.4%	2 0.4%	-	-	-	15 2.9%	18.7	252.0	0.0

2) 福祉用具専門相談員の人数(令和5年8月1日時点)

本調査に回答した事業所の福祉用具専門相談員の人数は、「6~10人」が最も多く54.8%、次いで「11~20人」が28.9%であり、平均は10.9人であった。

図表 9 福祉用具専門相談員の人数(令和5年8月1日時点)

件数	1 ~ 5 人	6 ~ 1 0 人	1 1 ~ 2 0 人	2 1 ~ 3 0 人	3 1 人 以上	無 回 答	平均	最 大 値	最 小 値
515 100.0%	33 6.4%	282 54.8%	149 28.9%	24 4.7%	10 1.9%	17 3.3%	10.9	52.0	3.0

(2) 事業所のサービス提供体制について

1) 介護予防福祉用具貸与におけるモニタリング実施体制

介護予防福祉用具貸与におけるモニタリング実施体制は、「担当の福祉用具専門相談員が原則対応している」が59.4%であり、「モニタリング専門の福祉用具専門相談員が原則対応している」よりもやや多かった。

「その他」の主な自由記述回答は図表 11 の通り。

図表 10 介護予防福祉用具貸与におけるモニタリング実施体制【複数回答】

件数	担当の福祉用具専門相談員が原則対応している	モニタリング専門の福祉用具専門相談員が原則対応している	その他	無回答
515	306 59.4%	245 47.6%	17 3.3%	3 0.6%

図表 11 介護予防福祉用具貸与におけるモニタリング実施体制「その他」の主な回答例

- ▶ 初回モニタリングは担当の福祉用具専門相談員、定期モニタリングはモニタリング専門の福祉用具専門相談員が対応している
- ▶ 営業・配送の分業制:モニタリングは共に行う
- ▶ 点検時のモニタリングは点検担当が実施
- ▶ 担当の福祉用具専門相談員並びに「営業支援員」(福祉用具専門相談員)が対応
- ▶ 担当の福祉用具専門相談員が6割、モニタリング専門の福祉用具専門相談員が4割
- ▶ 6ヶ月に一度のペースで営業所全体で対応に伺っています
- ▶ 兼務で全員が聞きとりしている
- ▶ 担当の地域を複数人の福祉用具専門相談員で対応している

2) 介護予防福祉用具貸与における初回モニタリング¹の実施状況

a. 初回モニタリングを行うことを事業所として定めているか

介護予防福祉用具貸与において「初回モニタリングを行うことを事業所として定めているか」については、約8割の事業所が何らかのルールを定めていると回答しており、そのうち「全ての利用者・福祉用具について必ず行うようルールを定めている」が75.0%と最も多かった。

図表 12 初回モニタリングを行うことを事業所として定めているか

件数	全体的に必ず行うよう利用者・福祉用具に	めよ貸てつ与いてして行うよう福祉用具に定	ル利一用ル者をして定めて行うよう	談く事員、業の担当として福祉の任用器具専門は相	その他	無回答
515	386	20	15	88	4	2
100.0%	75.0%	3.9%	2.9%	17.1%	0.8%	0.4%

b. 初回モニタリングを行う時期について、事業所としてルールを定めているか

介護予防福祉用具貸与において初回モニタリングを行うことを定めている事業所のうち、その実施時期を「事業所としてルールを定めている」割合は91.7%であった。

また、実施時期を定めている場合の具体的な実施時期としては、「貸与開始から1週間以内」が46.4%と最も多く、次いで「貸与開始から2週間以内」が28.5%であり、実施時期を定めている事業所のうち81.6%、本調査に回答した515事業所全体のうち61.2%が貸与開始から1ヶ月以内に実施するようルールを定めていた。

「その他」の主な自由記述回答は図表 15 の通り。

図表 13 初回モニタリングを行う時期について、事業所としてルールを定めているか

件数	て事業所としてルールを定め	談く事員、業の担当として福祉の任用器具専門は相	無回答
421	386	33	2
100.0%	91.7%	7.8%	0.5%

¹ 本調査においては、初回モニタリングを「納品後の福祉用具を使用できているかの確認を行うためのモニタリング」と定義した。

図表 14 事業所として定めているルール

件数	貸与開始から1週間以内	貸与開始から2週間以内	貸与開始から3週間以内	貸与開始から1ヶ月以内	その他	無回答
386	179	110	1	25	70	1
100.0%	46.4%	28.5%	0.3%	6.5%	18.1%	0.3%

図表 15 事業所として定めているルール「その他」の主な回答例

▶ デモ利用開始から3週間以内	▶ 契約時(訪問前に電話にて)
▶ 納品後はデモにして契約が決まればモニタリング	▶ 貸与から4ヶ月~6ヶ月後
▶ 初回契約時	▶ 貸与開始から6ヶ月以内
	▶ 半年のスパンで点検

c. 初回モニタリングを行う方法として、事業所において最も多いものはどれか

初回モニタリングを行う方法として最も多いものは、「利用者・家族への電話による確認」が57.3%、次いで「利用者宅への訪問による確認」が33.0%であり、全体の90.3%が本人または家族からの情報をもとに初回モニタリングを行っていた。

「その他」の主な自由記述回答は図表 17 の通り。

図表 16 初回モニタリングを行う方法として、事業所において最も多いものはどれか

件数	利用者・家族への電話による確認	ケアマネジャーからの情報による確認	他の介護情報による事業所確認	利用者宅への訪問による確認	その他	無回答
515	295	22	-	170	4	24
100.0%	57.3%	4.3%	-	33.0%	0.8%	4.7%

図表 17 初回モニタリングを行う方法として、事業所において最も多いものはどれか「その他」の主な回答例

▶ コロナ感染状況による	▶ 1週間のデモ後による確認
▶ 1週間のデモ利用	▶ 状況に合わせ個別に判断

3) 介護予防福祉用具貸与における定期モニタリング²の実施状況

a. 定期モニタリングを行う時期について、事業所としてルールを定めているか

介護予防福祉用具貸与における定期モニタリングを行う時期は、「事業所としてルールを定めている」が97.7%であった。

また、実施時期について事業所としてルールを定めている場合の具体的な実施時期は「貸与開始から4～6ヶ月以内」が84.9%と最も多く、「貸与開始から1～3ヶ月以内」を含めると、実施時期を定めている事業所のうち90.5%、本調査に回答した515事業所全体のうち88.3%が、6ヶ月以内に定期モニタリングを実施するようルールを定めていた。

「その他」の主な自由記述回答は図表 20 の通り。

図表 18 定期モニタリングを行う時期について、事業所としてルールを定めているか

件数	事業所としてルールを定めている	談く事、業員の担当と断のしに福て任社のせ用具い専る門は相な	無回答
515	503	10	2
100.0%	97.7%	1.9%	0.4%

図表 19 事業所として定めているルール

件数	1貸与3開始月か以内	4貸与6開始月か以内	7貸与9開始月か以内	1貸与0開始2月以内	その他	無回答
503	28	427	14	9	25	-
100.0%	5.6%	84.9%	2.8%	1.8%	5.0%	-

図表 20 事業所として定めているルール「その他」の主な回答例

▶ ケアプランの目標更新のタイミング	▶ 介護支援専門員の計画書に合わせる
▶ ケアプラン短期目標に合わせて	▶ 利用者のご希望に合わせて

² 本調査においては、定期モニタリングを「納品後の福祉用具の目標達成状況の確認を行うためのモニタリング」と定義した。

b. 定期モニタリングを行う方法として、事業所において最も多いのはどれか

定期モニタリングを行う方法として最も多いものは、「利用者宅への訪問による確認」が87.0%であり、「利用者・家族への電話による確認」を含めると、全体の97.5%が利用者や家族からの直接の聞き取りにより定期モニタリングを実施していた。

「その他」の主な自由記述回答は図表 22 の通り。

図表 21 定期モニタリングを行う方法として、事業所において最も多いのはどれか

件数	利用者・家族への電話による確認	ケアマネジャーからの情報による確認	他の介護情報による事業所確認	利用者宅への訪問による確認	その他	無回答
515	54	3	-	448	3	7
100.0%	10.5%	0.6%	-	87.0%	0.6%	1.4%

図表 22 定期モニタリングを行う方法として、事業所において最も多いのはどれか「その他」の主な回答例

- ▶ コロナ感染状況による
- ▶ 本来は「利用者宅への訪問による確認」だが、コロナ感染症防止の為、現在は「利用者・家族への電話による確認」
- ▶ 電話と訪問同数程度

2.1.8 福祉用具専門相談員向け調査結果

(1) 貸与開始時の利用者の状況および福祉用具専門相談員の想定

1) 要介護度

貸与開始時の利用者の要介護度は、「要支援1」が40.3%、「要支援2」が56.3%であった。

図表 23 貸与開始時の要介護度

件数	要支援1	要支援2	無回答
206	83	116	7
100.0%	40.3%	56.3%	3.4%

2) 貸与種目数

貸与開始時の貸与種目数は、要支援1・2ともに「1種目」が約8割、「2種目」が約2割であり、4種目以上貸与している利用者はいなかった。

図表 24 貸与開始時の貸与種目数

		件数	1種目	2種目	3種目	無回答
貸与要介護開始時の	要支援1	83	68 81.9%	14 16.9%	1 1.2%	-
	要支援2	116	92 80.0%	22 18.3%	2 1.7%	-
	無回答	7	5 62.5%	2 37.5%	-	-

3) 貸与開始時の貸与種目・種類

貸与開始時の貸与種目は、「手すり」が52.9%と最も多く、次いで「歩行器」が44.2%、「歩行補助つえ」が15.5%であった。なお、介護給付費実態統計(2023年9月分)の給付件数と比較したところ、「歩行器」及び「歩行補助つえ」がやや多く、「特殊寝台(付属品含む)」及び「スロープ」がやや少なかったが、概ね傾向は一致していた。

「手すり」、「スロープ」、「歩行器」、「歩行補助つえ」の4種目について、その具体的な種類や設置場所は、図表 26～図表 29 に示す通り。

図表 25 貸与種目【複数回答】

	件数	車いす (付属品含む)	特殊寝台 (付属品含む)	手すり	スロープ	歩行器	歩行補助つえ	その他	無回答	
本調査	206	8 3.9%	8 3.9%	109 52.9%	1 0.5%	91 44.2%	32 15.5%	1 0.5%	-	(単位:件)
(参考)介護給付費実態統計 (2023年9月分)	1,407.7	57.3 4.1%	126.6 9.0%	727.0 51.6%	75.8 5.4%	320.5 22.8%	96.0 6.8%	4.4 0.3%	-	(単位:千件)

※介護給付費実態統計における件数は、単位未満での四捨五入のため、内訳の合計が件数の総数と一致しない。

図表 26 手すりの種類【複数回答】

件数	玄関 上がりかまち	寝室・居室・廊下	トイレ	屋外	無回答
109	41 37.6%	69 63.3%	26 23.9%	14 12.8%	1 0.9%

図表 27 スロープの種類【複数回答】

件数	携帯用 (折りたたみ式等)	固定用 (据え置き型等)	無回答
1	-	1 100.0%	-

図表 28 歩行器の種類【複数回答】

件数	キャスターなし	歩行車・タイプ、2つ以上のキャスター付き	無回答
91	3 3.3%	88 96.7%	2 2.2%

図表 29 歩行補助つえの種類【複数回答】

件数	多点杖	多点杖以外	無回答
32	30 93.8%	1 3.1%	1 3.1%

a. 手すりの個数

手すりを貸与している場合、その合計個数は「1個」の場合が6割以上であり、最大値は9個であった。設置している場所別に見ると、いずれにおいても「1個」が最も多く7割以上を占め、「玄関上がりかまち」および「トイレ」では100%であった。「寝室・居室・廊下」では最大値が7個、「屋外」では最大値が2個であった。

図表 30 手すりの個数

	件数	1個	2個	3個	4個	5個以上	無回答	平均	最小値	最大値
合計	109	68 100.0% 62.4%	18 16.5%	14 12.8%	4 3.7%	2 1.8%	3 2.8%	1.7	1	9
玄関上がりかまち	41	41 100.0%	-	-	-	-	-	1.0	1	1
寝室・居室・廊下	69	49 100.0% 71.0%	12 17.4%	4 5.8%	1 1.4%	1 1.4%	2 2.9%	1.4	1	7
トイレ	26	26 100.0%	-	-	-	-	-	1.0	1	1
屋外	14	11 100.0% 78.6%	2 14.3%	-	-	-	1 7.1%	1.2	1	2

※手すりの個数の数え方が事業所によって異なる可能性があることに留意する必要がある。

4) 目標を達成するまでの想定期間

貸与開始時に設定した目標を達成するまでの想定期間は、図表 31 に示す通り。

「手すり」、「歩行器」、「歩行補助つえ」とともに「10か月～12か月」が最も多く約4～5割、次いで「4か月～6か月」が約2～4割程度であり、種目ごとの大きな傾向の差は見られなかった。

図表 31 目標を達成するまでの想定期間

	件数	3か月以内	4か月～6か月	7か月～9か月	10か月～12か月	13か月以上	無回答	平均	最小値	最大値
車いす(付属品含む)	8	1 12.5%	4 50.0%	-	3 37.5%	-	-	7.6	0.5	12.0
特殊寝台(付属品含む)	8	3 37.5%	1 12.5%	-	3 37.5%	-	1 12.5%	6.6	1.0	12.0
手すり	109	11 10.1%	27 24.8%	3 2.8%	54 49.5%	4 3.7%	10 9.2%	9.5	0.0	24.0
スロープ	1	-	1 100.0%	-	-	-	-	6.0	6.0	6.0
歩行器	91	8 8.8%	33 36.3%	4 4.4%	39 42.9%	2 2.2%	5 5.5%	8.7	0.5	24.0
歩行補助つえ	32	1 3.1%	7 21.9%	4 12.5%	16 50.0%	2 6.3%	2 6.3%	10.5	3.0	24.0
その他	1	1 100.0%	-	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0

a. 目標を達成するまでの想定期間の根拠

4)で設定した目標を達成するまでの想定期間の根拠は、「福祉用具専門相談員としての見立て」が69.4%と最も多く、次いで「利用者・家族による意向」が49.0%、「介護支援専門員からの助言・情報共有」が38.8%であり、他介護サービス事業者や医師、リハビリテーション専門職からの助言・情報共有を根拠としている割合は1割に満たなかった。

他介護予防サービスの利用状況別に見ると、他介護サービス事業者や医師、リハビリテーション専門職からの助言・情報共有を根拠としているのは、主に介護予防訪問看護、介護予防訪問リハビリテーション、介護予防通所リハビリテーション、介護予防短期入所生活介護を利用している場合であった。

図表 32 目標を達成するまでの想定期間の根拠【複数回答】

件数	の福祉用具専門相談員としての見立て	利用者・家族による意向	介護支援専門員からの助言・情報共有	他介護サービス事業者からの助言・情報共有	医師からの助言・情報共有	からリハビリテーション専門職からの助言・情報共有	介護予防ケアプランの支援計画期間に準拠	その他	無回答
206	143 69.4%	101 49.0%	80 38.8%	5 2.4%	2 1.0%	8 3.9%	42 20.4%	5 2.4%	2 1.0%

図表 33 目標を達成するまでの想定期間の根拠×他介護予防サービスの利用状況【複数回答】

	件数	の福祉用具見立て 専門相談員として	利用者・家族による意向	介護支援専門員からの助言・情報共有	他介護サービス事業者からの助言・情報共有	医師からの助言・情報共有	リハビリテーション専門職からの助言・情報共有	介護予防ケアプランの支援 計画期間に準拠	その他	無回答
全体	206	143 69.4%	101 49.0%	80 38.8%	5 2.4%	2 1.0%	8 3.9%	42 20.4%	5 2.4%	2 1.0%
特になし	103	69 67.0%	55 53.4%	40 38.8%	-	1 1.0%	1 1.0%	19 18.4%	2 1.9%	1 1.0%
介護予防訪問入浴介護	8	7 87.5%	4 50.0%	3 37.5%	-	-	-	1 12.5%	-	-
介護予防訪問看護	15	10 66.7%	9 60.0%	5 33.3%	2 13.3%	-	3 20.0%	5 33.3%	-	-
介護予防訪問リハビリテーション	15	11 73.3%	7 46.7%	6 40.0%	-	-	4 26.7%	4 26.7%	-	-
介護予防居宅療養管理指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防通所リハビリテーション	62	42 67.7%	26 41.9%	24 38.7%	3 4.8%	1 1.6%	2 3.2%	13 21.0%	3 4.8%	1 1.6%
介護予防短期入所生活介護	5	5 100.0%	4 80.0%	3 60.0%	-	1 20.0%	1 20.0%	2 40.0%	-	-
介護予防短期入所療養介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防認知症対応型通所介護	2	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	-	-	-	-	-	-
介護予防小規模多機能型居宅介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

b. 目標を達成するまでの期間を想定するにあたって確認した事項

aで「福祉用具専門相談員としての見立て」を選択した場合に、目標を達成するまでの期間を想定するにあたって確認した事項は、「利用者・家族の意欲・意向」が87.4%と最も多く、次いで「身体状況・ADL」が79.7%であった。

図表 34 目標を達成するまでの期間を想定するにあたって確認した事項【複数回答】

件数	利用者・家族の意欲・意向	身体状況・ADL	疾病・疾患	介護環境	住環境	転倒・転落の経験	(活動・参加の頻度や状況 目的等)	その他	無回答
143	125 87.4%	114 79.7%	58 40.6%	33 23.1%	62 43.4%	49 34.3%	40 28.0%	1 0.7%	4 2.8%

※図表 32 で「福祉用具専門相談員としての見立て」を選択した場合のみ回答対象。

5) モニタリング想定時期

貸与開始時に設定したモニタリング想定時期は、図表 35 に示す通り。

「手すり」、「歩行器」、「歩行補助つえ」とともに「3か月以内」が最も多く約4～5割、次いで「4か月～6か月」が約2～3割程度であり、種目ごとの大きな傾向の差は見られなかった。

図表 35 モニタリング想定時期

	件数	1か月以内	2か月以内	3か月以内	4～6か月以内	7～9か月以内	10～12か月以内	13か月以上	無回答	平均	最小値	最大値
車いす(付属品含む)	8	3 37.5%	1 12.5%	2 25.0%	2 25.0%	-	-	-	-	2.9	1.0	6.0
特殊寝台(付属品含む)	8	1 12.5%	2 25.0%	3 37.5%	1 12.5%	-	-	1 12.5%	-	4.4	1.0	15.0
手すり	109	13 11.9%	12 11.0%	52 47.7%	25 22.9%	2 1.8%	-	-	5 4.6%	3.3	0.0	8.0
スロープ	1	-	-	1 100.0%	-	-	-	-	-	3.0	3.0	3.0
歩行器	91	18 19.8%	10 11.0%	33 36.3%	23 25.3%	1 1.1%	-	1 1.1%	5 5.5%	3.3	0.0	15.0
歩行補助つえ	32	3 9.4%	5 15.6%	17 53.1%	6 18.8%	1 3.1%	-	-	-	3.3	1.0	8.0
その他	1	1 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0

※モニタリング想定時期は貸与種目ごとではなく利用者ごとに回答しているため、複数種目を貸与している場合には重複が含まれていることに留意されたい。

a. モニタリング想定時期の根拠

5)で設定したモニタリング想定時期の根拠は、「福祉用具専門相談員としての見立て」が74.3%と最も多く、次いで「利用者・家族による意向」が22.3%、「事業所としての基本的な方針」が21.4%であった。他介護サービス事業者や医師、リハビリテーション専門職からの助言・情報共有を根拠としている割合は、目標を達成するまでの想定期間と同じく1割に満たず、主に介護予防訪問介護、介護予防訪問リハビリテーション、介護予防通所リハビリテーション、介護予防短期入所生活介護を利用している場合であった。

図表 36 モニタリング想定時期の根拠【複数回答】

件数	の福祉用具専門相談員としての見立て	利用者・家族による意向	介護支援専門員からの助言・情報共有	の他介護サービス事業者からの助言・情報共有	医師からの助言・情報共有	からのリハビリテーション専門職の助言・情報共有	期間目標を達成するまでの想定	針事業所としての基本的な方針	その他	無回答
206	153 74.3%	46 22.3%	31 15.0%	2 1.0%	-	4 1.9%	20 9.7%	44 21.4%	7 3.4%	2 1.0%

図表 37 モニタリング想定時期の根拠×他介護予防サービスの利用状況【複数回答】

	件数	の福祉用具見立て 専門相談員として	利用者・家族による意向	介護支援専門員からの助言・情報共有	他介護サービス事業者からの助言・情報共有	医師からの助言・情報共有	リハビリテーション専門職からの助言・情報共有	期間目標を達成するまでの想定	事業所としての基本的な方針	その他	無回答
全体	206	153 74.3%	46 22.3%	31 15.0%	2 1.0%	-	4 1.9%	20 9.7%	44 21.4%	7 3.4%	2 1.0%
特になし	103	78 75.7%	19 18.4%	12 11.7%	1 1.0%	-	1 1.0%	5 4.9%	21 20.4%	3 2.9%	1 1.0%
介護予防訪問入浴介護	8	7 87.5%	2 25.0%	1 12.5%	-	-	-	-	3 37.5%	-	-
介護予防訪問看護	15	11 73.3%	3 20.0%	2 13.3%	-	-	1 6.7%	2 13.3%	4 26.7%	-	-
介護予防訪問リハビリテーション	15	12 80.0%	4 26.7%	3 20.0%	-	-	1 6.7%	2 13.3%	3 20.0%	1 6.7%	-
介護予防居宅療養管理指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防通所リハビリテーション	62	41 66.1%	14 22.6%	12 19.4%	1 1.6%	-	2 3.2%	10 16.1%	15 24.2%	3 4.8%	1 1.6%
介護予防短期入所生活介護	5	5 100.0%	1 20.0%	2 40.0%	-	-	1 20.0%	-	-	1 20.0%	-
介護予防短期入所療養介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防認知症対応型通所介護	2	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	-	-	-	-	-	-	-
介護予防小規模多機能型居宅介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

b. モニタリング時期を想定するにあたって確認した事項

a で「福祉用具専門相談員としての見立て」を選択した場合に、モニタリング時期を想定するにあたって確認した事項は、「身体状況・ADL」が 79.1%と最も多く、次いで「利用者・家族の意欲・意向」が 75.2%であった。

図表 38 モニタリング時期を想定するにあたって確認した事項【複数回答】

件数	利用者・家族の意欲・意向	身体状況・ADL	疾病・疾患	介護環境	住環境	転倒・転落の経験	（外出・参加の頻度や状況目的等）	その他	無回答
153	115 75.2%	121 79.1%	32 20.9%	22 14.4%	49 32.0%	48 31.4%	38 24.8%	5 3.3%	1 0.7%

※図表 36 で「福祉用具専門相談員としての見立て」を選択した場合のみ回答対象。

c. 次回モニタリングでの確認事項

貸与開始時に想定している次回モニタリングでの確認事項は、「福祉用具の利用状況の確認(場所・頻度・使用方法・安全性等)」が97.1%と最も多く、次いで「利用者の状態像の変化の確認」が80.1%、「利用者・家族の意欲・意向の変化の確認」が64.6%、「介護環境・住環境等の変化の確認」が48.5%であった。

図表 39 次回モニタリングでの確認事項【複数回答】

件数	用確福 方認祉 法用具 （場 所・利 用状 況の 安全・ 頻度・ 使用 等）	の利 用者 の状 態像 の変 化	意利 向用 の者 変・家 化族 のの 確認 意欲・ 意向	変介 化護 の環 境 確認 ・住 環 境 等 の	そ の 他	無 回 答
206	200 97.1%	165 80.1%	133 64.6%	100 48.5%	4 1.9%	5 2.4%

6) 目標を達成するまでの想定期間とモニタリング想定時期の差

4)で設定した目標を達成するまでの想定期間と、5)で設定したモニタリング想定時期の差を見ると、いずれの種目においても目標を達成するまでの想定期間の方が長い割合の方が高く、目標を達成するよりも前にモニタリングの実施を想定している場合が多いことがわかった。

図表 40 目標を達成するまでの想定期間とモニタリング想定時期の差

	件数	モニタリング想定時期のほうが長い							同じ 0 か 月	目標を達成するまでの想定期間のほうが長い							不 明	
		1 3 か 月 以 上	1 0 5 1 2 か 月 以 内	7 9 か 月 以 内	4 6 か 月 以 内	3 か 月 以 内	2 か 月 以 内	1 か 月 以 内		1 か 月 以 内	2 か 月 以 内	3 か 月 以 内	4 6 か 月 以 内	7 9 か 月 以 内	1 0 5 1 2 か 月 以 内	1 3 か 月 以 上		
車いす(付属品含む)	8	-	-	-	1 12.5%	-	-	-	-	-	-	-	1 12.5%	4 50.0%	1 12.5%	1 12.5%	-	-
特殊寝台(付属品含む)	8	-	-	-	-	-	1 12.5%	2 25.0%	-	-	-	1 12.5%	1 12.5%	2 25.0%	-	-	-	1 12.5%
手すり	109	-	-	-	2 1.8%	-	2 1.8%	7 6.4%	2 1.8%	2 1.8%	2 1.8%	15 13.8%	21 19.3%	28 25.7%	12 11.0%	4 3.7%	14 12.8%	-
スロープ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0%	-	-	-	-	-
歩行器	91	-	-	1 1.1%	1 1.1%	-	-	3 3.3%	8 8.8%	6 6.6%	-	7 7.7%	26 28.6%	14 15.4%	14 15.4%	2 2.2%	9 9.9%	-
歩行補助つえ	32	-	-	-	-	-	-	1 3.1%	1 3.1%	2 6.3%	3 9.4%	8 25.0%	9 28.1%	4 12.5%	2 6.3%	2 6.3%	-	
その他	1	-	-	-	-	-	-	1 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※モニタリング想定時期は貸与種目ごとではなく利用者ごとに回答しているため、複数種目を貸与している場合には重複が含まれていることに留意されたい。

(2) モニタリング想定時期と実際のモニタリング実施時期の差

貸与開始時に設定したモニタリング想定時期と、実際のモニタリング実施時期の差を見ると、「想定時期通りにモニタリングを実施」した割合は 49.0%、本調査への協力以外の理由で「想定より早くモニタリングを実施」した割合は 18.0%、「モニタリングを実施せず回収」した割合は 17.5%であった。

図表 41 モニタリング想定時期と実際のモニタリング実施時期の差

件数	想定時期通りにモニタリングを実施	想定より早くモニタリングを実施			モニタリングを実施せず回収
		想定より早くモニタリングを実施 想定時期が3か月以内で、	想定より早くモニタリングを実施 想定時期が4か月以上で、	本調査への協力のため 想定時期が3か月以上に	
206	101	27	10	32	36
100.0%	49.0%	13.1%	4.9%	15.5%	17.5%

1) 想定より早くモニタリングを実施した理由

(2)で本調査への協力以外の理由で「想定より早くモニタリングを実施」した場合、その理由は、「介護支援専門員から相談・依頼があったため」が 43.2%と最も多く、次いで「利用者・家族から相談・依頼があったため」が 37.8%であり、「利用者の状態像を踏まえ必要と判断したため」は 16.2%であった。その他の理由は図表 43 に示す通り。

図表 42 想定より早くモニタリングを実施した理由【複数回答】

件数	利用者・家族から相談・依頼があったため	介護支援専門員から相談・依頼があったため	利用者の状態像を踏まえ必要と判断したため	その他	無回答
37	14	16	6	5	5
	37.8%	43.2%	16.2%	13.5%	13.5%

※図表 41 で「想定より早くモニタリングを実施」に該当する場合のみ回答対象。

図表 43 想定より早くモニタリングを実施した理由「その他」の回答例

- ▶ 介護保険更新時期になったため
- ▶ 毎月の集金時に確認するため、3か月以内の実施
- ▶ 利用商品の解約があったため

2) 回収となった理由

(2)で「モニタリングを実施せず回収」した理由は、多くの場合、生活環境の変化や身体状況の変化が主な理由として挙げられており、「利用者の身体状況が改善したため」が41.7%と最も多く、次いで「利用者が医療機関に入院したため」が36.1%となっているが、「利用者が使用しなかったため」も13.9%あった。

また、利用者の身体状況の悪化が想定される「利用者が医療機関に入院したため」、「利用者の身体状況が悪化したため」、「利用者が死亡したため」を合計すると50.0%となり、「利用者の身体状況が改善したため」よりも割合が高かった。

その他の理由は図表 45 に示す通り。

図表 44 回収となった理由【複数回答】

件数	利用者が医療機関に入院したため	利用者がサービス付き高齢者向け住宅に入居したため	利用者が介護老人保健施設に入所したため	利用者の身体状況が悪化したため	利用者の身体状況が改善したため	利用者が転居（親族宅等）したため	介護者介護への切り替えのため	住宅改修・リフォームへの切り替えのため	自立判定により保険適用外となったため	利用者が使用しなかったため	利用者が死亡したため	購入品への切り替えのため	他社への入れ替えのため	経済的理由のため	その他	無回答
36	13 36.1%	2 5.6%	1 2.8%	3 8.3%	15 41.7%	1 2.8%	-	1 2.8%	-	5 13.9%	2 5.6%	1 2.8%	-	-	2 5.6%	-

※図表 41 で「モニタリングを実施せず回収」に該当する場合のみ回答対象。

図表 45 回収となった理由「その他」の回答例

<ul style="list-style-type: none"> ▶ 冬になり雪が降り利用できないため ▶ 他の移動手段を利用するようになったため

以下では、図表 41 の区別に、貸与開始時の状況、モニタリング実施時の状況それぞれについて集計した結果を示す。

(3) 貸与開始時およびモニタリング実施時の利用者の状況

1) 性別

利用者の性別は、男性が49.0%、女性が50.5%と約半数ずつであったが、モニタリング想定時期と実際のモニタリング実施時期の差による区分別では、やや偏りが見られる区分もあった。

図表 46 性別

	件数	男性	女性	無回答
合計	206	101	104	1
	100.0%	49.0%	50.5%	0.5%
想定時期通りにモニタリングを実施	101	47	54	-
	100.0%	46.5%	53.5%	-
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	17	10	-
	100.0%	63.0%	37.0%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	7	2	1
	100.0%	70.0%	20.0%	10.0%
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	10	22	-
	100.0%	31.3%	68.8%	-
モニタリングを実施せず回収	36	20	16	-
	100.0%	55.6%	44.4%	-

2) 年齢

貸与開始時の利用者の年齢は、80～90歳未満の割合が5割以上を占め、平均は80.1歳であったが、モニタリング想定時期と実際のモニタリング実施時期の差による区分別を見ると、「モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施」した場合および「モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施」した場合は平均が約74歳と他の区分よりもやや低かった。

図表 47 年齢(※貸与開始時点)

	件数	65歳未満	65歳～70歳未満	70歳～75歳未満	75歳～80歳未満	80歳～85歳未満	85歳～90歳未満	90歳～95歳未満	95歳～100歳未満	100歳以上	無回答	平均	標準偏差	最小値	最大値
合計	206	16	7	25	23	52	56	23	3	-	1	80.1	11.0	36.0	96.0
	100.0%	7.8%	3.4%	12.1%	11.2%	25.2%	27.2%	11.2%	1.5%	-	0.5%				
想定時期通りにモニタリングを実施	101	6	-	9	11	29	33	10	2	-	1	82.0	8.7	40.0	96.0
	100.0%	5.9%	-	8.9%	10.9%	28.7%	32.7%	9.9%	2.0%	-	1.0%				
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	4	2	6	2	8	4	1	-	-	-	73.6	14.4	36.0	90.0
	100.0%	14.8%	7.4%	22.2%	7.4%	29.6%	14.8%	3.7%	-	-	-				
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	2	1	3	-	1	3	-	-	-	-	73.7	13.1	44.0	88.0
	100.0%	20.0%	10.0%	30.0%	-	10.0%	30.0%	-	-	-	-				
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	1	2	1	5	6	10	7	-	-	-	83.0	8.6	53.0	93.0
	100.0%	3.1%	6.3%	3.1%	15.6%	18.8%	31.3%	21.9%	-	-	-				
モニタリングを実施せず回収	36	3	2	6	5	8	6	5	1	-	-	79.1	12.1	40.0	95.0
	100.0%	8.3%	5.6%	16.7%	13.9%	22.2%	16.7%	13.9%	2.8%	-	-				

以下、3)から12)までについては、貸与開始時点とモニタリング実施時点それぞれの分布に加え、貸与開始時点からモニタリング実施時点の変化の状況を集計した結果も示す。ただし、貸与開始時点、モニタリング実施時点いずれかが無回答の場合には、変化の状況が把握できないため、貸与開始時点とモニタリング実施時点それぞれの分布において増減している件数と、実際に「改善／悪化」、「増加／減少」、「変化あり」に該当する件数が一致しない場合がある。

3) 要介護度

利用者の要介護度は、いずれの区分においても貸与開始時点とモニタリング実施時点での変化はほぼなかったが、「想定時期通りにモニタリングを実施」した場合には「改善」が1件、「モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施」した場合には「悪化」が1件あった。

図表 48 要介護度

		件数	要支援1	要支援2	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101 100.0%	41 40.6%	57 56.4%	3 3.0%
	モニタリング実施時点	101 100.0%	40 39.6%	53 52.5%	8 7.9%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27 100.0%	10 37.0%	14 51.9%	3 11.1%
	モニタリング実施時点	27 100.0%	12 44.4%	15 55.6%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	10 100.0%	3 30.0%	7 70.0%	-
	モニタリング実施時点	10 100.0%	3 30.0%	7 70.0%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32 100.0%	13 40.6%	19 59.4%	-
	モニタリング実施時点	32 100.0%	12 37.5%	20 62.5%	-
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36 100.0%	16 44.4%	19 52.8%	1 2.8%

図表 49 要介護度の変化

	件数	改善	維持	悪化	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101 100.0%	1 1.0%	91 90.1%	-	9 8.9%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27 100.0%	-	24 88.9%	-	3 11.1%
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10 100.0%	-	10 100.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32 100.0%	-	31 96.9%	1 3.1%	-

4) 主な疾病・疾患

主な疾病・疾患については、いずれの区分においても貸与開始時点とモニタリング実施時点での変化はほぼなかったが、「想定時期通りにモニタリングを実施」した場合に3件、「モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施」した場合に1件、「モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施」した場合に2件の計6件で疾病・疾患の数が「減少」しており、「モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施」した場合の2件で「増加」していた。

図表 50 主な疾病・疾患【複数回答】

	件数	脳血管疾患（脳卒中）	心疾患（心臓病）	呼吸器疾患	関節疾患・関節リウマチ	がん	認知症	パーキンソン病	糖尿病	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	加齢による（フレイル等）	その他	無回答	
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101	9	6	4	21	10	3	8	8	2	36	2	24	21	1
	モニタリング実施時点	101	9	6	4	20	10	3	7	8	2	34	2	23	21	3
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27	2	3	2	5	1	-	2	3	1	10	-	5	5	-
	モニタリング実施時点	27	2	3	2	5	1	-	2	3	1	10	-	5	5	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	10	2	-	-	-	1	-	1	1	-	4	-	4	2	-
	モニタリング実施時点	10	2	-	-	-	1	-	1	1	-	3	-	4	2	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32	2	1	-	13	4	1	1	-	3	10	-	12	4	-
	モニタリング実施時点	32	2	1	-	12	3	1	2	-	3	9	-	13	5	-
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36	3	4	-	6	4	1	2	-	1	13	-	11	6	-
			8.3%	11.1%	-	16.7%	11.1%	2.8%	5.6%	-	2.8%	36.1%	-	30.6%	16.7%	-

図表 51 主な疾病・疾患の変化

	件数	増加	変化なし	減少	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101	-	95	3	3
	100.0%	-	94.1%	3.0%	3.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	-	27	-	-
	100.0%	-	100.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	-	9	1	-
	100.0%	-	90.0%	10.0%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	2	28	2	-
	100.0%	6.3%	87.5%	6.3%	-

5) ADL

ADLは、いずれの項目についても、貸与開始時点とモニタリング実施時点での変化はあまりなく、「維持」している割合が7割以上であったが、一部「改善」、「悪化」が見られる場合もあった。

a. 寝返り

図表 52 寝返り

		件数	つかまらないでできる	何かにつかまればできる	一部介助	できない	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101	49	50	1	1	-
	モニタリング実施時点	101	51	46	1	1	2
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27	12	14	1	-	-
	モニタリング実施時点	27	14	13	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	10	4	6	-	-	-
	モニタリング実施時点	10	3	7	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32	15	17	-	-	-
	モニタリング実施時点	32	15	17	-	-	-
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36	18	18	-	-	-

図表 53 寝返りの変化

	件数	改善	維持	悪化	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101	4	94	1	2
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	3	24	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	-	9	1	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	-	32	-	-

b. 起き上がり

図表 54 起き上がり

		件数	つかまらないでできる	何かにつかまればできる	一部介助	できない	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101 100.0%	23 22.8%	76 75.2%	1 1.0%	1 1.0%	-
	モニタリング実施時点	101 100.0%	26 25.7%	72 71.3%	1 1.0%	-	2 2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27 100.0%	8 29.6%	18 66.7%	1 3.7%	-	-
	モニタリング実施時点	27 100.0%	9 33.3%	18 66.7%	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	10 100.0%	1 10.0%	9 90.0%	-	-	-
	モニタリング実施時点	10 100.0%	1 10.0%	9 90.0%	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32 100.0%	10 31.3%	22 68.8%	-	-	-
	モニタリング実施時点	32 100.0%	11 34.4%	21 65.6%	-	-	-
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36 100.0%	11 30.6%	25 69.4%	-	-	-

図表 55 起き上がりの変化

	件数	改善	維持	悪化	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101 100.0%	6 5.9%	91 90.1%	2 2.0%	2 2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27 100.0%	1 3.7%	26 96.3%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10 100.0%	-	10 100.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32 100.0%	1 3.1%	31 96.9%	-	-

c. 立ち上がり

図表 56 立ち上がり

		件数	つかまらないでできる	何かにつかまればできる	一部介助	できない	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101 100.0%	13 12.9%	87 86.1%	1 1.0%	-	-
	モニタリング実施時点	101 100.0%	14 13.9%	82 81.2%	3 3.0%	-	2 2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27 100.0%	5 18.5%	22 81.5%	-	-	-
	モニタリング実施時点	27 100.0%	5 18.5%	22 81.5%	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	10 100.0%	1 10.0%	9 90.0%	-	-	-
	モニタリング実施時点	10 100.0%	1 10.0%	9 90.0%	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32 100.0%	6 18.8%	26 81.3%	-	-	-
	モニタリング実施時点	32 100.0%	8 25.0%	23 71.9%	-	-	1 3.1%
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36 100.0%	5 13.9%	30 83.3%	1 2.8%	-	-

図表 57 立ち上がりの変化

	件数	改善	維持	悪化	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101 100.0%	2 2.0%	94 93.1%	3 3.0%	2 2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27 100.0%	-	27 100.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10 100.0%	-	10 100.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32 100.0%	2 6.3%	29 90.6%	-	1 3.1%

d. 移乗

図表 58 移乗

		件数	自立 (介助なし)	見守り等	一部介助	全介助	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101	88 100.0%	11 10.9%	2 2.0%	-	-
	モニタリング実施時点	101	84 100.0%	11 10.9%	4 4.0%	-	2 2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27	20 100.0%	7 25.9%	-	-	-
	モニタリング実施時点	27	20 100.0%	7 25.9%	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	10	10 100.0%	-	-	-	-
	モニタリング実施時点	10	9 100.0%	1 10.0%	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32	28 100.0%	4 12.5%	-	-	-
	モニタリング実施時点	32	27 100.0%	5 15.6%	-	-	-
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36	28 100.0%	6 16.7%	2 5.6%	-	-

図表 59 移乗の変化

	件数	改善	維持	悪化	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101	-	96 100.0%	3 3.0%	2 2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	-	27 100.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	-	9 100.0%	1 10.0%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	-	31 100.0%	1 3.1%	-

e. 座位

図表 60 座位

		件数	できる	自分の手で支えればできる	支えてもらえればできる	できない	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101	86 100.0%	15 14.9%	-	-	-
	モニタリング実施時点	101	80 100.0%	18 17.8%	1 1.0%	-	2 2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27	24 100.0%	3 11.1%	-	-	-
	モニタリング実施時点	27	24 100.0%	3 11.1%	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	10	10 100.0%	-	-	-	-
	モニタリング実施時点	10	9 100.0%	1 10.0%	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32	27 100.0%	5 15.6%	-	-	-
	モニタリング実施時点	32	27 100.0%	5 15.6%	-	-	-
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36	33 100.0%	3 8.3%	-	-	-

図表 61 座位の変化

	件数	改善	維持	悪化	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101	1 100.0%	92 91.1%	6 5.9%	2 2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	-	27 100.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	-	9 90.0%	1 10.0%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	-	32 100.0%	-	-

f. 屋内歩行

図表 62 屋内歩行

		件数	つかまらないでできる	何かにつかまればできる	一部介助	できない	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101	40	60	-	1	-
		100.0%	39.6%	59.4%	-	1.0%	-
モニタリング実施時点	貸与開始時点	101	36	62	1	-	2
		100.0%	35.6%	61.4%	1.0%	-	2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27	9	18	-	-	-
		100.0%	33.3%	66.7%	-	-	-
モニタリング実施時点	貸与開始時点	27	8	19	-	-	-
		100.0%	29.6%	70.4%	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	10	6	4	-	-	-
		100.0%	60.0%	40.0%	-	-	-
モニタリング実施時点	貸与開始時点	10	6	3	1	-	-
		100.0%	60.0%	30.0%	10.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32	8	24	-	-	-
		100.0%	25.0%	75.0%	-	-	-
モニタリング実施時点	貸与開始時点	32	10	22	-	-	-
		100.0%	31.3%	68.8%	-	-	-
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36	13	22	-	1	-
		100.0%	36.1%	61.1%	-	2.8%	-

図表 63 屋内歩行の変化

	件数	改善	維持	悪化	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101	1	95	3	2
	100.0%	1.0%	94.1%	3.0%	2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	-	26	1	-
	100.0%	-	96.3%	3.7%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	-	9	1	-
	100.0%	-	90.0%	10.0%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	2	30	-	-
	100.0%	6.3%	93.8%	-	-

g. 屋外歩行

図表 64 屋外歩行

		件数	つかまらないでできる	何かにつかまればできる	一部介助	できない	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101	19	73	9	-	-
	モニタリング実施時点	101	18	73	8	-	2
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27	3	24	-	-	-
	モニタリング実施時点	27	2	25	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	10	1	7	2	-	-
	モニタリング実施時点	10	1	6	3	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32	-	26	6	-	-
	モニタリング実施時点	32	1	25	6	-	-
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36	6	29	-	1	-
		100.0%	16.7%	80.6%	-	2.8%	-

図表 65 屋外歩行の変化

	件数	改善	維持	悪化	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101	4	92	3	2
	100.0%	4.0%	91.1%	3.0%	2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	-	26	1	-
	100.0%	-	96.3%	3.7%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	-	9	1	-
	100.0%	-	90.0%	10.0%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	1	31	-	-
	100.0%	3.1%	96.9%	-	-

h. 移動

図表 66 移動

		件数	自立 (介助なし)	見守り等	一部介助	全介助	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101	76	23	1	1	-
	モニタリング実施時点	100.0%	75.2%	22.8%	1.0%	1.0%	-
モニタリング実施時点	貸与開始時点	101	75	20	4	-	2
	モニタリング実施時点	100.0%	74.3%	19.8%	4.0%	-	2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27	20	7	-	-	-
	モニタリング実施時点	100.0%	74.1%	25.9%	-	-	-
モニタリング実施時点	貸与開始時点	27	19	8	-	-	-
	モニタリング実施時点	100.0%	70.4%	29.6%	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	10	7	3	-	-	-
	モニタリング実施時点	100.0%	70.0%	30.0%	-	-	-
モニタリング実施時点	貸与開始時点	10	7	2	1	-	-
	モニタリング実施時点	100.0%	70.0%	20.0%	10.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32	24	5	3	-	-
	モニタリング実施時点	100.0%	75.0%	15.6%	9.4%	-	-
モニタリング実施時点	貸与開始時点	32	24	5	3	-	-
	モニタリング実施時点	100.0%	75.0%	15.6%	9.4%	-	-
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36	25	10	-	1	-
		100.0%	69.4%	27.8%	-	2.8%	-

図表 67 移動の変化

	件数	改善	維持	悪化	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101	2	95	2	2
	100.0%	2.0%	94.1%	2.0%	2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	-	26	1	-
	100.0%	-	96.3%	3.7%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	1	8	1	-
	100.0%	10.0%	80.0%	10.0%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	-	32	-	-
	100.0%	-	100.0%	-	-

i. 排泄

図表 68 排泄

		件数	自立 (介助なし)	見守り等	一部介助	全介助	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101	94 93.1%	4 4.0%	2 2.0%	-	1 1.0%
	モニタリング実施時点	101	90 89.1%	4 4.0%	4 4.0%	-	3 3.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27	25 92.6%	2 7.4%	-	-	-
	モニタリング実施時点	27	24 88.9%	2 7.4%	-	-	1 3.7%
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	10	10 100.0%	-	-	-	-
	モニタリング実施時点	10	10 100.0%	-	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32	30 93.8%	2 6.3%	-	-	-
	モニタリング実施時点	32	30 93.8%	2 6.3%	-	-	-
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36	32 88.9%	4 11.1%	-	-	-

図表 69 排泄の変化

	件数	改善	維持	悪化	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101	1 1.0%	93 92.1%	4 4.0%	3 3.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	-	26 96.3%	-	1 3.7%
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	-	10 100.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	-	32 100.0%	-	-

j. 入浴

図表 70 入浴

		件数	自立 (介助なし)	見守り等	一部介助	全介助	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101	64	29	7	1	-
	モニタリング実施時点	100.0%	63.4%	28.7%	6.9%	1.0%	-
モニタリング実施時点	貸与開始時点	101	63	26	9	1	2
	モニタリング実施時点	100.0%	62.4%	25.7%	8.9%	1.0%	2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27	20	5	2	-	-
	モニタリング実施時点	100.0%	74.1%	18.5%	7.4%	-	-
モニタリング実施時点	貸与開始時点	27	20	5	2	-	-
	モニタリング実施時点	100.0%	74.1%	18.5%	7.4%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	10	6	2	2	-	-
	モニタリング実施時点	100.0%	60.0%	20.0%	20.0%	-	-
モニタリング実施時点	貸与開始時点	10	6	1	3	-	-
	モニタリング実施時点	100.0%	60.0%	10.0%	30.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32	20	5	6	-	1
	モニタリング実施時点	100.0%	62.5%	15.6%	18.8%	-	3.1%
モニタリング実施時点	貸与開始時点	32	20	5	6	-	1
	モニタリング実施時点	100.0%	62.5%	15.6%	18.8%	-	3.1%
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36	23	9	4	-	-
		100.0%	63.9%	25.0%	11.1%	-	-

図表 71 入浴の変化

	件数	改善	維持	悪化	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101	2	94	3	2
	100.0%	2.0%	93.1%	3.0%	2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	-	27	-	-
	100.0%	-	100.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	1	7	2	-
	100.0%	10.0%	70.0%	20.0%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	-	31	-	1
	100.0%	-	96.9%	-	3.1%

k. 食事

図表 72 食事

		件数	自立 (介助なし)	見守り等	一部介助	全介助	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101	95 94.1%	4 4.0%	2 2.0%	-	-
	モニタリング実施時点	101	90 89.1%	8 7.9%	1 1.0%	-	2 2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27	25 92.6%	1 3.7%	-	-	1 3.7%
	モニタリング実施時点	27	25 92.6%	1 3.7%	-	-	1 3.7%
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	10	8 80.0%	2 20.0%	-	-	-
	モニタリング実施時点	10	9 90.0%	1 10.0%	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32	30 93.8%	1 3.1%	-	-	1 3.1%
	モニタリング実施時点	32	30 93.8%	1 3.1%	-	-	1 3.1%
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36	32 88.9%	3 8.3%	-	-	1 2.8%

図表 73 食事の変化

	件数	改善	維持	悪化	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101	1 1.0%	95 94.1%	3 3.0%	2 2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	-	26 96.3%	-	1 3.7%
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	1 10.0%	9 90.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	-	31 96.9%	-	1 3.1%

I. 更衣

図表 74 更衣

		件数	自立 (介助なし)	見守り等	一部介助	全介助	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101	92 91.1%	5 5.0%	3 3.0%	1 1.0%	-
	モニタリング実施時点	101	88 87.1%	6 5.9%	5 5.0%	-	2 2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27	22 81.5%	4 14.8%	1 3.7%	-	-
	モニタリング実施時点	27	22 81.5%	4 14.8%	1 3.7%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	10	7 70.0%	3 30.0%	-	-	-
	モニタリング実施時点	10	8 80.0%	1 10.0%	1 10.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32	28 87.5%	3 9.4%	-	-	1 3.1%
	モニタリング実施時点	32	28 87.5%	3 9.4%	-	-	1 3.1%
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36	32 88.9%	3 8.3%	1 2.8%	-	-

図表 75 更衣の変化

	件数	改善	維持	悪化	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101	2 2.0%	93 92.1%	4 4.0%	2 2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	-	27 100.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	1 10.0%	8 80.0%	1 10.0%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	-	31 96.9%	-	1 3.1%

m. 意思の伝達

図表 76 意思の伝達

		件数	意思を他者に伝達できる	ときどき伝達できる	ほとんど伝達できない	伝達できない	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101	98 100.0% 97.0%	2 2.0%	1 1.0%	-	-
	モニタリング実施時点	101	95 100.0% 94.1%	3 3.0%	1 1.0%	-	2 2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27	26 100.0% 96.3%	1 3.7%	-	-	-
	モニタリング実施時点	27	26 100.0% 96.3%	1 3.7%	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	10	10 100.0% 100.0%	-	-	-	-
	モニタリング実施時点	10	10 100.0% 100.0%	-	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32	29 100.0% 90.6%	3 9.4%	-	-	-
	モニタリング実施時点	32	29 100.0% 90.6%	3 9.4%	-	-	-
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36	33 100.0% 91.7%	3 8.3%	-	-	-

図表 77 意思の伝達の変化

	件数	改善	維持	悪化	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101	-	97 100.0% 96.0%	2 2.0%	2 2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	-	27 100.0% 100.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	-	10 100.0% 100.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	-	32 100.0% 100.0%	-	-

n. 視覚

図表 78 視覚

		件数	見える	目 の 前 の も の で あ れ ば 見 え る	ほと んど 見 え な い	見 え な い	無 回 答
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101	93 100.0%	7 6.9%	1 1.0%	-	-
	モニタリング実施時点	101	88 100.0%	8 7.9%	3 3.0%	-	2 2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27	26 100.0%	1 3.7%	-	-	-
	モニタリング実施時点	27	27 100.0%	-	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	10	9 100.0%	1 10.0%	-	-	-
	モニタリング実施時点	10	9 100.0%	1 10.0%	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32	26 100.0%	6 18.8%	-	-	-
	モニタリング実施時点	32	26 100.0%	6 18.8%	-	-	-
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36	32 100.0%	4 11.1%	-	-	-

図表 79 視覚の変化

	件数	改善	維持	悪化	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101	-	96 100.0%	3 3.0%	2 2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	1 100.0%	26 96.3%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	-	10 100.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	-	32 100.0%	-	-

o. 聴覚

図表 80 聴覚

		件数	聞こえる	大きな声で話せば聞こえる	ほとんど聞こえない	聞こえない	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101	81 100.0%	18 17.8%	1 1.0%	-	1 1.0%
	モニタリング実施時点	101	79 100.0%	17 16.8%	1 1.0%	-	4 4.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27	25 100.0%	2 7.4%	-	-	-
	モニタリング実施時点	27	25 100.0%	2 7.4%	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	10	10 100.0%	-	-	-	-
	モニタリング実施時点	10	10 100.0%	-	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32	25 100.0%	7 21.9%	-	-	-
	モニタリング実施時点	32	25 100.0%	7 21.9%	-	-	-
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36	28 100.0%	8 22.2%	-	-	-

図表 81 聴覚の変化

	件数	改善	維持	悪化	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101	2 2.0%	92 91.1%	2 2.0%	5 5.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	-	27 100.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	-	10 100.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	-	32 100.0%	-	-

6) 生活範囲

生活範囲は、a～eのいずれも貸与開始時点とモニタリング実施時点での変化はあまりなく、「変化なし」の割合が約9割以上であったが、一部「増加」、「減少」が見られる場合もあった。

a. 自宅の寝室以外の部屋に行く頻度

図表 82 自宅の寝室以外の部屋に行く頻度

		件数	週1回未満	週1～3回	週4～6回	毎日	無回答	
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101	1	8	3	89	-	
	モニタリング実施時点	101	2	10	2	85	2	
			100.0%	1.0%	7.9%	3.0%	88.1%	2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27	1	1	-	25	-	
	モニタリング実施時点	27	1	2	-	24	-	
			100.0%	3.7%	3.7%	-	92.6%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	10	-	-	-	10	-	
	モニタリング実施時点	10	-	-	-	10	-	
			100.0%	-	-	-	100.0%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32	-	-	1	30	1	
	モニタリング実施時点	32	-	-	1	31	-	
			100.0%	-	-	3.1%	93.8%	3.1%
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36	-	2	1	33	-	
	モニタリング実施時点	36	-	2	1	33	-	
			100.0%	-	5.6%	2.8%	91.7%	-

図表 83 自宅の寝室以外の部屋に行く頻度の変化

	件数	増加	変化なし	減少	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101	2	93	4	2
	100.0%	2.0%	92.1%	4.0%	2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	-	26	1	-
	100.0%	-	96.3%	3.7%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	-	10	-	-
	100.0%	-	100.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	-	31	-	1
	100.0%	-	96.9%	-	3.1%

b. 屋外に出る頻度(玄関外、バルコ、中庭、(マンションの)廊下、車庫、庭または敷地内の通路など)

図表 84 屋外に出る頻度

		件数	週1回未満	週1〜3回	週4〜6回	毎日	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101	5	48	26	22	-
	モニタリング実施時点	101	5	43	28	23	2
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27	1	10	7	9	-
	モニタリング実施時点	27	2	9	6	10	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	10	1	5	3	1	-
	モニタリング実施時点	10	1	5	4	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32	4	10	8	9	1
	モニタリング実施時点	32	4	11	7	10	-
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36	2	14	13	7	-

図表 85 屋外に出る頻度の変化

	件数	増加	変化なし	減少	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101	6	92	1	2
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	1	25	1	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	-	9	1	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	1	29	1	1

c. 自宅の庭またはマンションの建物以外の近隣の場所への外出頻度

図表 86 自宅の庭またはマンションの建物以外の近隣の場所への外出頻度

		件数	週1回未満	週1〜3回	週4〜6回	毎日	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101	14	58	17	12	-
	モニタリング実施時点	101	14	53	19	13	2
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27	4	13	6	4	-
	モニタリング実施時点	27	4	13	6	4	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	10	2	5	3	-	-
	モニタリング実施時点	10	3	5	2	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32	6	18	6	1	1
	モニタリング実施時点	32	7	20	5	-	-
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36	8	16	10	2	-

図表 87 自宅の庭またはマンションの建物以外の近隣の場所への外出頻度の変化

	件数	増加	変化なし	減少	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101	8	86	5	2
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	-	27	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	-	8	2	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	-	29	2	1

d. 町内の近隣よりも離れた場所への外出頻度

図表 88 町内の近隣よりも離れた場所への外出頻度

		件数	週1回未満	週1～3回	週4～6回	毎日	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101	52	44	3	1	1
	モニタリング実施時点	101	51.5%	43.6%	3.0%	1.0%	1.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	101	57	35	5	2	2
	モニタリング実施時点	101	56.4%	34.7%	5.0%	2.0%	2.0%
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27	19	8	-	-	-
	モニタリング実施時点	27	70.4%	29.6%	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	27	19	8	-	-	-
	モニタリング実施時点	27	70.4%	29.6%	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	10	4	6	-	-	-
	モニタリング実施時点	10	40.0%	60.0%	-	-	-
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	10	5	5	-	-	-
	モニタリング実施時点	10	50.0%	50.0%	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32	18	13	-	-	1
	モニタリング実施時点	32	56.3%	40.6%	-	-	3.1%
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	32	20	12	-	-	-
	モニタリング実施時点	32	62.5%	37.5%	-	-	-
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36	21	11	3	1	-
	モニタリング実施時点	36	58.3%	30.6%	8.3%	2.8%	-

図表 89 町内の近隣よりも離れた場所への外出頻度の変化

	件数	増加	変化なし	減少	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101	3	90	5	3
	100.0%	3.0%	89.1%	5.0%	3.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	-	27	-	-
	100.0%	-	100.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	-	9	1	-
	100.0%	-	90.0%	10.0%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	-	30	1	1
	100.0%	-	93.8%	3.1%	3.1%

e. 町外への外出頻度

図表 90 町外への外出頻度

		件数	週 1 回 未 満	週 1 ～ 3 回	週 4 ～ 6 回	毎 日	無 回 答
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101	76	23	2	-	-
	モニタリング実施時点	101	75.2%	22.8%	2.0%	-	-
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	101	73	24	2	-	2
	モニタリング実施時点	101	72.3%	23.8%	2.0%	-	2.0%
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27	24	3	-	-	-
	モニタリング実施時点	27	88.9%	11.1%	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	27	25	2	-	-	-
	モニタリング実施時点	27	92.6%	7.4%	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	10	7	3	-	-	-
	モニタリング実施時点	10	70.0%	30.0%	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	10	8	2	-	-	-
	モニタリング実施時点	10	80.0%	20.0%	-	-	-
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	32	26	5	-	-	1
	モニタリング実施時点	32	81.3%	15.6%	-	-	3.1%
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	32	27	5	-	-	-
	モニタリング実施時点	32	84.4%	15.6%	-	-	-
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36	30	4	2	-	-
	モニタリング実施時点	36	83.3%	11.1%	5.6%	-	-

図表 91 町外への外出頻度の変化

	件数	増加	変化なし	減少	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101	6	89	4	2
	100.0%	5.9%	88.1%	4.0%	2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	-	26	1	-
	100.0%	-	96.3%	3.7%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	-	9	1	-
	100.0%	-	90.0%	10.0%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	-	31	-	1
	100.0%	-	96.9%	-	3.1%

7) 障害高齢者の日常生活自立度

障害高齢者の日常生活自立度は、貸与開始時点とモニタリング実施時点での変化はあまりなく、「維持」している割合が7割以上であったが、一部「改善」、「悪化」が見られる場合もあった。また、「モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施」した場合以外の全ての区分において、「不明」も約1～3割あった。

図表 92 障害高齢者の日常生活自立度

		件数	自立	J 1	J 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2	不明	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101	35	19	18	7	3	1	-	-	-	15	3
	モニタリング実施時点	101	33	22	16	7	3	2	-	-	-	13	5
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27	12	3	6	3	1	-	-	-	-	1	1
	モニタリング実施時点	27	10	3	6	3	1	-	-	-	-	1	3
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	10	2	-	3	2	3	-	-	-	-	-	-
	モニタリング実施時点	10	2	-	2	3	3	-	-	-	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32	7	4	3	5	4	-	-	-	-	5	4
	モニタリング実施時点	32	7	4	3	5	5	-	-	-	-	5	3
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36	11	7	4	2	2	-	-	-	-	9	1
		100.0%	30.6%	19.4%	11.1%	5.6%	5.6%	-	-	-	-	25.0%	2.8%

図表 93 障害高齢者の日常生活自立度の変化

	件数	改善	維持	悪化	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101	3	74	4	20
	100.0%	3.0%	73.3%	4.0%	19.8%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	-	23	-	4
	100.0%	-	85.2%	-	14.8%
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	-	9	1	-
	100.0%	-	90.0%	10.0%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	-	23	-	9
	100.0%	-	71.9%	-	28.1%

8) 認知症高齢者の日常生活自立度

認知症高齢者の日常生活自立度は、貸与開始時点とモニタリング実施時点での変化はあまりなく、「維持」している割合が7割以上であったが、「想定時期通りにモニタリングを実施」した場合で2件「悪化」した事例もあった。また、「モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施」した場合以外の全ての区分において、「不明」も約1～3割あった。

図表 94 認知症高齢者の日常生活自立度

		件数	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	不明	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101	58	20	5	1	-	-	-	-	14	3
	モニタリング実施時点	101	58	20	5	1	-	-	-	-	11	6
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27	22	3	-	-	-	-	-	-	1	1
	モニタリング実施時点	27	21	3	-	-	-	-	-	-	1	2
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	10	7	3	-	-	-	-	-	-	-	-
	モニタリング実施時点	10	7	3	-	-	-	-	-	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32	14	6	3	-	-	-	-	-	5	4
	モニタリング実施時点	32	14	7	3	-	-	-	-	-	5	3
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36	21	4	2	-	-	-	-	-	8	1

図表 95 認知症高齢者の日常生活自立度の変化

	件数	改善	維持	悪化	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101	-	80	2	19
	100.0%	-	79.2%	2.0%	18.8%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	-	24	-	3
	100.0%	-	88.9%	-	11.1%
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	-	10	-	-
	100.0%	-	100.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	-	23	-	9
	100.0%	-	71.9%	-	28.1%

9) 居住環境等

世帯構成や介護環境といった居住環境については、貸与開始時点とモニタリング実施時点での変化はほぼなく、世帯構成について「変化あり」と回答したのは「想定時期通りにモニタリングを実施」した場合で2件、「モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施」で1件、介護環境については「想定時期通りにモニタリングを実施」した場合で2件のみであった。

a. 世帯構成

図表 96 世帯構成

		件数	独居	夫婦のみ世帯	の夫婦以外で高齢者	その他	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101	32	42	3	24	-
		100.0%	31.7%	41.6%	3.0%	23.8%	-
モニタリング実施時点	貸与開始時点	101	30	42	3	23	3
		100.0%	29.7%	41.6%	3.0%	22.8%	3.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27	10	13	2	2	-
		100.0%	37.0%	48.1%	7.4%	7.4%	-
モニタリング実施時点	貸与開始時点	27	11	12	2	2	-
		100.0%	40.7%	44.4%	7.4%	7.4%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	10	4	2	-	4	-
		100.0%	40.0%	20.0%	-	40.0%	-
モニタリング実施時点	貸与開始時点	10	4	2	-	4	-
		100.0%	40.0%	20.0%	-	40.0%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32	11	13	1	7	-
		100.0%	34.4%	40.6%	3.1%	21.9%	-
モニタリング実施時点	貸与開始時点	32	11	13	1	7	-
		100.0%	34.4%	40.6%	3.1%	21.9%	-
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36	15	14	1	6	-
		100.0%	41.7%	38.9%	2.8%	16.7%	-

図表 97 世帯構成の変化

	件数	変化あり	変化なし	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101	2	96	3
	100.0%	2.0%	95.0%	3.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	1	26	-
	100.0%	3.7%	96.3%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	-	10	-
	100.0%	-	100.0%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	-	32	-
	100.0%	-	100.0%	-

b. 介護環境

図表 98 介護環境

		件数	（本人が同居を 含む）	本人を支援する 家族がいない	本人を支援する 家族がいない	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101 100.0%	76 75.2%	25 24.8%	-	-
	モニタリング実施時点	101 100.0%	73 72.3%	25 24.8%	3 3.0%	-
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27 100.0%	19 70.4%	8 29.6%	-	-
	モニタリング実施時点	27 100.0%	18 66.7%	8 29.6%	1 3.7%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	10 100.0%	5 50.0%	5 50.0%	-	-
	モニタリング実施時点	10 100.0%	5 50.0%	5 50.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32 100.0%	25 78.1%	7 21.9%	-	-
	モニタリング実施時点	32 100.0%	25 78.1%	7 21.9%	-	-
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36 100.0%	27 75.0%	9 25.0%	-	-

図表 99 介護環境の変化

	件数	変化あり	変化なし	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101 100.0%	2 2.0%	96 95.0%	3 3.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27 100.0%	-	26 96.3%	1 3.7%
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10 100.0%	-	10 100.0%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32 100.0%	-	32 100.0%	-

10) 他介護予防サービスの利用状況

他介護サービスの利用状況については、「モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施」した場合を除く全ての区分で「特になし」が4割以上であり、「特になし」以外では、全ての区分において「介護予防通所リハビリテーション」が最も多かった。

また、貸与開始時点とモニタリング実施時点での変化は、「想定時期通りにモニタリングを実施」した場合に「増加」が3件、「減少」が1件あったが、それ以外は「変化なし」であった。

図表 100 他介護予防サービスの利用状況【複数回答】

	件数	特になし	介護予防訪問入浴	介護予防訪問看護	介護予防訪問リハビリテーション	管理指導	介護予防居宅療養	介護予防通所リハビリテーション	生活介護	介護予防短期入所	療養介護	介護予防短期入所	応型通所介護	機能型居宅介護	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101	54 53.5%	2 2.0%	7 6.9%	11 10.9%	-	27 26.7%	3 3.0%	-	-	1 1.0%	-	-	2 2.0%
	モニタリング実施時点	101	53 52.5%	2 2.0%	7 6.9%	12 11.9%	-	26 25.7%	3 3.0%	-	-	1 1.0%	-	-	3 3.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27	13 48.1%	2 7.4%	2 7.4%	3 11.1%	-	8 29.6%	1 3.7%	-	-	-	-	-	1 3.7%
	モニタリング実施時点	27	12 44.4%	2 7.4%	3 11.1%	2 7.4%	-	9 33.3%	1 3.7%	-	-	-	-	-	1 3.7%
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	10	1 10.0%	-	1 10.0%	-	-	6 60.0%	-	-	-	-	-	-	2 20.0%
	モニタリング実施時点	10	1 10.0%	-	1 10.0%	-	-	6 60.0%	-	-	-	-	-	-	2 20.0%
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32	17 53.1%	3 9.4%	3 9.4%	-	-	10 31.3%	-	-	-	-	-	-	-
	モニタリング実施時点	32	17 53.1%	3 9.4%	3 9.4%	-	-	10 31.3%	-	-	-	-	-	-	-
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36	18 50.0%	1 2.8%	2 5.6%	1 2.8%	-	11 30.6%	1 2.8%	-	-	1 2.8%	-	-	2 5.6%

図表 101 他介護予防サービスの利用状況の変化

	件数	増加	変化なし	減少	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101	3 3.0%	92 91.1%	1 1.0%	5 5.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	-	25 92.6%	-	2 7.4%
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	-	8 80.0%	-	2 20.0%
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	-	32 100.0%	-	-

11) 特定介護予防福祉用具販売の利用状況

特定介護予防福祉用具販売の利用状況については、いずれの区分においても「特になし」が6割以上であり、「特になし」以外では、「入浴補助用具」が2割以上で最も多かった。

また、貸与開始時点とモニタリング実施時点での変化は、「想定時期通りにモニタリングを実施」した場合に「増加」が2件、「減少」が2件、「モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施」した場合に「増加」が2件あったが、それ以外は「変化なし」であった。

図表 102 特定介護予防福祉用具販売の利用状況【複数回答】

		件数	特になし	腰掛便座	の自動排泄処理装置	排泄予測支援機器	入浴補助用具	簡易浴槽	移動用リフトのつ	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101	65 64.4%	6 5.9%	-	-	33 32.7%	-	-	-
	モニタリング実施時点	101	62 61.4%	5 5.0%	-	-	32 31.7%	1 1.0%	-	3 3.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27	19 70.4%	-	-	-	7 25.9%	-	-	1 3.7%
	モニタリング実施時点	27	19 70.4%	-	-	-	8 29.6%	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	10	7 70.0%	-	-	-	3 30.0%	-	-	-
	モニタリング実施時点	10	7 70.0%	-	-	-	3 30.0%	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32	23 71.9%	2 6.3%	-	-	9 28.1%	-	-	-
	モニタリング実施時点	32	21 65.6%	2 6.3%	-	-	11 34.4%	-	-	-
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36	27 75.0%	2 5.6%	-	-	8 22.2%	-	-	1 2.8%

図表 103 特定介護予防福祉用具販売の利用状況の変化

	件数	増加	変化なし	減少	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101	2 2.0%	94 93.1%	2 2.0%	3 3.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	-	26 96.3%	-	1 3.7%
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	-	10 100.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	2 6.3%	30 93.8%	-	-

12) 介護予防住宅改修の実施状況

介護予防住宅改修の利用状況については、いずれの区分においても「特になし」が約6割以上であり、「特になし」以外では、「手すりの取付け」が2割以上で最も多かった。

また、貸与開始時点とモニタリング実施時点での変化は、「想定時期通りにモニタリングを実施」した場合に「減少」が5件、「モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施」した場合に「増加」が1件あったが、それ以外は「変化なし」であった。

図表 104 介護予防住宅改修の実施状況【複数回答】

	件数	特になし	手すりの取付け	段差の解消	通路の滑り防止のための材料の変更	滑り防止及び移動のための床材の変更	引き戸等への扉の取替え	洋式トイレ等への便器の取替え	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	貸与開始時点	101	68 67.3%	32 31.7%	3 3.0%	-	1 1.0%	-	1 1.0%
	モニタリング実施時点	101	70 69.3%	28 27.7%	2 2.0%	-	-	-	3 3.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	27	19 70.4%	7 25.9%	1 3.7%	-	-	-	1 3.7%
	モニタリング実施時点	27	20 74.1%	7 25.9%	1 3.7%	-	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	貸与開始時点	10	8 80.0%	2 20.0%	-	-	-	-	-
	モニタリング実施時点	10	7 70.0%	3 30.0%	-	-	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	貸与開始時点	32	19 59.4%	13 40.6%	1 3.1%	-	-	-	-
	モニタリング実施時点	32	19 59.4%	13 40.6%	1 3.1%	-	-	-	-
モニタリングを実施せず回収	貸与開始時点	36	24 66.7%	12 33.3%	1 2.8%	-	-	-	-

図表 105 介護予防住宅改修の実施状況の変化

	件数	増加	変化なし	減少	不明
想定時期通りにモニタリングを実施	101	-	92 91.1%	5 5.0%	4 4.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	-	26 96.3%	-	1 3.7%
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	1 10.0%	9 90.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	-	32 100.0%	-	-

(4) 貸与開始時の状況等について

1) 介護予防サービス・支援計画書(介護予防ケアプラン)の支援計画期間

介護予防サービス・支援計画書(介護予防ケアプラン)の支援計画期間は、「10 か月～12 か月」が50.0%と最も多く、次いで「4か月～6か月」が31.1%であり、モニタリング想定時期と実際のモニタリング実施時期の差による違いはあまり見られなかった。

図表 106 介護予防サービス・支援計画書(介護予防ケアプラン)の支援計画期間

	件数	3か月以内	4か月～6か月	7か月～9か月	10か月～12か月	13か月以上	無回答	平均	最小値	最大値
合計	206	16	64	15	103	-	8	8.8	0.5	12.0
	100.0%	7.8%	31.1%	7.3%	50.0%	-	3.9%			
想定時期通りにモニタリングを実施	101	8	33	8	48	-	4	8.7	2.0	12.0
	100.0%	7.9%	32.7%	7.9%	47.5%	-	4.0%			
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	1	9	3	14	-	-	9.0	1.0	12.0
	100.0%	3.7%	33.3%	11.1%	51.9%	-	-			
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	1	1	1	5	-	2	9.3	2.0	12.0
	100.0%	10.0%	10.0%	10.0%	50.0%	-	20.0%			
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	3	6	2	20	-	1	9.3	1.0	12.0
	100.0%	9.4%	18.8%	6.3%	62.5%	-	3.1%			
モニタリングを実施せず回収	36	3	15	1	16	-	1	8.4	0.5	12.0
	100.0%	8.3%	41.7%	2.8%	44.4%	-	2.8%			

2) 介護予防福祉用具貸与計画作成にあたっての情報収集と評価における他職種等との連携状況について

介護予防福祉用具貸与計画作成にあたっての情報収集の状況については、「a. 日常の生活活動において利用者ができていることに関する情報」、「b. 利用者の疾患の状態や障害の程度に関する情報」、「c. 心身機能や活動の状況、利用者の有する能力や能力向上の可能性などに関する情報」、「d. 家庭内での役割、趣味活動、地域社会での活動など、生きがいにつながる活動に関する情報」のいずれも「利用者・家族からの聞き取り」、「介護支援専門員から共有された利用者基本情報(フェイスシート)」や「介護支援専門員からの聞き取り」、「福祉用具専門相談員による目視・動作確認」を中心に情報収集が行われており、他介護サービス事業者や医師、リハビリテーション専門職からの聞き取りにより情報収集を行っている割合は低かった。

また、「e. 生活上の怪我、転倒等のリスクへの対応の検討において連携した職種」および「f. 補装具費支給制度、日常生活用具給付制度等の福祉用具・住宅改修に係る社会資源の活用の検討にあたって連携した職種」についても同様に、利用者・家族および介護支援専門員との連携が中心であり、他介護サービス事業者や医師、リハビリテーション専門職と連携を行っている割合は低かった。

図表 107 介護予防福祉用具貸与計画作成にあたっての情報収集の状況【複数回答】

	件数	介護支援専門員から得た利用者基本情報(フェイスシート)	福祉用具専門相談員による目視・動作確認	利用者・家族からの聞き取り	介護支援専門員からの聞き取り	他介護サービス事業者からの聞き取り	医師からの聞き取り	リハビリテーション専門職からの聞き取り	その他	無回答
a. 日常の生活活動において利用者ができていることに関する情報	206	150 72.8%	160 77.7%	163 79.1%	121 58.7%	15 7.3%	3 1.5%	17 8.3%	5 2.4%	-
b. 利用者の疾患の状態や障害の程度に関する情報	206	155 75.2%	130 63.1%	151 73.3%	126 61.2%	8 3.9%	2 1.0%	13 6.3%	5 2.4%	-
c. 心身機能や活動の状況、利用者の有する能力や能力向上の可能性などに関する情報	206	134 65.0%	131 63.6%	146 70.9%	121 58.7%	11 5.3%	1 0.5%	11 5.3%	4 1.9%	7 3.4%
d. 家庭内での役割、趣味活動、地域社会での活動など、生きがいにつながる活動に関する情報	206	123 59.7%	76 36.9%	165 80.1%	111 53.9%	7 3.4%	-	3 1.5%	3 1.5%	2 1.0%

図表 108 介護予防福祉用具貸与計画作成にあたっての評価における他職種等との連携状況【複数回答】

	件数	利用者・家族	介護支援専門員	他介護サービス事業者	医師	リハビリテーション専門職	その他	無回答
e.ア) 生活上の怪我、転倒等のリスクへの対応の検討にあたって連携した職種	206	184 89.3%	192 93.2%	31 15.0%	1 0.5%	28 13.6%	5 2.4%	1 0.5%
e.イ) 生活上の怪我、転倒等のリスクへの対応の検討結果を共有した職種	206	187 90.8%	194 94.2%	47 22.8%	1 0.5%	28 13.6%	2 1.0%	2 1.0%
f. 家庭内での役割、趣味活動、地域社会での活動など、生きがいにつながる活動に関する情報	206	139 67.5%	148 71.8%	18 8.7%	2 1.0%	12 5.8%	6 2.9%	36 17.5%

a. 日常の生活活動において利用者ができていることに関する情報を、どのような方法で収集したか

図表 109 日常の生活活動において利用者ができていることに関する情報を、どのような方法で収集したか【複数回答】

	件数	介護支援専門員から得た利用者基本情報シート)	福祉用具専門相談員による目視・動作確認	利用者・家族からの聞き取り	介護支援専門員からの聞き取り	他介護サービス事業者からの聞き取り	医師からの聞き取り	リハビリテーション専門職からの聞き取り	その他	無回答
合計	206	150 72.8%	160 77.7%	163 79.1%	121 58.7%	15 7.3%	3 1.5%	17 8.3%	5 2.4%	-
想定時期通りにモニタリングを実施	101	74 73.3%	77 76.2%	80 79.2%	60 59.4%	5 5.0%	2 2.0%	8 7.9%	3 3.0%	-
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	17 63.0%	20 74.1%	21 77.8%	18 66.7%	3 11.1%	-	2 7.4%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	10 100.0%	9 90.0%	8 80.0%	6 60.0%	-	-	2 20.0%	1 10.0%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	23 71.9%	29 90.6%	27 84.4%	20 62.5%	5 15.6%	1 3.1%	2 6.3%	-	-
モニタリングを実施せず回収	36	26 72.2%	25 69.4%	27 75.0%	17 47.2%	2 5.6%	-	3 8.3%	1 2.8%	-

図表 110 日常の生活活動において利用者ができていることに関する情報を、どのような方法で収集したか × 他介護予防サービスの利用状況【複数回答】

	件数	介護支援専門員から得た利用者基本情報シート)	福祉用具専門相談員による目視・動作確認	利用者・家族からの聞き取り	介護支援専門員からの聞き取り	他介護サービス事業者からの聞き取り	医師からの聞き取り	リハビリテーション専門職からの聞き取り	その他	無回答
全体	206	150 72.8%	160 77.7%	163 79.1%	121 58.7%	15 7.3%	3 1.5%	17 8.3%	5 2.4%	-
特になし	103	74 71.8%	75 72.8%	85 82.5%	59 57.3%	3 2.9%	1 1.0%	4 3.9%	1 1.0%	-
介護予防訪問入浴介護	8	8 100.0%	8 100.0%	5 62.5%	7 87.5%	3 37.5%	1 12.5%	1 12.5%	-	-
介護予防訪問看護	15	11 73.3%	13 86.7%	12 80.0%	9 60.0%	1 6.7%	1 6.7%	3 20.0%	1 6.7%	-
介護予防訪問リハビリテーション	15	10 66.7%	13 86.7%	13 86.7%	9 60.0%	2 13.3%	-	6 40.0%	-	-
介護予防居宅療養管理指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防通所リハビリテーション	62	47 75.8%	49 79.0%	46 74.2%	35 56.5%	5 8.1%	-	4 6.5%	1 1.6%	-
介護予防短期入所生活介護	5	4 80.0%	5 100.0%	4 80.0%	3 60.0%	1 20.0%	-	1 20.0%	-	-
介護予防短期入所療養介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防認知症対応型通所介護	2	1 50.0%	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	-	-	-	-	-
介護予防小規模多機能型居宅介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

b. 利用者の疾患の状態や障害の程度に関する情報を、どのような方法で収集したか

図表 111 利用者の疾患の状態や障害の程度に関する情報を、どのような方法で収集したか【複数回答】

	件数	（た介護支援士基本情報シート） 利用支援専門員から得	よ福祉用具専門相談員に 目視・動作確認	き利用者・家族からの聞 取り	聞介護支援専門員からの 聞き取り	か他介護サービス事業者 からの聞き取り	医師からの聞き取り	門リハビリテーション専 職からの聞き取り	その他	無回答
合計	206	155 75.2%	130 63.1%	151 73.3%	126 61.2%	8 3.9%	2 1.0%	13 6.3%	5 2.4%	-
想定時期通りにモニタリングを実施	101	75 74.3%	57 56.4%	77 76.2%	62 61.4%	4 4.0%	2 2.0%	6 5.9%	3 3.0%	-
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	19 70.4%	19 70.4%	19 70.4%	17 63.0%	-	-	2 7.4%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	10 100.0%	7 70.0%	7 70.0%	7 70.0%	-	-	2 20.0%	1 10.0%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	23 71.9%	26 81.3%	26 81.3%	21 65.6%	2 6.3%	-	-	-	-
モニタリングを実施せず回収	36	28 77.8%	21 58.3%	22 61.1%	19 52.8%	2 5.6%	-	3 8.3%	1 2.8%	-

図表 112 利用者の疾患の状態や障害の程度に関する情報を、どのような方法で収集したか
×他介護予防サービスの利用状況【複数回答】

	件数	（た介護支援士基本情報シート） 利用支援専門員から得	よ福祉用具専門相談員に 目視・動作確認	き利用者・家族からの聞 取り	聞介護支援専門員からの 聞き取り	か他介護サービス事業者 からの聞き取り	医師からの聞き取り	門リハビリテーション専 職からの聞き取り	その他	無回答
全体	206	155 75.2%	130 63.1%	151 73.3%	126 61.2%	8 3.9%	2 1.0%	13 6.3%	5 2.4%	-
特になし	103	76 73.8%	62 60.2%	79 76.7%	63 61.2%	1 1.0%	-	2 1.9%	2 1.9%	-
介護予防訪問入浴介護	8	8 100.0%	7 87.5%	4 50.0%	7 87.5%	2 25.0%	-	-	-	-
介護予防訪問看護	15	11 73.3%	11 73.3%	13 86.7%	9 60.0%	-	2 13.3%	2 13.3%	1 6.7%	-
介護予防訪問リハビリテーション	15	11 73.3%	8 53.3%	12 80.0%	9 60.0%	1 6.7%	1 6.7%	5 33.3%	-	-
介護予防居宅療養管理指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防通所リハビリテーション	62	48 77.4%	40 64.5%	41 66.1%	36 58.1%	3 4.8%	-	5 8.1%	-	-
介護予防短期入所生活介護	5	4 80.0%	3 60.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	-	-
介護予防短期入所療養介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防認知症対応型通所介護	2	1 50.0%	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	-	-	-	-	-
介護予防小規模多機能型居宅介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

c. 心身機能や活動の状況、利用者の有する能力や能力向上の可能性などに関する情報を、どのような方法で収集したか

図表 113 心身機能や活動の状況、利用者の有する能力や能力向上の可能性などに関する情報を、どのような方法で収集したか【複数回答】

	件数	介護支援専門員から得た利用者基本情報シート)	福祉用具専門相談員による目視・動作確認	利用者・家族からの聞き取り	介護支援専門員からの聞き取り	他の介護サービス事業者からの聞き取り	医師からの聞き取り	門リ職からの聞き取り	その他	無回答
合計	206	134 65.0%	131 63.6%	146 70.9%	121 58.7%	11 5.3%	1 0.5%	11 5.3%	4 1.9%	7 3.4%
想定時期通りにモニタリングを実施	101	65 64.4%	65 64.4%	74 73.3%	61 60.4%	4 4.0%	1 1.0%	6 5.9%	2 2.0%	2 2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	15 55.6%	14 51.9%	21 77.8%	18 66.7%	1 3.7%	-	2 7.4%	-	2 7.4%
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	7 70.0%	8 80.0%	7 70.0%	5 50.0%	-	-	2 20.0%	1 10.0%	1 10.0%
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	21 65.6%	24 75.0%	24 75.0%	19 59.4%	4 12.5%	-	-	-	1 3.1%
モニタリングを実施せず回収	36	26 72.2%	20 55.6%	20 55.6%	18 50.0%	2 5.6%	-	1 2.8%	1 2.8%	1 2.8%

図表 114 心身機能や活動の状況、利用者の有する能力や能力向上の可能性などに関する情報を、どのような方法で収集したか×他介護予防サービスの利用状況【複数回答】

	件数	介護支援専門員から得た利用者基本情報シート)	福祉用具専門相談員による目視・動作確認	利用者・家族からの聞き取り	介護支援専門員からの聞き取り	他の介護サービス事業者からの聞き取り	医師からの聞き取り	門リ職からの聞き取り	その他	無回答
全体	206	134 65.0%	131 63.6%	146 70.9%	121 58.7%	11 5.3%	1 0.5%	11 5.3%	4 1.9%	7 3.4%
特になし	103	67 65.0%	60 58.3%	73 70.9%	57 55.3%	2 1.9%	-	3 2.9%	1 1.0%	4 3.9%
介護予防訪問入浴介護	8	8 100.0%	6 75.0%	5 62.5%	7 87.5%	3 37.5%	-	-	-	-
介護予防訪問看護	15	11 73.3%	12 80.0%	12 80.0%	10 66.7%	-	1 6.7%	2 13.3%	1 6.7%	-
介護予防訪問リハビリテーション	15	9 60.0%	9 60.0%	13 86.7%	10 66.7%	1 6.7%	1 6.7%	4 26.7%	-	-
介護予防居宅療養管理指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防通所リハビリテーション	62	39 62.9%	40 64.5%	42 67.7%	35 56.5%	4 6.5%	-	3 4.8%	-	3 4.8%
介護予防短期入所生活介護	5	4 80.0%	3 60.0%	4 80.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	-	-
介護予防短期入所療養介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防認知症対応型通所介護	2	1 50.0%	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	-	-	-	-	-
介護予防小規模多機能型居宅介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

d. 家庭内での役割、趣味活動、地域社会での活動など、生きがいにつながる活動に関する情報を、どのような方法で収集したか

図表 115 家庭内での役割、趣味活動、地域社会での活動など、生きがいにつながる活動に関する情報を、どのような方法で収集したか【複数回答】

	件数	（た介護支援専門員から得た利用者基本情報シート）	よる社用器具・専門相談員による目視・動作確認	き利用者・家族からの聞き取り	間介護支援専門員からの聞き取り	か他の介護サービス事業者からの聞き取り	医師からの聞き取り	門リハビリティテーション専門職からの聞き取り	その他	無回答
合計	206	123 59.7%	76 36.9%	165 80.1%	111 53.9%	7 3.4%	-	3 1.5%	3 1.5%	2 1.0%
想定時期通りにモニタリングを実施	101	63 62.4%	32 31.7%	82 81.2%	55 54.5%	4 4.0%	-	-	2 2.0%	1 1.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	13 48.1%	9 33.3%	23 85.2%	18 66.7%	-	-	1 3.7%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	6 60.0%	8 80.0%	8 80.0%	6 60.0%	-	-	1 10.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	19 59.4%	13 40.6%	25 78.1%	17 53.1%	2 6.3%	-	-	-	1 3.1%
モニタリングを実施せず回収	36	22 61.1%	14 38.9%	27 75.0%	15 41.7%	1 2.8%	-	1 2.8%	1 2.8%	-

図表 116 家庭内での役割、趣味活動、地域社会での活動など、生きがいにつながる活動に関する情報を、どのような方法で収集したか×他介護予防サービスの利用状況【複数回答】

	件数	（た介護支援専門員から得た利用者基本情報シート）	よる社用器具・専門相談員による目視・動作確認	き利用者・家族からの聞き取り	間介護支援専門員からの聞き取り	か他の介護サービス事業者からの聞き取り	医師からの聞き取り	門リハビリティテーション専門職からの聞き取り	その他	無回答
全体	206	123 59.7%	76 36.9%	165 80.1%	111 53.9%	7 3.4%	-	3 1.5%	3 1.5%	2 1.0%
特になし	103	56 54.4%	36 35.0%	88 85.4%	54 52.4%	2 1.9%	-	-	1 1.0%	-
介護予防訪問入浴介護	8	8 100.0%	3 37.5%	4 50.0%	8 100.0%	1 12.5%	-	-	-	-
介護予防訪問看護	15	11 73.3%	9 60.0%	12 80.0%	9 60.0%	-	-	-	1 6.7%	-
介護予防訪問リハビリテーション	15	8 53.3%	3 20.0%	14 93.3%	7 46.7%	-	-	-	-	-
介護予防居宅療養管理指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防通所リハビリテーション	62	40 64.5%	21 33.9%	45 72.6%	31 50.0%	3 4.8%	-	3 4.8%	-	2 3.2%
介護予防短期入所生活介護	5	4 80.0%	2 40.0%	5 100.0%	2 40.0%	1 20.0%	-	-	-	-
介護予防短期入所療養介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防認知症対応型通所介護	2	1 50.0%	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	-	-	-	-	-
介護予防小規模多機能型居宅介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

e. 生活上の怪我、転倒等のリスクへの対応の検討において連携した職種

ア) 検討にあたって連携した職種(利用者・家族を含む)

図表 117 検討にあたって連携した職種(利用者・家族を含む)【複数回答】

	件数	利用者・家族	介護支援専門員	他介護サービス事業者	医師	リハビリ専門職	その他	無回答
合計	206	184 89.3%	192 93.2%	31 15.0%	1 0.5%	28 13.6%	5 2.4%	1 0.5%
想定時期通りにモニタリングを実施	101	91 90.1%	91 90.1%	12 11.9%	1 1.0%	16 15.8%	2 2.0%	1 1.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	26 96.3%	26 96.3%	6 22.2%	-	3 11.1%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	9 90.0%	10 100.0%	-	-	3 30.0%	1 10.0%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	26 81.3%	32 100.0%	7 21.9%	-	2 6.3%	1 3.1%	-
モニタリングを実施せず回収	36	32 88.9%	33 91.7%	6 16.7%	-	4 11.1%	1 2.8%	-

図表 118 検討にあたって連携した職種(利用者・家族を含む)×他介護予防サービスの利用状況【複数回答】

	件数	利用者・家族	介護支援専門員	他介護サービス事業者	医師	リハビリ専門職	その他	無回答
全体	206	184 89.3%	192 93.2%	31 15.0%	1 0.5%	28 13.6%	5 2.4%	1 0.5%
特になし	103	96 93.2%	96 93.2%	10 9.7%	-	6 5.8%	2 1.9%	-
介護予防訪問入浴介護	8	5 62.5%	8 100.0%	2 25.0%	-	1 12.5%	1 12.5%	-
介護予防訪問看護	15	14 93.3%	14 93.3%	3 20.0%	-	2 13.3%	-	-
介護予防訪問リハビリテーション	15	14 93.3%	15 100.0%	3 20.0%	-	4 26.7%	-	-
介護予防居宅療養管理指導	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防通所リハビリテーション	62	54 87.1%	56 90.3%	12 19.4%	-	17 27.4%	1 1.6%	1 1.6%
介護予防短期入所生活介護	5	5 100.0%	5 100.0%	2 40.0%	-	1 20.0%	-	-
介護予防短期入所療養介護	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防認知症対応型通所介護	2	2 100.0%	2 100.0%	-	-	-	-	-
介護予防小規模多機能型居宅介護	-	-	-	-	-	-	-	-

イ) 検討結果を共有した職種(利用者・家族を含む)

図表 119 検討結果を共有した職種(利用者・家族を含む)【複数回答】

	件数	利用者・家族	介護支援専門員	事業他介護サービス	医師	リハビリ専門職	その他	無回答
合計	206	187 90.8%	194 94.2%	47 22.8%	1 0.5%	28 13.6%	2 1.0%	2 1.0%
想定時期通りにモニタリングを実施	101	92 91.1%	92 91.1%	21 20.8%	1 1.0%	16 15.8%	-	2 2.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	26 96.3%	26 96.3%	7 25.9%	-	3 11.1%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	9 90.0%	10 100.0%	-	-	3 30.0%	1 10.0%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	27 84.4%	32 100.0%	9 28.1%	-	2 6.3%	1 3.1%	-
モニタリングを実施せず回収	36	33 91.7%	34 94.4%	10 27.8%	-	4 11.1%	-	-

図表 120 検討結果を共有した職種(利用者・家族を含む)×他介護予防サービスの利用状況【複数回答】

	件数	利用者・家族	介護支援専門員	事業他介護サービス	医師	リハビリ専門職	その他	無回答
全体	206	187 90.8%	194 94.2%	47 22.8%	1 0.5%	28 13.6%	2 1.0%	2 1.0%
特になし	103	96 93.2%	96 93.2%	15 14.6%	-	5 4.9%	-	1 1.0%
介護予防訪問入浴介護	8	6 75.0%	8 100.0%	3 37.5%	-	2 25.0%	1 12.5%	-
介護予防訪問看護	15	13 86.7%	14 93.3%	5 33.3%	-	3 20.0%	-	-
介護予防訪問リハビリテーション	15	15 100.0%	15 100.0%	4 26.7%	-	7 46.7%	-	-
介護予防居宅療養管理指導	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防通所リハビリテーション	62	56 90.3%	58 93.5%	21 33.9%	-	15 24.2%	-	1 1.6%
介護予防短期入所生活介護	5	5 100.0%	5 100.0%	2 40.0%	-	1 20.0%	-	-
介護予防短期入所療養介護	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防認知症対応型通所介護	2	2 100.0%	2 100.0%	-	-	-	-	-
介護予防小規模多機能型居宅介護	-	-	-	-	-	-	-	-

f. 補装具費支給制度、日常生活用具給付制度等の福祉用具・住宅改修に係る社会資源の活用
の検討にあたって連携した職種(利用者・家族を含む)

図表 121 補装具費支給制度、日常生活用具給付制度等の福祉用具・住宅改修に係る社会資源の
活用の検討にあたって連携した職種【複数回答】

	件数	利用者・家族	介護支援専門員	事業他介護サービス	医師	リハビリ専門職	その他	無回答
合計	206	139 67.5%	148 71.8%	18 8.7%	2 1.0%	12 5.8%	6 2.9%	36 17.5%
想定時期通りにモニタリングを実施	101	71 70.3%	71 70.3%	10 9.9%	2 2.0%	7 6.9%	3 3.0%	16 15.8%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	19 70.4%	21 77.8%	-	-	1 3.7%	-	5 18.5%
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	3 30.0%	5 50.0%	-	-	1 10.0%	-	4 40.0%
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	23 71.9%	24 75.0%	3 9.4%	-	1 3.1%	2 6.3%	6 18.8%
モニタリングを実施せず回収	36	23 63.9%	27 75.0%	5 13.9%	-	2 5.6%	1 2.8%	5 13.9%

図表 122 補装具費支給制度、日常生活用具給付制度等の福祉用具・住宅改修に係る社会資源の
活用の検討にあたって連携した職種×他介護予防サービスの利用状況【複数回答】

	件数	利用者・家族	介護支援専門員	事業他介護サービス	医師	リハビリ専門職	その他	無回答
全体	206	139 67.5%	148 71.8%	18 8.7%	2 1.0%	12 5.8%	6 2.9%	36 17.5%
特になし	103	70 68.0%	76 73.8%	5 4.9%	1 1.0%	1 1.0%	4 3.9%	18 17.5%
介護予防訪問入浴介護	8	3 37.5%	3 37.5%	-	-	-	1 12.5%	3 37.5%
介護予防訪問看護	15	11 73.3%	12 80.0%	5 33.3%	-	1 6.7%	-	2 13.3%
介護予防訪問リハビリテーション	15	13 86.7%	11 73.3%	3 20.0%	-	3 20.0%	-	2 13.3%
介護予防居宅療養管理指導	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防通所リハビリテーション	62	42 67.7%	46 74.2%	6 9.7%	1 1.6%	8 12.9%	1 1.6%	8 12.9%
介護予防短期入所生活介護	5	2 40.0%	4 80.0%	1 20.0%	-	1 20.0%	-	1 20.0%
介護予防短期入所療養介護	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防認知症対応型通所介護	2	2 100.0%	2 100.0%	-	-	-	-	-
介護予防小規模多機能型居宅介護	-	-	-	-	-	-	-	-

3) 貸与種目・種類

貸与開始時の貸与種目は、モニタリング想定時期と実際のモニタリング実施時期の差による区分別に見ても、2.1.8(1)3)示した全体の結果とあまり傾向に違いはなく、「手すり」、「歩行器」が多く4割以上、「歩行補助つえ」が1～2割であった。「手すり」、「スロープ」、「歩行器」、「歩行補助つえ」の4種目について、その具体的な種類や設置場所を調査した結果は、図表 124～図表 127 に示す通り。

図表 123 貸与種目【複数回答】

	件数	車いす (付属品含む)	特殊寝台 (付属品含む)	手すり	スロープ	歩行器	歩行補助つえ	その他	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	101	4 4.0%	3 3.0%	57 56.4%	1 1.0%	43 42.6%	17 16.8%	-	-
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	-	1 3.7%	15 55.6%	-	13 48.1%	4 14.8%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	-	-	7 70.0%	-	4 40.0%	1 10.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	1 3.1%	2 6.3%	13 40.6%	-	15 46.9%	6 18.8%	-	-
モニタリングを実施せず回収	36	3 8.3%	2 5.6%	17 47.2%	-	16 44.4%	4 11.1%	1 2.8%	-

図表 124 手すりの種類【複数回答】

	件数	玄関 上がりかまち	寝室・居室・廊下	トイレ	屋外	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	57	24 42.1%	33 57.9%	16 28.1%	8 14.0%	1 1.8%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	15	4 26.7%	13 86.7%	2 13.3%	2 13.3%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	7	2 28.6%	5 71.4%	2 28.6%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	13	4 30.8%	7 53.8%	1 7.7%	2 15.4%	-
モニタリングを実施せず回収	17	7 41.2%	11 64.7%	5 29.4%	2 11.8%	-

図表 125 スロープの種類【複数回答】

	件数	携帯用 (折りたたみ式等)	固定用 (据え置き型等)	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	1	-	1 100.0%	-
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	-	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	-	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	-	-	-	-
モニタリングを実施せず回収	-	-	-	-

図表 126 歩行器の種類【複数回答】

	件数	キャスターなし	歩行車・車輪・キャスター付き 2つ以上の	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	43	3 7.0%	40 93.0%	2 4.7%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	13	-	13 100.0%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	4	-	4 100.0%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	15	-	15 100.0%	-
モニタリングを実施せず回収	16	-	16 100.0%	-

図表 127 歩行補助つえの種類【複数回答】

	件数	多点杖	多点杖以外	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	17	16 94.1%	-	1 5.9%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	4	4 100.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	1	-	1 100.0%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	6	6 100.0%	-	-
モニタリングを実施せず回収	4	4 100.0%	-	-

a. 手すりの個数

手すりを貸与している場合、その合計個数は、モニタリング想定時期と実際のモニタリング実施時期の差による区分別に見ても、2.1.8(1)3)a で示した全体の結果とあまり傾向に違いはなく、「1個」の場合が6割以上であり、設置している場所別に見ても、「1個」が最も多く5割以上を占めた。

図表 128 手すりの個数

		件数	1 個	2 個	3 個	4 個	5 個 以上	無 回 答	平均	標 準 偏 差	最 小 値	最 大 値
合計	想定時期通りにモニタリングを実施	57	34 59.6%	12 21.1%	7 12.3%	2 3.5%	1 1.8%	1 1.8%	1.7	1.3	1.0	9.0
	モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	15	8 53.3%	1 6.7%	3 20.0%	1 6.7%	-	2 13.3%	1.8	1.0	1.0	4.0
	モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	7	5 71.4%	1 14.3%	1 14.3%	-	-	-	1.4	0.7	1.0	3.0
	モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	13	10 76.9%	1 7.7%	2 15.4%	-	-	-	1.4	0.7	1.0	3.0
	モニタリングを実施せず回収	17	11 64.7%	3 17.6%	1 5.9%	1 5.9%	1 5.9%	-	1.8	1.5	1.0	7.0
	100.0%											
玄関 上がり りかま ち	想定時期通りにモニタリングを実施	24	24 100.0%	-	-	-	-	-	1.0	0.0	1.0	1.0
	モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	4	4 100.0%	-	-	-	-	-	1.0	0.0	1.0	1.0
	モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	2	2 100.0%	-	-	-	-	-	1.0	0.0	1.0	1.0
	モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	4	4 100.0%	-	-	-	-	-	1.0	0.0	1.0	1.0
	モニタリングを実施せず回収	7	7 100.0%	-	-	-	-	-	1.0	0.0	1.0	1.0
	100.0%											
寝室・ 居室・ 廊下	想定時期通りにモニタリングを実施	33	25 75.8%	5 15.2%	2 6.1%	-	1 3.0%	-	1.5	1.1	1.0	7.0
	モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	13	8 61.5%	2 15.4%	1 7.7%	-	2 15.4%	-	1.4	0.6	1.0	3.0
	モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	5	4 80.0%	1 20.0%	-	-	-	-	1.2	0.4	1.0	2.0
	モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	7	5 71.4%	1 14.3%	1 14.3%	-	-	-	1.4	0.7	1.0	3.0
	モニタリングを実施せず回収	11	7 63.6%	3 27.3%	-	1 9.1%	-	-	1.5	0.9	1.0	4.0
	100.0%											
トイレ	想定時期通りにモニタリングを実施	16	16 100.0%	-	-	-	-	-	1.0	0.0	1.0	1.0
	モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	2	2 100.0%	-	-	-	-	-	1.0	0.0	1.0	1.0
	モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	2	2 100.0%	-	-	-	-	-	1.0	0.0	1.0	1.0
	モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	1	1 100.0%	-	-	-	-	-	1.0	0.0	1.0	1.0
	モニタリングを実施せず回収	5	5 100.0%	-	-	-	-	-	1.0	0.0	1.0	1.0
	100.0%											
屋外	想定時期通りにモニタリングを実施	8	6 75.0%	1 12.5%	-	-	-	1 12.5%	1.1	0.3	1.0	2.0
	モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	2	2 100.0%	-	-	-	-	-	1.0	0.0	1.0	1.0
	モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	2	1 50.0%	1 50.0%	-	-	-	-	1.5	0.5	1.0	2.0
	モニタリングを実施せず回収	2	2 100.0%	-	-	-	-	-	1.0	0.0	1.0	1.0
	100.0%											

※手すりの個数の数え方が事業所によって異なる可能性があることに留意する必要がある。

4) 目標を達成するまでの想定期間

貸与開始時に設定した目標を達成するまでの想定期間は、図表 129 に示す通り。

「手すり」では、「モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施」した場合は「4か月～6か月」、それ以外の場合では「10～12か月」が最も多かった。また、「歩行器」においても、「モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施」した場合、および「モニタリングを実施せず回収」した場合は「4～6か月」、それ以外の場合では「10～12か月」が最も多かった。

図表 129 目標を達成するまでの想定期間

		件数	3か月以内	4か月～6か月	7か月～9か月	10か月～12か月	13か月以上	無回答	平均	標準偏差	最小値	最大値
車いす	想定時期通りにモニタリングを実施	4	-	2	-	2	-	-	9.0	3.0	6.0	12.0
	モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	100.0%	-	50.0%	-	50.0%	-	-	-	-	-	-
	モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	1	-	-	-	1	-	-	12.0	0.0	12.0	12.0
	モニタリングを実施せず回収	3	1	2	-	-	-	-	4.2	2.6	0.5	6.0
		100.0%	33.3%	66.7%	-	-	-	-	-	-	-	-
特殊寝台	想定時期通りにモニタリングを実施	3	1	-	-	2	-	-	8.7	4.7	2.0	12.0
	モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	100.0%	33.3%	-	-	66.7%	-	-	-	-	-	-
	モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	1	1	-	-	-	-	-	1.0	0.0	1.0	1.0
	モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	100.0%	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	モニタリングを実施せず回収	2	1	1	-	-	-	-	3.5	2.5	1.0	6.0
		100.0%	50.0%	50.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
手すり	想定時期通りにモニタリングを実施	57	8	13	2	25	2	7	9.1	4.9	0.0	24.0
	モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	100.0%	14.0%	22.8%	3.5%	43.9%	3.5%	12.3%	-	-	-	-
	モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	15	-	6	-	5	1	3	9.8	5.1	6.0	24.0
	モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	100.0%	-	40.0%	-	33.3%	6.7%	20.0%	-	-	-	-
	モニタリングを実施せず回収	7	1	-	-	6	-	-	10.4	3.8	1.0	12.0
		100.0%	14.3%	-	-	85.7%	-	-	-	-	-	-
スロープ	想定時期通りにモニタリングを実施	13	1	3	1	7	1	-	10.0	5.3	0.0	24.0
	モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	100.0%	7.7%	23.1%	7.7%	53.8%	7.7%	-	-	-	-	-
	モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	17	1	5	-	11	-	-	9.7	3.2	3.0	12.0
	モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	100.0%	5.9%	29.4%	-	64.7%	-	-	-	-	-	-
	モニタリングを実施せず回収	1	-	1	-	-	-	-	6.0	0.0	6.0	6.0
		100.0%	-	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
歩行器	想定時期通りにモニタリングを実施	43	1	14	4	21	1	2	9.5	3.8	1.0	24.0
	モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	100.0%	2.3%	32.6%	9.3%	48.8%	2.3%	4.7%	-	-	-	-
	モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	13	4	5	-	4	-	-	6.5	3.7	1.0	12.0
	モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	100.0%	30.8%	38.5%	-	30.8%	-	-	-	-	-	-
	モニタリングを実施せず回収	4	-	-	-	4	-	-	11.5	0.9	10.0	12.0
		100.0%	-	-	-	100.0%	-	-	-	-	-	-
歩行補助つえ	想定時期通りにモニタリングを実施	15	-	6	-	7	1	1	10.0	4.9	4.0	24.0
	モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	100.0%	-	40.0%	-	46.7%	6.7%	6.7%	-	-	-	-
	モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	16	3	8	-	3	-	2	6.4	3.4	0.5	12.0
	モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	100.0%	18.8%	50.0%	-	18.8%	-	12.5%	-	-	-	-
	モニタリングを実施せず回収	17	1	3	3	7	1	2	10.2	4.7	3.0	24.0
		100.0%	5.9%	17.6%	17.6%	41.2%	5.9%	11.8%	-	-	-	-
その他	想定時期通りにモニタリングを実施	4	-	-	-	3	1	-	15.0	5.2	12.0	24.0
	モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	100.0%	-	-	-	75.0%	25.0%	-	-	-	-	-
	モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	1	-	-	-	1	-	-	12.0	0.0	12.0	12.0
	モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	100.0%	-	-	-	100.0%	-	-	-	-	-	-
	モニタリングを実施せず回収	6	-	2	1	3	-	-	9.2	2.9	6.0	12.0
		100.0%	-	33.3%	16.7%	50.0%	-	-	-	-	-	-
その他	想定時期通りにモニタリングを実施	4	-	2	-	2	-	-	9.0	3.0	6.0	12.0
	モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	100.0%	-	50.0%	-	50.0%	-	-	-	-	-	-
	モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	モニタリングを実施せず回収	1	1	-	-	-	-	-	1.0	0.0	1.0	1.0
		100.0%	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-

a. 目標を達成するまでの想定期間の根拠

目標を達成するまでの想定期間の根拠は、モニタリング想定時期と実際のモニタリング実施時期の差による区分別に見ても、2.1.8(1)4)aで示した全体の結果とあまり傾向に違いはなく、「福祉用具専門相談員としての見立て」が最も多く、次いで「利用者・家族による意向」、「介護支援専門員からの助言・情報共有」、「介護予防ケアプランの支援計画期間に準拠」の順であり、他介護サービス事業者や医師、リハビリテーション専門職からの助言・情報共有を根拠としている割合は1割に満たなかった。

図表 130 目標を達成するまでの想定期間の根拠【複数回答】

	件数	福祉用具専門相談員としての見立て	利用者・家族による意向	介護支援専門員からの助言・情報共有	他の介護サービス事業者からの助言・情報共有	医師からの助言・情報共有	からのリハビリテーション専門職からの助言・情報共有	介護予防ケアプランの支援計画期間に準拠	その他	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	101	67 66.3%	52 51.5%	42 41.6%	1 1.0%	1 1.0%	4 4.0%	17 16.8%	3 3.0%	1 1.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	20 74.1%	13 48.1%	10 37.0%	-	1 3.7%	1 3.7%	8 29.6%	1 3.7%	1 3.7%
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	9 90.0%	3 30.0%	2 20.0%	-	-	1 10.0%	2 20.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	22 68.8%	16 50.0%	12 37.5%	2 6.3%	-	1 3.1%	9 28.1%	1 3.1%	-
モニタリングを実施せず回収	36	25 69.4%	17 47.2%	14 38.9%	2 5.6%	-	1 2.8%	6 16.7%	-	-

b. 目標を達成するまでの期間を想定するにあたって確認した事項

aで「福祉用具専門相談員としての見立て」を選択した場合に、目標を達成するまでの期間を想定するにあたって確認した事項について、モニタリング想定時期と実際のモニタリング実施時期の差による区分別を見ると、概ね2.1.8(1)4)bで示した全体の結果と傾向は同じであったが、「モニタリングを実施せず回収」した場合において、「疾病・疾患」、「介護環境」、「活動・参加の状況(外出の頻度や目的等)」を確認した割合が他の場合よりもやや低かった。

図表 131 目標を達成するまでの期間を想定するにあたって確認した事項【複数回答】

	件数	利用者・家族の意向	身体状況・ADL	疾病・疾患	介護環境	住環境	転倒・転落の経験	(活動・参加の頻度や目的等)	その他	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	67	58 86.6%	53 79.1%	25 37.3%	15 22.4%	27 40.3%	20 29.9%	16 23.9%	-	4 6.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	20	19 95.0%	14 70.0%	11 55.0%	6 30.0%	6 30.0%	9 45.0%	7 35.0%	1 5.0%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	9	7 77.8%	9 100.0%	6 66.7%	3 33.3%	5 55.6%	2 22.2%	2 22.2%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	22	18 81.8%	19 86.4%	10 45.5%	5 22.7%	14 63.6%	10 45.5%	11 50.0%	-	-
モニタリングを実施せず回収	25	23 92.0%	19 76.0%	6 24.0%	4 16.0%	10 40.0%	8 32.0%	4 16.0%	-	-

※図表 130 で「福祉用具専門相談員としての見立て」を選択した場合のみ回答対象。

5) モニタリング想定時期

貸与開始時に設定したモニタリング想定時期は、図表 132 に示す通り。

モニタリング想定時期と実際のモニタリング実施時期の差による区分別に見ても、概ね 2.1.8(4)5) で示した全体の結果と傾向と違いはなく、「3か月以内」または「4～6か月」が最も多い場合が多かった。

図表 132 モニタリング想定時期

		件数	1か月以内	2か月以内	3か月以内	4～6か月以内	7～9か月以内	10～12か月以内	13か月以上	無回答	平均	標準偏差	最小値	最大値
車いす	想定時期通りにモニタリングを実施	4	3	-	1	-	-	-	-	-	1.5	0.9	1.0	3.0
	モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	-	75.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	1	-	-	-	100.0	1	-	-	-	6.0	0.0	6.0	6.0
	モニタリングを実施せず回収	3	-	1	1	33.3	33.3	-	-	-	3.7	1.7	2.0	6.0
特殊寝台	想定時期通りにモニタリングを実施	3	-	1	2	-	-	-	-	-	2.7	0.5	2.0	3.0
	モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	2.0	0.0	2.0	2.0
	モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	2	-	-	-	1	50.0	-	1	-	10.5	4.5	6.0	15.0
	モニタリングを実施せず回収	2	1	-	1	-	-	-	-	-	2.0	1.0	1.0	3.0
手すり	想定時期通りにモニタリングを実施	57	12	11	30	-	-	-	-	4	2.3	0.9	0.0	3.0
	モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	15	-	-	15	-	-	-	-	-	3.0	0.0	3.0	3.0
	モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	7	-	-	-	6	1	-	-	-	5.7	0.7	5.0	7.0
	モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	13	-	-	-	13	-	-	-	-	5.7	0.6	4.0	6.0
	モニタリングを実施せず回収	17	1	1	7	6	1	-	-	1	3.9	1.7	1.0	8.0
		100.0	5.9	5.9	41.2	35.3	5.9	-	-	5.9	-	-	-	-
		1	-	-	1	-	-	-	-	-	3.0	0.0	3.0	3.0
スロープ	想定時期通りにモニタリングを実施	1	-	-	1	-	-	-	-	-	3.0	0.0	3.0	3.0
	モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	モニタリングを実施せず回収	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
歩行器	想定時期通りにモニタリングを実施	43	13	7	20	-	-	-	-	3	2.2	0.9	0.0	3.0
	モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	13	5	1	7	-	-	-	-	-	2.1	1.1	0.0	3.0
	モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	4	-	-	-	3	1	-	-	-	5.8	1.5	4.0	8.0
	モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	15	-	-	-	14	-	-	1	-	6.3	2.4	4.0	15.0
	モニタリングを実施せず回収	16	-	2	6	6	-	-	-	2	3.9	1.4	2.0	6.0
		100.0	-	12.5	37.5	37.5	-	-	-	12.5	-	-	-	-
歩行補助つえ	想定時期通りにモニタリングを実施	17	3	4	10	-	-	-	-	-	2.4	0.8	1.0	3.0
	モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	4	-	-	4	-	-	-	-	-	3.0	0.0	3.0	3.0
	モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	1	-	-	-	1	-	-	-	-	5.0	0.0	5.0	5.0
	モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	6	-	-	-	5	1	-	-	-	6.0	1.0	5.0	8.0
	モニタリングを実施せず回収	4	-	1	3	83.3	16.7	-	-	-	2.8	0.4	2.0	3.0
		100.0	-	25.0	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	想定時期通りにモニタリングを実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	モニタリングを実施せず回収	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1.0	0.0	1.0	1.0

※モニタリング想定時期は貸与種目ごとではなく利用者ごとに回答しているため、複数種目を貸与している場合には重複が含まれていることに留意されたい。

a. モニタリング想定時期の根拠

モニタリング想定時期の根拠は、モニタリング想定時期と実際のモニタリング実施時期の差による区分別に見ても、2.1.8(1)5)a で示した全体の結果と大きな傾向の違いはなかったものの、モニタリング想定時期が4か月以上の場合(「モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリング実施」または「モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施」)において、「事業所としての基本的な方針」を根拠としている割合が他の場合よりも高かった。

図表 133 モニタリング想定時期の根拠【複数回答】

	件数	の福祉用具専門相談員としての見立て	利用者・家族による意向	介護支援専門員からの助言・情報共有	他介護サービス事業者からの助言・情報共有	医師からの助言・情報共有	リハビリテーション専門職からの助言・情報共有	目標を達成するまでの想定期間に準拠	事業所としての基本的な方針	その他	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	101	77 76.2%	24 23.8%	15 14.9%	1 1.0%	-	3 3.0%	9 8.9%	15 14.9%	4 4.0%	1 1.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	21 77.8%	8 29.6%	5 18.5%	-	-	-	3 11.1%	6 22.2%	3 11.1%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	7 70.0%	1 10.0%	1 10.0%	-	-	1 10.0%	-	4 40.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	20 62.5%	7 21.9%	2 6.3%	1 3.1%	-	-	3 9.4%	14 43.8%	-	-
モニタリングを実施せず回収	36	28 77.8%	6 16.7%	8 22.2%	-	-	-	5 13.9%	5 13.9%	-	1 2.8%

b. モニタリング時期を想定するにあたって確認した事項

a で「福祉用具専門相談員としての見立て」を選択した場合に、モニタリング時期を想定するにあたって確認した事項について、モニタリング想定時期と実際のモニタリング実施時期の差による区分別に見ると、概ね 2.1.8(1)5)b で示した全体の結果と傾向は同じであったが、「モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施」した場合には「利用者・家族の意欲・意向」、「転倒・転落の経験」、「モニタリングを実施せず回収」した場合には、「介護環境」、「活動・参加の状況(外出の頻度や目的等)」を確認した割合が他の場合よりもやや低かった。

図表 134 モニタリング時期を想定するにあたって確認した事項【複数回答】

	件数	利用者・家族の意欲・意向	身体状況・ADL	疾病・疾患	介護環境	住環境	転倒・転落の経験	(活動・参加の頻度や目的等)	その他	無回答
想定時期通りにモニタリングを実施	77	57 74.0%	61 79.2%	14 18.2%	13 16.9%	23 29.9%	27 35.1%	18 23.4%	2 2.6%	1 1.3%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	21	17 81.0%	15 71.4%	5 23.8%	2 9.5%	6 28.6%	6 28.6%	5 23.8%	1 4.8%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	7	4 57.1%	5 71.4%	2 28.6%	1 14.3%	3 42.9%	1 14.3%	2 28.6%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	20	17 85.0%	18 90.0%	4 20.0%	4 20.0%	8 40.0%	9 45.0%	7 35.0%	2 10.0%	-
モニタリングを実施せず回収	28	20 71.4%	22 78.6%	7 25.0%	2 7.1%	9 32.1%	5 17.9%	6 21.4%	-	-

※図表 133 で「福祉用具専門相談員としての見立て」を選択した場合のみ回答対象。

c. 次回モニタリングでの確認事項

貸与開始時に想定している次回モニタリングでの確認事項についても、2.1.8(1)5)c で示した全体の結果と大きな傾向の違いはなく、いずれの区分においても、「福祉用具の利用状況の確認(場所・頻度・使用方法・安全性等)」が最も多く、次いで「利用者の状態像の変化の確認」、「利用者・家族の意欲・意向の変化の確認」、「介護環境・住環境等の変化の確認」の順であった。

図表 135 次回モニタリングでの確認事項【複数回答】

	件数	安(福 全場社 性所用 等)具 の 頻度 ・ 利用 状況 方法 の 確認	認 利 用 者 の 状 態 像 の 変 化 の 確 認	の 利 用 者 ・ 家 族 の 意 欲 ・ 意 向 の 確 認	の 介 護 環 境 ・ 住 環 境 等 の 変 化 の 確 認	そ の 他	無 回 答
想定時期通りにモニタリングを実施	101	96 95.0%	76 75.2%	61 60.4%	46 45.5%	3 3.0%	4 4.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	27 100.0%	22 81.5%	18 66.7%	10 37.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	10 100.0%	9 90.0%	8 80.0%	6 60.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	32 100.0%	29 90.6%	26 81.3%	21 65.6%	1 3.1%	-
モニタリングを実施せず回収	36	35 97.2%	29 80.6%	20 55.6%	17 47.2%	-	1 2.8%

(5) モニタリング実施時の状況等について

1) モニタリングでの実施内容

モニタリングでの実施内容について、a～dのいずれも「福祉用具専門相談員による目視・動作確認」および「利用者・家族からの聞き取り」が約8～10割、「介護支援専門員からの聞き取り」が約3～5割であり、他介護サービス事業者や医師、リハビリテーション専門職からの聞き取りにより確認している割合は、ほぼ1割に満たず、多い場合でも1割程度であった。

他介護予防サービスの利用状況別に見ると、他介護サービス事業者や医師、リハビリテーション専門職からの助言・情報共有を根拠としているのは、主に介護予防訪問看護、介護予防訪問リハビリテーション、介護予防通所リハビリテーション、介護予防短期入所生活介護を利用している場合であった。

a. 福祉用具の利用状況の確認(場所・頻度・使用方法・安全性等)

図表 136 福祉用具の利用状況の確認(場所・頻度・使用方法・安全性等)【複数回答】

	件数	福祉用具専門相談員による目視・動作確認に	利用者・家族からの聞き取り	介護支援専門員からの聞き取り	他介護サービス事業者からの聞き取り	医師からの聞き取り	リハビリテーション専門職からの聞き取り	その他	無回答
合計	170	155 91.2%	152 89.4%	58 34.1%	11 6.5%	-	4 2.4%	-	4 2.4%
想定時期通りにモニタリングを実施	101	89 88.1%	91 90.1%	33 32.7%	6 5.9%	-	1 1.0%	-	4 4.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	27 100.0%	23 85.2%	12 44.4%	3 11.1%	-	2 7.4%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	10 100.0%	9 90.0%	4 40.0%	1 10.0%	-	1 10.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	29 90.6%	29 90.6%	9 28.1%	1 3.1%	-	-	-	-

図表 137 福祉用具の利用状況の確認(場所・頻度・使用方法・安全性等)
×他介護予防サービスの利用状況【複数回答】

	件数	よ 福 る 祉 目 用 視 具 ・ 専 動 門 作 相 確 談 認 員 に	き 利 取 用 り 者 ・ 家 族 か ら の 間	聞 介 き 護 取 支 り 援 専 門 員 か ら の	か 他 ら 介 の 護 聞 サ き ー 取 ビ り ス 事 業 者	医 師 か ら の 聞 き 取 り	門 職 ハ バ リ テ ー シ ヨ ン 専 門 か ら の 聞 き 取 り	そ の 他	無 回 答
全体	170	155 91.2%	152 89.4%	58 34.1%	11 6.5%	-	4 2.4%	-	4 2.4%
特になし	85	78 91.8%	77 90.6%	29 34.1%	5 5.9%	-	-	-	1 1.2%
介護予防訪問入浴介護	7	7 100.0%	5 71.4%	3 42.9%	-	-	-	-	-
介護予防訪問看護	13	13 100.0%	10 76.9%	7 53.8%	3 23.1%	-	1 7.7%	-	-
介護予防訪問リハビリテーション	14	14 100.0%	13 92.9%	6 42.9%	1 7.1%	-	2 14.3%	-	-
介護予防居宅療養管理指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防通所リハビリテーション	51	43 84.3%	45 88.2%	14 27.5%	3 5.9%	-	2 3.9%	-	3 5.9%
介護予防短期入所生活介護	4	4 100.0%	4 100.0%	3 75.0%	1 25.0%	-	1 25.0%	-	-
介護予防短期入所療養介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防認知症対応型通所介護	1	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	-	-	-	-	-
介護予防小規模多機能型居宅介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-

b. 利用者の状態像の変化の確認

図表 138 利用者の状態像の変化の確認【複数回答】

	件数	よ 福 る 祉 目 用 視 具 ・ 専 動 門 作 相 確 談 認 員 に	き 利 取 用 り 者 ・ 家 族 か ら の 間	聞 介 き 護 取 支 り 援 専 門 員 か ら の	か 他 ら 介 の 護 聞 サ き ー 取 ビ り ス 事 業 者	医 師 か ら の 聞 き 取 り	門 職 ハ バ リ テ ー シ ヨ ン 専 門 か ら の 聞 き 取 り	そ の 他	無 回 答
合計	170	151 88.8%	152 89.4%	67 39.4%	10 5.9%	-	5 2.9%	-	4 2.4%
想定時期通りにモニタリングを実施	101	86 85.1%	89 88.1%	39 38.6%	6 5.9%	-	1 1.0%	-	4 4.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	27 100.0%	23 85.2%	13 48.1%	2 7.4%	-	3 11.1%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	10 100.0%	9 90.0%	4 40.0%	1 10.0%	-	1 10.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	28 87.5%	31 96.9%	11 34.4%	1 3.1%	-	-	-	-

図表 139 利用者の状態像の変化の確認×他介護予防サービスの利用状況【複数回答】

	件数	よる福祉用具専門相談員に	き取り利用者・家族からの間	聞き取り介護支援専門員からの	か他介護サービス事業者からの聞き取り	医師からの聞き取り	門リハビリテーション専門	その他	無回答
全体	170	151 88.8%	152 89.4%	67 39.4%	10 5.9%	-	5 2.9%	-	4 2.4%
特になし	85	75 88.2%	77 90.6%	31 36.5%	5 5.9%	-	-	-	1 1.2%
介護予防訪問入浴介護	7	7 100.0%	5 71.4%	5 71.4%	1 14.3%	-	-	-	-
介護予防訪問看護	13	13 100.0%	10 76.9%	8 61.5%	3 23.1%	-	1 7.7%	-	-
介護予防訪問リハビリテーション	14	14 100.0%	12 85.7%	8 57.1%	1 7.1%	-	2 14.3%	-	-
介護予防居宅療養管理指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防通所リハビリテーション	51	42 82.4%	46 90.2%	17 33.3%	2 3.9%	-	3 5.9%	-	3 5.9%
介護予防短期入所生活介護	4	4 100.0%	4 100.0%	3 75.0%	1 25.0%	-	1 25.0%	-	-
介護予防短期入所療養介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防認知症対応型通所介護	1	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	-	-	-	-	-
介護予防小規模多機能型居宅介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-

c. 利用者・家族の意欲・意向の変化の確認

図表 140 利用者・家族の意欲・意向の変化の確認【複数回答】

	件数	よる福祉用具専門相談員に	き取り利用者・家族からの間	聞き取り介護支援専門員からの	か他介護サービス事業者からの聞き取り	医師からの聞き取り	門リハビリテーション専門	その他	無回答
合計	170	139 81.8%	152 89.4%	60 35.3%	8 4.7%	1 0.6%	4 2.4%	-	5 2.9%
想定時期通りにモニタリングを実施	101	82 81.2%	90 89.1%	34 33.7%	4 4.0%	1 1.0%	1 1.0%	-	5 5.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	22 81.5%	22 81.5%	12 44.4%	2 7.4%	-	2 7.4%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	10 100.0%	9 90.0%	5 50.0%	1 10.0%	-	1 10.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	25 78.1%	31 96.9%	9 28.1%	1 3.1%	-	-	-	-

図表 141 利用者・家族の意欲・意向の変化の確認×他介護予防サービスの利用状況【複数回答】

	件数	よる福祉用具専門相談員に	き取り利用者・家族からの聞	聞き取り介護支援専門員からの	か他介護サービス事業者からの聞き取り	医師からの聞き取り	門リハビリテーション専門	その他	無回答
全体	170	139 81.8%	152 89.4%	60 35.3%	8 4.7%	1 0.6%	4 2.4%	-	5 2.9%
特になし	85	72 84.7%	76 89.4%	26 30.6%	5 5.9%	-	-	-	1 1.2%
介護予防訪問入浴介護	7	5 71.4%	6 85.7%	4 57.1%	-	-	-	-	-
介護予防訪問看護	13	11 84.6%	11 84.6%	7 53.8%	1 7.7%	1 7.7%	1 7.7%	-	-
介護予防訪問リハビリテーション	14	11 78.6%	12 85.7%	6 42.9%	-	1 7.1%	2 14.3%	-	-
介護予防居宅療養管理指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防通所リハビリテーション	51	36 70.6%	45 88.2%	18 35.3%	2 3.9%	-	2 3.9%	-	4 7.8%
介護予防短期入所生活介護	4	4 100.0%	4 100.0%	2 50.0%	-	1 25.0%	1 25.0%	-	-
介護予防短期入所療養介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防認知症対応型通所介護	1	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	-	-	-	-	-
介護予防小規模多機能型居宅介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-

d. 介護環境・住環境等の変化の確認

図表 142 介護環境・住環境等の変化の確認【複数回答】

	件数	よる福祉用具専門相談員に	き取り利用者・家族からの聞	聞き取り介護支援専門員からの	か他介護サービス事業者からの聞き取り	医師からの聞き取り	門リハビリテーション専門	その他	無回答
合計	170	149 87.6%	147 86.5%	55 32.4%	7 4.1%	-	3 1.8%	-	4 2.4%
想定時期通りにモニタリングを実施	101	85 84.2%	90 89.1%	31 30.7%	4 4.0%	-	-	-	4 4.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	26 96.3%	21 77.8%	10 37.0%	1 3.7%	-	2 7.4%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	10 100.0%	8 80.0%	5 50.0%	1 10.0%	-	1 10.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	28 87.5%	28 87.5%	9 28.1%	1 3.1%	-	-	-	-

図表 143 介護環境・住環境等の変化の確認×他介護予防サービスの利用状況【複数回答】

	件数	よる福祉用具専門相談員に	き取り利用者・家族からの聞き取り	聞き取り介護支援専門員からの聞き取り	からの介護サービス事業者からの聞き取り	医師からの聞き取り	リハビリテーション専門職からの聞き取り	その他	無回答
全体	170	149 87.6%	147 86.5%	55 32.4%	7 4.1%	-	3 1.8%	-	4 2.4%
特になし	85	74 87.1%	76 89.4%	24 28.2%	5 5.9%	-	-	-	1 1.2%
介護予防訪問入浴介護	7	6 85.7%	6 85.7%	4 57.1%	-	-	-	-	-
介護予防訪問看護	13	13 100.0%	10 76.9%	8 61.5%	1 7.7%	-	-	-	-
介護予防訪問リハビリテーション	14	14 100.0%	12 85.7%	6 42.9%	-	-	1 7.1%	-	-
介護予防居宅療養管理指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防通所リハビリテーション	51	41 80.4%	41 80.4%	14 27.5%	1 2.0%	-	2 3.9%	-	3 5.9%
介護予防短期入所生活介護	4	4 100.0%	4 100.0%	2 50.0%	-	-	-	-	-
介護予防短期入所療養介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防認知症対応型通所介護	1	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	-	-	-	-	-
介護予防小規模多機能型居宅介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-

2) モニタリング時に確認した利用者の状況は、貸与開始時に想定した通りだったか

モニタリング時に確認した利用者の状況が、貸与開始時に想定した通りだったかについて、「想定通りであった」割合は全体の85.3%であり、約1割は「想定通りではなかった」と回答した。

モニタリング想定時期と実際のモニタリング実施時期の差による区分別に見ると、「想定時期通りにモニタリングを実施」した場合には「想定通りではなかった」割合は3.0%であったが、想定より早くモニタリングを実施した場合においては「想定通りではなかった」割合は1割以上あり、特に「モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施した場合」では3割以上が「想定通りではなかった」と回答した。

図表 144 モニタリング時に確認した利用者の状況は、貸与開始時に想定した通りだったか

	件数	想定通りであった	想定通りではなかった	無回答
合計	170	145 100.0%	18 10.6%	7 4.1%
想定時期通りにモニタリングを実施	101	92 100.0%	3 3.0%	6 5.9%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	18 100.0%	9 33.3%	—
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	8 100.0%	2 20.0%	—
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	27 100.0%	4 12.5%	1 3.1%

a. 想定とは異なっていた点／想定通りにならなかった理由として考えられる点

2)で「想定通りではなかった」と回答した場合について、想定とは異なっていた点および、想定通りにならなかった理由として考えられる点は、図表 145 の通りであった。

図表 145 想定とは異なっていた点【自由記述回答】／
想定通りにならなかった理由として考えられる点【複数回答】

想定とは異なっていた点	想定通りにならなかった理由として考えられる点
想定時期通りにモニタリングを実施	
食事量の減少により活動量の減少に伴い歩行状態が悪化	▶ 身体状況の急変のため
当人の状態悪化により区分変更申請が行われた	▶ 回復維持を想定していたが、身体状況の悪化が見られた
認知症の進行により歩行力の低下が見られた	▶ 認知症の進行のため
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	
シャワーチェアの購入検討があった為訪問となり、その際に使用状況の確認をすることとなった	▶ 納品後の利用者への状況確認が不足していた
膝痛、座位移動による手首の腱鞘炎の為、立ち座りや移動がより困難になっていた	▶ ご本人病状・体調の悪化
変更申請中ではあったが開始から3か月以内に入院された	▶ 貸与開始時の利用者・家族からのニーズ把握が不足していた
通所サービス利用開始により、ADL の改善がみられ早めのモニタリングとなった	▶ 想定より早めの状態改善が見られた
軽いものへ交換希望となり機種変更となった	▶ 貸与開始時の利用者・家族からのニーズ把握が不足していた
-	▶ 利用者の意欲が向上し、新たに要望が発生した
室内で転倒し右上腕を骨折、ADL や身体状況に顕著な変化は無かったが歩行や起居動作時に利き腕に制限がかかってしまったため	▶ ADL、身体状況が変化したため
お仏壇に行くとき、トイレに行くときにしっかり歩行器につかまり移動していた	▶ 本人が私が思っている以上に歩行器を気に入っていた
夏季の暑い時期で外出の頻度が反対に減ってしまい筋力低下、自宅内での移動も転倒が増えていた	▶ 納品後の利用者への状況確認が不足していた
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	
屋外を独歩で移動した結果、転倒し尻もちをついてしまったらしく、股関節に痛みがあり自力での歩行が難しい状態であった	▶ ハプニング
歩行が不安定になっており想定より、転倒リスクが高くなっており玄関と洗面に手すりを設置した	▶ 貸与開始時の他職種からの情報収集が不足していた
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	
下肢筋力の低下は生じていなかった	▶ 貸与開始時の利用者・家族からのニーズ把握が不足していた ▶ 福祉用具専門相談員自身の知識が不足していた
病状について落ち着いており移動能力の悪化という点についてあまり大きな変化がなかった	▶ 病状の進行速度について考えが不足していた
足の手術が行われ、入院の影響もあり ADL など本人の身体状況が変化した	▶ 貸与開始時の利用者・家族からのニーズ把握が不足していた
転倒の危険性が高くないと想定していた箇所での転倒が発生した	▶ 段差の無い箇所であったため

3) モニタリング結果を踏まえた判断

モニタリング結果を踏まえた判断については、「貸与継続」が全体の86.5%を占め、「種目・商品の追加を検討」または「種目・商品の変更を検討」、「貸与終了を検討」と回答した割合は1割であった。

モニタリング想定時期と実際のモニタリング実施時期の差による区分別に見ると、いずれの区分においても「貸与継続」が最も多かったが、本調査への協力以外の理由で想定より早くモニタリングを実施した場合（「モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施」または「モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施」）において、「種目・商品の追加を検討」または「種目・商品の変更を検討」、「貸与終了を検討」と回答した割合が高かった。

図表 146 モニタリング結果を踏まえた判断

	件数	貸与継続	種目・商品の追加を検討	種目・商品の変更を検討	貸与終了を検討	無回答
合計	170	147 86.5%	9 5.3%	6 3.5%	2 1.2%	6 3.5%
想定時期通りにモニタリングを実施	101	89 88.1%	3 3.0%	2 2.0%	1 1.0%	6 5.9%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	20 74.1%	4 14.8%	2 7.4%	1 3.7%	—
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	7 70.0%	2 20.0%	1 10.0%	—	—
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	31 96.9%	—	1 3.1%	—	—

a. 貸与継続と判断した理由

3)で「貸与継続」と回答した場合について、貸与継続と判断した理由は、「適合しており、利用者が継続を希望したため」が76.9%と最も多く、次いで「ADLの維持・向上ができてきているため」が73.5%、「生活範囲の維持・拡大ができてきているため」が55.1%であり、モニタリング想定時期と実際のモニタリング実施時期の差による区分別に見ても、「モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施」した場合を除き、概ね傾向は同様であった。

図表 147 貸与継続と判断した理由【複数回答】

	件数	でADLの維持・向上が	状態の変動があるため	が生活範囲の維持・拡大	住環境全般に変化がないため	が適合しており、利用者が継続を希望したため	主たる介護者の変更がないため	介護負担軽減に寄与しているため	が適合しており、介護者を希望したため	その他	無回答
合計	147	108 73.5%	6 4.1%	81 55.1%	53 36.1%	113 76.9%	11 7.5%	24 16.3%	44 29.9%	2 1.4%	-
想定時期通りにモニタリングを実施	89	65 73.0%	4 4.5%	49 55.1%	31 34.8%	63 70.8%	7 7.9%	12 13.5%	28 31.5%	-	-
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	20	14 70.0%	-	10 50.0%	6 30.0%	16 80.0%	1 5.0%	5 25.0%	4 20.0%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	7	3 42.9%	1 14.3%	3 42.9%	3 42.9%	6 85.7%	1 14.3%	2 28.6%	4 57.1%	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	31	26 83.9%	1 3.2%	19 61.3%	13 41.9%	28 90.3%	2 6.5%	5 16.1%	8 25.8%	2 6.5%	-

※図表 146 で「貸与継続」と回答した場合のみ回答対象。

b. 追加・変更・終了を検討した理由

3)で「種目・商品の追加を検討」または「種目・商品の変更を検討」、「貸与終了を検討」と回答した場合について、追加・変更・終了を検討した理由は、「利用者の状態像が悪化したため」および「利用者が変更を希望したため」が47.1%と最も多く、次いで「利用者の状態像が改善したため」が29.4%、「介護者が変更を希望したため」が11.8%であり、モニタリング想定時期と実際のモニタリング実施時期の差による区分別に見ても概ね傾向は同様であった。

図表 148 追加・変更・終了を検討した理由【複数回答】

	件数	利用者の状態像が改善したため	利用者の状態像が悪化したため	住環境が変化したため	介護環境が変化したため	他サービスの利用状況が変化したため	貸与したが利用しなかつたため	介護者の負担が大きかつたため	利用者が変更を希望したため	介護者が変更を希望したため	福祉用具貸与事業所において商品の取扱いが終了したため	後継の商品が発売されたため	事故・ヒヤリハットが発生したため	利用者が入院・入所・死亡したため	その他	無回答
合計	17	5 29.4%	8 47.1%	-	-	-	-	-	8 47.1%	2 11.8%	-	-	-	-	-	1 5.9%
想定時期通りにモニタリングを実施	6	2 33.3%	2 33.3%	-	-	-	-	-	2 33.3%	1 16.7%	-	-	-	-	-	-
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	7	2 28.6%	3 42.9%	-	-	-	-	-	4 57.1%	-	-	-	-	-	-	1 14.3%
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	3	1 33.3%	2 66.7%	-	-	-	-	-	2 66.7%	-	-	-	-	-	-	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	1	-	1 100.0%	-	-	-	-	-	-	1 100.0%	-	-	-	-	-	-

※図表 146 で「種目・商品の追加を検討」または「種目・商品の変更を検討」、「貸与終了を検討」と回答した場合のみ回答対象。

4) 貸与開始からモニタリング実施までの事故、ヒヤリ・ハットの発生状況

貸与開始からモニタリング実施までの事故、ヒヤリ・ハットの発生状況については、「モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施」した場合で1件、および「モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施」した場合で2件の計3件（1.8%）が「有り」と回答したが、全体の9割以上は「無し」であった。

図表 149 貸与開始からモニタリング実施までの事故、ヒヤリ・ハットの発生状況

	件数	有り	無し	無回答
合計	170	3	158	9
	100.0%	1.8%	92.9%	5.3%
想定時期通りにモニタリングを実施	101	-	93	8
	100.0%	-	92.1%	7.9%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	1	25	1
	100.0%	3.7%	92.6%	3.7%
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	-	10	-
	100.0%	-	100.0%	-
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	2	30	-
	100.0%	6.3%	93.8%	-

a. 把握方法／発生時期／発生した原因／発生時の対応

事故、ヒヤリ・ハットがあった3件について、その把握方法、発生時期、発生した原因、発生時の対応は図表 150 の通りであった。

図表 150 把握方法【複数回答】／発生時期【数値回答】／発生した原因【複数回答】／発生時の対応【複数回答】

	把握方法	発生時期	発生した原因	発生時の対応
想定時期通りにモニタリングを実施	利用者本人からの連絡	1か月後 (令和5年10月)	貸与品に不具合があった	用具の変更の提案
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施①	モニタリング時の福祉用具専門相談員による聞き取り	1か月後 (令和5年10月)	事前のリスク把握が不足していた	▶ 使用方法の再指導 ▶ 注意喚起
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施②	その他(本調査でのモニタリング訪問の打診のためのアポイント時に把握)	3か月後 (令和5年12月)	事前のリスク把握が不足していた	▶ 注意喚起 ▶ その他(状況確認と手すり追加の提案)

(6) 福祉用具専門相談員の基本情報

1) 福祉用具専門相談員としての経験年数

本調査に回答した福祉用具専門相談員の経験年数は、「10年以上15年未満」が27.7%と最も多く、次いで「5年以上10年未満」が25.2%、「5年未満」が22.3%であり、平均は10年であった。

図表 151 福祉用具専門相談員としての経験年数

	件数	5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上	無回答	平均	最小値	最大値
合計	206	46	52	57	35	16	-	10.0	0.0	27.0
	100.0%	22.3%	25.2%	27.7%	17.0%	7.8%	-			
想定時期通りにモニタリングを実施	101	24	29	20	18	10	-	10.0	0.0	27.0
	100.0%	23.8%	28.7%	19.8%	17.8%	9.9%	-			
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	7	5	11	4	-	-	9.0	1.0	17.0
	100.0%	25.9%	18.5%	40.7%	14.8%	-	-			
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	-	5	4	-	1	-	10.6	7.0	20.0
	100.0%	-	50.0%	40.0%	-	10.0%	-			
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	9	7	8	7	1	-	9.3	0.0	21.0
	100.0%	28.1%	21.9%	25.0%	21.9%	3.1%	-			
モニタリングを実施せず回収	36	6	6	14	6	4	-	11.3	1.0	23.0
	100.0%	16.7%	16.7%	38.9%	16.7%	11.1%	-			

2) 福祉用具専門相談員以外の保有資格

本調査に回答した福祉用具専門相談員の、福祉用具専門相談員以外の保有資格については、「特になし」が55.3%と最も多く、次いで「ヘルパー1級・2級、介護職員初任者研修」が14.6%であった。

「その他」の主な回答例は図表 153 の通り。

図表 152 福祉用具専門相談員以外の保有資格【複数回答】

	件数	介護福祉士	社会福祉士	義肢装具士	作業療法士	理学療法士	介護支援専門員	介ヘル職員初任者・研修	その他	特になし	無回答
合計	206	12	11	1	1	1	11	30	12	114	32
		5.8%	5.3%	0.5%	0.5%	0.5%	5.3%	14.6%	5.8%	55.3%	15.5%
想定時期通りにモニタリングを実施	101	5	4	1	-	-	6	13	4	64	12
		5.0%	4.0%	1.0%	-	-	5.9%	12.9%	4.0%	63.4%	11.9%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	3	1	-	1	1	2	5	3	13	3
		11.1%	3.7%	-	3.7%	3.7%	7.4%	18.5%	11.1%	48.1%	11.1%
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	1	-	-	-	-	1	-	-	5	3
		10.0%	-	-	-	-	10.0%	-	-	50.0%	30.0%
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	1	4	-	-	-	1	5	5	12	7
		3.1%	12.5%	-	-	-	3.1%	15.6%	15.6%	37.5%	21.9%
モニタリングを実施せず回収	36	2	2	-	-	-	1	7	-	20	7
		5.6%	5.6%	-	-	-	2.8%	19.4%	-	55.6%	19.4%

図表 153 福祉用具専門相談員以外の保有資格「その他」の主な回答例

▶ 社会福祉主事	▶ 福祉住環境コーディネーター2級
▶ 介護職員基礎研修	▶ 福祉用具プランナー
▶ 認知症対応型サービス事業管理者研修	▶ 可搬型階段昇降機安全指導員
▶ 高度管理医療機器等営業所管理者	▶ 准サービス介助士

3) 履修済みの研修や取得している民間資格

本調査に回答した福祉用具専門相談員の履修済みの研修や取得している民間資格については、「福祉住環境コーディネーター(東京商工会議所)3級 2級 1級」が68.0%と最も多く、次いで「福祉用具プランナー(テクノエイド協会)」が25.7%、「福祉用具選定士(日本福祉用具供給協会)」が18.0%であった。

「その他」の主な回答例は図表 155 の通り。

図表 154 履修済みの研修や取得している民間資格【複数回答】

	件数	(福祉用具選定士 日本福祉用具供給協会)	(全国福祉用具専門相談員更新研修 協会)	3級(福祉住環境 コーディネーター 東京商工会議所) 2級 1級	(福祉用具プランナー テクノエイド協会)	その他	特 に な い	無 回 答
合計	206	37 18.0%	32 15.5%	140 68.0%	53 25.7%	12 5.8%	35 17.0%	6 2.9%
想定時期通りにモニタリングを実施	101	14 13.9%	12 11.9%	66 65.3%	27 26.7%	7 6.9%	16 15.8%	4 4.0%
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	5 18.5%	2 7.4%	17 63.0%	8 29.6%	—	6 22.2%	1 3.7%
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリングを実施	10	4 40.0%	6 60.0%	9 90.0%	2 20.0%	2 20.0%	—	—
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	7 21.9%	1 3.1%	25 78.1%	6 18.8%	1 3.1%	7 21.9%	—
モニタリングを実施せず回収	36	7 19.4%	11 30.6%	23 63.9%	10 27.8%	2 5.6%	6 16.7%	1 2.8%

図表 155 履修済みの研修や取得している民間資格「その他」の主な回答例

▶ リフトインストラクター	▶ おむつフィッター2級
▶ 可搬型階段昇降機安全指導員	▶ 石綿作業主任者
▶ 車いす安全整備士	

4) 担当利用者数(令和5年8月分)

本調査に回答した福祉用具専門相談員の担当利用者数は、「200人以上 250人未満」が21.4%と最も多く、次いで「150人以上200人未満」が19.9%、「250人以上 300人未満」が13.6%であり、平均は195.7人であった。

図表 156 担当利用者数

	件数	50人未満	50人以上100人未満	100人以上150人未満	150人以上200人未満	200人以上250人未満	250人以上300人未満	300人以上	無回答	平均	標準偏差
合計	206	15	19	27	41	44	28	26	6	195.7	110.7
	100.0%	7.3%	9.2%	13.1%	19.9%	21.4%	13.6%	12.6%	2.9%		
想定時期通りにモニタリングを実施	101	8	8	13	25	20	11	12	4	184.4	88.4
	100.0%	7.9%	7.9%	12.9%	24.8%	19.8%	10.9%	11.9%	4.0%		
モニタリング想定時期が3か月以内で、想定より早くモニタリングを実施	27	1	4	2	8	6	4	1	1	179.7	82.8
	100.0%	3.7%	14.8%	7.4%	29.6%	22.2%	14.8%	3.7%	3.7%		
モニタリング想定時期が4か月以上で、想定より早くモニタリング実施	10	1	-	1	2	2	1	3	-	250.5	142.2
	100.0%	10.0%	-	10.0%	20.0%	20.0%	10.0%	30.0%	-		
モニタリング想定時期が4か月以上で、本調査への協力のために3か月後にモニタリングを実施	32	2	4	5	1	7	5	8	-	238.8	175.4
	100.0%	6.3%	12.5%	15.6%	3.1%	21.9%	15.6%	25.0%	-		
モニタリングを実施せず回収	36	3	3	6	5	9	7	2	1	183.5	78.1
	100.0%	8.3%	8.3%	16.7%	13.9%	25.0%	19.4%	5.6%	2.8%		

2.2 介護予防福祉用具貸与の検証に向けた調査の実施(ヒアリング)

2.2.1 調査の目的

アンケートで把握した情報を補完することを目的としたヒアリングを実施した。

2.2.2 調査対象の抽出条件

アンケートの目的である以下を踏まえ、調査対象の抽出条件を以下の通り整理した。

- ① 貸与期間設定がなぜ必要か、その重要性や根拠を分析する
- ② 適切な期間でモニタリングがされていることによって貸与される福祉用具の過不足がないことを明らかにする
- ③ 適切な期間でモニタリングがされていることによって利用者が不適切な使用をしていないことを確認する

図表 157 調査対象の抽出条件と検証内容

調査の目的	抽出条件	検証内容
①-1 貸与期間設定の根拠を明らかにする	アンケートにて B 票(想定時期通りにモニタリングを実施)または C 票(想定時期よりも早くモニタリングを実施)に回答したもののうち、「目標を達成するまでの想定期間の根拠」として他職種から受けた助言や情報共有の内容について記載(自由記述)がある事例	貸与開始時点で「誰から」「何を」「どのように」情報収集し、収集した情報の中から具体的にどのような内容を踏まえて貸与期間を設定したのかを明らかにする。
①-2 貸与期間設定の根拠を明らかにする	アンケートにて D 票(モニタリングを実施せず回収)と回答したもののうち、「回収となった理由」が利用者の身体状況の変化(利用者の身体状況が悪化した、など)に該当する事例。	貸与開始時点で「誰から」「何を」「どのように」情報収集し、収集した情報の中から具体的にどのような内容を踏まえて貸与期間を設定したのか、状態像の悪化(または改善)による回収は当初から想定した結果だったのかを明らかにする。
②-1 貸与される福祉用具の過不足がないか	アンケートにて B 票(想定時期通りにモニタリングを実施)と回答したもののうち、モニタリング時に確認した利用者の状況が「想定通りであった」かつ、モニタリングの結果、福祉用具の種目・商品の追加・変更を検討した事例。	貸与開始時点で「誰から」「何を」「どのように」情報収集し、モニタリングの時期を設定したのか、種目・商品の追加または変更(②-2の場合は貸与継続)も当初から想定した結果だったのかを明らかにする。
②-2 貸与される福祉用具の過不足がないか	アンケートにて B 票(想定時期通りにモニタリングを実施)と回答したもののうち、モニタリング時に確認した利用者の状況が「想定通りであった」かつ、モニタリングの結果、福祉用具の貸与継続と判断した事例。	

目的	抽出条件	検証内容
③ 利用者が不適切な使用をしていないか	回収したアンケートのうち、事故、ヒヤリ・ハットの発生状況が「あり」と回答したもののうち、発生した原因として「事前のリスク把握が不足していた」と回答した事例。 ※本調査で回収したアンケートでは、利用者が不適切な使用をしたために発生した事故、ヒヤリ・ハットの発生はなかった。	福祉用具専門相談員として、具体的にどのような点で「事前のリスク把握が不足していた」と考えたのか、どう対応すべきだったのかを明らかにする。 ※上記①②の調査対象からも、事故、ヒヤリ・ハットが発生しないように配慮した取組等の詳細についてヒアリングを実施

2.2.3 調査対象

上記の抽出条件を踏まえ、以下の6事例に対し、ヒアリングを実施した。

図表 158 調査対象

No.	調査の目的	回答者(福祉用具専門相談員の基本情報※)
1	①-1	福祉用具専門相談員としての経験年数:15年 保有資格:福祉用具選定士(日本福祉用具供給協会)、福祉住環境コーディネーター(東京商工会議所)3級 2級 1級、福祉用具プランナー(テクノエイド協会)
2	①-1 ②-1	福祉用具専門相談員としての経験年数:27年 保有資格:福祉用具専門相談員更新研修(全国福祉用具専門相談員協会)、福祉住環境コーディネーター(東京商工会議所)3級 2級 1級
3	①-2	福祉用具専門相談員としての経験年数:9年 保有資格:福祉用具専門相談員更新研修(全国福祉用具専門相談員協会)、福祉用具プランナー(テクノエイド協会)
4	①-1 ②-2	福祉用具専門相談員としての経験年数:10年 保有資格:介護福祉士
5	③	福祉用具専門相談員としての経験年数:15年 民間資格:福祉住環境コーディネーター(東京商工会議所)2級
6	③	福祉用具専門相談員としての経験年数:16年 保有資格:介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員、ヘルパー1級・2級・介護職員初任者研修 民間資格:福祉用具選定士、福祉住環境コーディネーター(東京商工会議所)3級・2級・1級

※福祉用具専門相談員の基本情報は調査票に記載の情報を転記

2.2.4 調査時期

令和6年2月

2.2.5 調査方法

オンラインによる実施

2.2.6 調査項目

主な調査項目は以下の通り。

図表 159 主な調査項目(ヒアリング調査)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 利用者の基本情報2. 貸与開始時の状況について<ol style="list-style-type: none">(1) 貸与開始時点での情報収集の状況(情報収集を行った職種、内容、方法等)(2) 目標を達成するまでの想定時期の根拠(3) モニタリング想定時期の根拠3. モニタリング実施時または回収時の状況について<ol style="list-style-type: none">(1) モニタリング実施時または回収時の利用者の状況(貸与開始時の想定との乖離の有無、内容・理由)(2) モニタリング結果を踏まえた判断およびその理由 ※モニタリングを実施した場合4. 事故、ヒヤリ・ハットについて<ol style="list-style-type: none">(1) 事故、ヒヤリ・ハットの発生状況(発生した原因、発生時の対応等)(2) 事故、ヒヤリ・ハットが発生しないよう配慮した取組等 ※発生していない場合5. その他 |
|---|

2.2.7 調査結果(個別事例)

No.1	調査の目的 ①-1 貸与期間設定の根拠を明らかにする
------	----------------------------

a 実態調査で把握した利用者の基本情報

利用者の基本情報	貸与開始時	モニタリング実施時	変化
(1) 性別	女性	-	-
(2) 年齢	88歳	-	-
(3) 要介護度	要支援2	要支援2	維持
(4) 介護が必要になった主な原因	心疾患(心臓病) 骨折・転倒	心疾患(心臓病) 骨折・転倒	変化なし
(5) ADL			
① 寝返り	何かにつかまればできる	何かにつかまればできる	維持
② 起き上がり	何かにつかまればできる	何かにつかまればできる	維持
③ 立ち上がり	何かにつかまればできる	何かにつかまればできる	維持
④ 移乗	自立(介助なし)	自立(介助なし)	維持
⑤ 座位	できる	できる	維持
⑥ 屋内歩行	何かにつかまればできる	何かにつかまればできる	維持
⑦ 屋外歩行	何かにつかまればできる	何かにつかまればできる	維持
⑧ 移動	見守り等	見守り等	維持
⑨ 排泄	自立(介助なし)	自立(介助なし)	維持
⑩ 入浴	自立(介助なし)	自立(介助なし)	維持
⑪ 食事	自立(介助なし)	自立(介助なし)	維持
⑫ 更衣	見守り等	見守り等	維持
⑬ 意思の伝達	意思を他者に伝達できる	意思を他者に伝達できる	維持
⑭ 視覚	見える	見える	維持
⑮ 聴覚	聞こえる	聞こえる	維持
(6) 生活範囲			
① 自宅の寝室以外の部屋に行く頻度	毎日	毎日	維持
② 屋外に出る頻度(玄関外、ベランダ、中庭、(マンションの)廊下、車庫、庭または敷地内の通路など)	毎日	毎日	維持
③ 自宅の庭またはマンションの建物以外の近隣の場所への外出頻度	週1~3回	週1~3回	維持
④ 町内の近隣よりも離れた場所への外出頻度	週1~3回	週1~3回	維持
⑤ 町外への外出頻度	週1~3回	週1~3回	維持
(7) 障害高齢者の日常生活自立度	A1	A1	維持
(8) 認知症高齢者の日常生活自立度	自立	自立	維持
(9) 居住環境等			
① 世帯構成	独居	独居	変化なし
② 介護環境	本人を支援する家族が身近にいない	本人を支援する家族が身近にいない	変化なし
(10) 他介護予防サービスの利用状況	介護予防通所リハビリテーション 介護予防短期入所生活介護	介護予防通所リハビリテーション 介護予防短期入所生活介護	変化なし
(11) 特定介護予防福祉用具販売の利用状況	特になし	特になし	変化なし
(12) 介護予防住宅改修の実施状況	特になし	特になし	変化なし

介護予防サービス・支援計画書 (介護予防ケアプラン)	目標:自宅での生活を安全に継続出来るように生活環境を整える 支援計画期間:6か月
目標を達成するまでの想定期間	手すり(玄関上がりかまち×1)6か月、歩行器2か月
モニタリング想定時期	3か月後
事業所で設定している定期モニタリング実施頻度	貸与開始から4~6ヶ月以内

b 貸与開始時点での情報収集の状況

【情報収集を行った職種等】

- 介護支援専門員から得た利用者基本情報(フェイスシート)
- 福祉用具専門相談員による目視・動作確認
- 利用者・家族からの聞き取り
- 介護支援専門員からの聞き取り

【情報収集の方法(ヒアリング内容)】

- 本人は入院中であったため、介護支援専門員から本人の状況について聞き取りを行った。退院前カンファレンスやサービス担当者会議等は開かれなかった。
- 本人の退院日に自宅訪問した。事前情報をもとに用具を選定し、利用者実際に使ってみていただき、貸与する商品を決めた。

【本事例におけるポイント(ヒアリング内容)】

本人に会えたのは退院日に納品に行った当日だった。事前情報を踏まえ福祉用具を選定した。納品時は利用者本人に、実際に使用してもらった上で、適合状況を踏まえて選定できた。

c 目標を達成するまでの想定時期の根拠

【根拠】

- 福祉用具専門相談員としての見立て
- 利用者・家族による意向
- 介護支援専門員からの助言・情報共有
- 医師からの助言・情報共有
- 介護予防ケアプランの支援計画期間に準拠

【確認した事項】

- 利用者・家族の意欲・意向
- 身体状況・ADL
- 疾病・疾患
- 住環境
- 転倒・転落の経験
- 活動・参加の状況

【医師から受けた助言や情報共有の内容】

- 右肩骨折による入院。肩関節可動域制限もあり通常へ戻るまで半年を要する。

【本事例におけるポイント(ヒアリング内容)】

医師からの助言・情報共有について、フェイスシートの段階で、介護支援専門員からの情報共有により医師のコメントを確認した。手すりが必要なところに工事できない住宅であり、下肢筋力低下により転倒リスクがあることから手すりの貸与が必要と判断した。回復後、回収することも想定されたが、医師の見立てから通常の生活に戻るまで6か月を要することに加えて、独居高齢者であったため、貸与から6か月後も使い続ける可能性を考慮した。また、歩行の機会を増やし、下肢筋力を回復するために歩行器が必要と判断した。主として散歩で使用する想定で貸与したが、この地域は雪国であり、冬は外出できないこともあるため、まずは貸与期間を2か月とした。

d モニタリングの実施

【時期(ヒアリング内容)】

- 歩行器の解約(回収)のため、予定より早く訪問することとなった(想定よりも早く降雪があった)。介護支援専門員からも「寒くなってきたため外出の機会がなくなってきた」との情報共有があった。
- その後、骨折による関節可動域制限があり、かつ独居を続けることに対する不安もあるため、施設入所の方針となった。介護支援専門員とも連携しており、状況に応じて今後の方針も検討している。
- もし今回の利用者に歩行器を貸与する時期が春や夏頃であったならば、半年後にモニタリングを実施したと思う。

【事故、ヒヤリ・ハットの確認(ヒアリング内容)】

- モニタリング時の確認では「無し」

→年相応の認知機能低下があり、歩行器の操作方法など不安なところがあったため、実際に歩行器を使用してもらい、本人に注意・助言を行った。特に、玄関で歩行器の置き場がなく、本人が後方に下がる形で歩行器を玄関前に出していた。転倒リスクの高い動作を行っていたため、別の方法を提案し、注意を促した。

→右肩の骨折もあり、可動域制限があった。手すりを使う際には左手を使っていたが、手すりを片側にしか付けられず、手すりの設置場所として左手が使いにくかったため、手すりを使った上がりかまちの昇降動作についても助言・指導を実施した。

【本事例におけるポイント(ヒアリング内容)】

軽度者だが、年相応の認知機能の低下もみられたため、実際に歩行器の操作方法を確認の上、転倒リスクの少ない動作について丁寧に指導を行った。

No.2	調査の目的 ①-1 貸与期間設定の根拠を明らかにする ②-1 貸与される福祉用具の過不足がないか
------	---

a 実態調査で把握した利用者の基本情報

利用者の基本情報	貸与開始時	モニタリング実施時	変化
(1) 性別	女性	-	-
(2) 年齢	77歳	-	-
(3) 要介護度	要支援2	要支援2	維持
(4) 介護が必要になった主な原因	パーキンソン病	パーキンソン病	変化なし
(5) ADL			
① 寝返り	何かにつかまればできる	何かにつかまればできる	維持
② 起き上がり	何かにつかまればできる	何かにつかまればできる	維持
③ 立ち上がり	何かにつかまればできる	何かにつかまればできる	維持
④ 移乗	自立(介助なし)	自立(介助なし)	維持
⑤ 座位	できる	できる	維持
⑥ 屋内歩行	何かにつかまればできる	何かにつかまればできる	維持
⑦ 屋外歩行	何かにつかまればできる	何かにつかまればできる	維持
⑧ 移動	自立(介助なし)	自立(介助なし)	維持
⑨ 排泄	自立(介助なし)	自立(介助なし)	維持
⑩ 入浴	自立(介助なし)	自立(介助なし)	維持
⑪ 食事	自立(介助なし)	自立(介助なし)	維持
⑫ 更衣	自立(介助なし)	自立(介助なし)	維持
⑬ 意思の伝達	意思を他者に伝達できる	意思を他者に伝達できる	維持
⑭ 視覚	見える	見える	維持
⑮ 聴覚	聞こえる	聞こえる	維持
(6) 生活範囲			
① 自宅の寝室以外の部屋に行く頻度	毎日	毎日	維持
② 屋外に出る頻度(玄関外、ベランダ、中庭、(マンションの)廊下、車庫、庭または敷地内の通路など)	毎日	毎日	維持
③ 自宅の庭またはマンションの建物以外の近隣の場所への外出頻度	週1~3回	週4~6回	改善
④ 町内の近隣よりも離れた場所への外出頻度	週1~3回	週1~3回	維持
⑤ 町外への外出頻度	週1~3回	週1~3回	維持
(7) 障害高齢者の日常生活自立度	J1	J1	維持
(8) 認知症高齢者の日常生活自立度	自立	自立	維持
(9) 居住環境等			
① 世帯構成	夫婦のみ世帯	夫婦のみ世帯	変化なし
② 介護環境	本人を支援する家族が身近にいる(同居を含む)	本人を支援する家族が身近にいる(同居を含む)	変化なし
(10) 他介護予防サービスの利用状況	特になし	特になし	変化なし
(11) 特定介護予防福祉用具販売の利用状況	特になし	特になし	変化なし
(12) 介護予防住宅改修の実施状況	手すりの取付け	手すりの取付け	変化なし

※貸与開始時からモニタリング時に変化があった項目をグレーアウトしている。

介護予防サービス・支援計画書 (介護予防ケアプラン)	目標:福祉用具を活用し、転倒しないようにする。
	支援計画期間:12 か月
目標を達成するまでの想定期間	歩行器(歩行車タイプ、2つ以上の車輪・キャスター付き)12 か月 歩行補助つえ(多点杖)12 か月
モニタリング想定時期	3か月後
事業所で設定している定期モニタリング実施頻度	貸与開始から 4~6 ヶ月以内

a 貸与開始時点での情報収集の状況

【情報収集を行った職種等】

- 介護支援専門員から得た利用者基本情報(フェイスシート)
- 福祉用具専門相談員による目視・動作確認
- 利用者・家族からの聞き取り
- 介護支援専門員からの聞き取り

【情報収集の方法(ヒアリング内容)】

- 地域包括支援センターから、歩行器を希望している利用者がいるという紹介があり、介護支援専門員と一緒に利用者宅に訪問した。
- 介護支援専門員から病名(パーキンソン病)を事前に聞き、歩行器を複数持参して利用者宅で提案した。寝室から台所に行くにあたり、歩行器だけでなく歩行補助つえも使ってみたいという利用者からの要望で歩行補助つえ(多点杖)も提案した。

【本事例におけるポイント(ヒアリング内容)】

訪問前に介護支援専門員からの情報で病名を聞き取り、利用者の状態を想像した上で、複数の歩行器を持参し、利用者を選択いただいた。

b 目標を達成するまでの想定時期の根拠

【根拠】

- 福祉用具専門相談員としての見立て
- 利用者・家族による意向
- 介護支援専門員からの助言・情報共有

【確認した事項】

- 利用者・家族の意向・意欲
- 身体状況・ADL
- 疾病・疾患
- 介護環境

【他職種(介護支援専門員)から受けた助言や情報共有の内容】

- パーキンソン病により転倒の回数が増えている。

【本事例におけるポイント(ヒアリング内容)】

パーキンソン病であるため、徐々に進行していく疾患であるため完治は難しいと想像していた。よって、進行状況を踏まえてだが、今利用している福祉用具は継続的に利用してもらう想定であり、今の機種ではケアプランの期間同様、12 か月で最初の目標は達成すると考えた。今後、利用者の状態に合わせて機種等を変更していく予定である。

c モニタリングの実施

【時期(ヒアリング内容)】

- 初めて歩行器を使うということで操作に慣れていないこと、キャスター付き歩行器を選択されていたため、歩行状況を確認したいという福祉用具専門相談員の見立てにより、3か月後にモニタリング訪問したいことを利用者に提案した。
- また、パーキンソン病であり、他の利用者よりも転倒の可能性が高いため、早めの時期に訪問することとした。
→貸与開始後、2か月後にリハビリシューズが欲しいと利用者から連絡があり、その際にも簡易的に歩行器等の点検も実施した。

【モニタリング結果を踏まえた判断およびその理由(ヒアリング内容)】

- 種目・商品の変更を検討(室内で利用している歩行器の機種を変更)
→台所で冷蔵庫前の通路で70cm程度の幅の場所があるが、当初利用していた歩行器の幅が63cmであり、そこを通る際に難儀しているため、他の商品はないかと利用者から相談され、幅の狭い機種に交換した。

【本事例におけるポイント(ヒアリング内容)】

当初は通らない想定だった。提案時には幅の狭いものも持参したが、幅の広いものの方が使いやすいということだった。しかし、歩行器を使うことで転倒不安も減り、活動意欲の高まりにより活動範囲が広がった。よって、当初想定していな場所でも使うようになった。

【事故、ヒヤリ・ハットの確認(ヒアリング内容)】

- モニタリング時の確認では「無し」
→歩行器の場合は段差の上がり方やヒヤリ・ハットなどを説明している。

【本事例におけるポイント(ヒアリング内容)】

歩行器の持ち方を誤ると転倒しやすいため、納品時だけでなくモニタリング時にも説明している。その他、ブレーキのかけ方なども含め基本的なことも改めて毎回説明している。

No.3	調査の目的 ①-2 貸与期間設定の根拠を明らかにする
------	----------------------------

a 実態調査で把握した利用者の基本情報

※モニタリングを実施せずに3か月以内に回収となったため、モニタリング時の基本情報なし

利用者の基本情報	貸与開始時
(1) 性別	男性
(2) 年齢	82歳
(3) 要介護度	要支援2
(4) 介護が必要になった主な原因	パーキンソン病 加齢による(フレイル等)
(5) ADL	
① 寝返り	何かにつかまればできる
② 起き上がり	何かにつかまればできる
③ 立ち上がり	何かにつかまればできる
④ 移乗	自立(介助なし)
⑤ 座位	できる
⑥ 屋内歩行	つかまらないでできる
⑦ 屋外歩行	何かにつかまればできる
⑧ 移動	自立(介助なし)
⑨ 排泄	自立(介助なし)
⑩ 入浴	見守り等
⑪ 食事	自立(介助なし)
⑫ 更衣	自立(介助なし)
⑬ 意思の伝達	ときどき伝達できる
⑭ 視覚	見える
⑮ 聴覚	聞こえる
(6) 生活範囲	
① 自宅の寝室以外の部屋に行く頻度	毎日
② 屋外に出る頻度(玄関外、バルコニー、中庭、(マンションの)廊下、車庫、庭または敷地内の通路など)	週1~3回
③ 自宅の庭またはマンションの建物以外の近隣の場所への外出頻度	週1~3回
④ 町内の近隣よりも離れた場所への外出頻度	週1~3回
⑤ 町外への外出頻度	週1回未満
(7) 障害高齢者の日常生活自立度	A1
(8) 認知症高齢者の日常生活自立度	IIa
(9) 居住環境等	
① 世帯構成	夫婦のみ世帯
② 介護環境	本人を支援する家族が身近にいる(同居を含む)
(10) 他介護予防サービスの利用状況	介護予防通所リハビリテーション
(11) 特定介護予防福祉用具販売の利用状況	入浴補助用具
(12) 介護予防住宅改修の実施状況	特になし

介護予防サービス・支援計画書 (介護予防ケアプラン)	目標:転倒しないでこれからも安心して自宅での生活を続けていきたい。
	支援計画期間:6か月
目標を達成するまでの想定期間	手すり(玄関上がりかまち×1)12 か月
モニタリング想定時期	3か月後

事業所で設定している定期モニタリング実施頻度	貸与開始から4～6ヶ月以内
------------------------	---------------

b 貸与開始時点での情報収集の状況

【情報収集を行った職種等】

- 介護支援専門員から得た利用者基本情報(フェイスシート)
- 福祉用具専門相談員による目視・動作確認
- 利用者・家族からの聞き取り
- リハビリテーション専門職からの聞き取り

【情報収集の方法(ヒアリング内容)】

- 介護支援専門員から、在宅生活において(妻と2人)、室内で転倒がよくあるという相談を受けた。
- 家屋調査を実施し、動線に置き型の手すり、通所リハビリテーションや通院のための外出があるため、玄関に手すりをおくこととした。(調査票に記載はないが)屋外のエントランス(玄関から扉まで)に置き型の手すりを3つほど設置した。居室内は手すりがなくとも、伝え歩きでなんとか歩行できており、今回は利用していない。

【本事例におけるポイント(ヒアリング内容)】

通所リハビリテーション(週1回)も今回の福祉用具貸与と同時に利用が開始されることになっていた。よって、通所リハビリテーションの理学療法士、介護支援専門員、福祉用具専門相談員、本人・奥様と一緒にサービス担当者会議が開催され、そこで多職種から情報収集を実施した。

c 目標を達成するまでの想定時期の根拠

【根拠】

- 福祉用具専門相談員としての見立て

【確認した事項】

- 利用者・家族の意向・意欲

d 福祉用具回収時の状況

- 利用者が医療機関に入院したため

【時期(ヒアリング内容)】

- モニタリング訪問前に外出先で転倒し、大腿骨骨折による入院となった。通院時に妻と一緒に外出していたが、その時に転倒したのではないか(詳細は不明)。
- 既にご自身の1本杖をお持ちだったため歩行用補助つえの提案はなし。また、歩行器も提案したが利用者が必要としなかったため、外出時に利用する福祉用具の貸与には至らず、玄関周りの手すり設置に留まった。

No.4	調査の目的 ①-1 貸与期間設定の根拠を明らかにする ②-1 貸与される福祉用具の過不足がないか
------	---

a 実態調査で把握した利用者の基本情報

利用者の基本情報	貸与開始時	モニタリング実施時	変化
(1) 性別	男性	-	-
(2) 年齢	82歳	-	-
(3) 要介護度	要支援1	要支援1	維持
(4) 介護が必要になった主な原因	脳血管疾患(脳卒中) 糖尿病	脳血管疾患(脳卒中) 糖尿病	変化なし
(5) ADL			
① 寝返り	つかまらないでできる	つかまらないでできる	維持
② 起き上がり	何かにつかまればできる	何かにつかまればできる	維持
③ 立ち上がり	何かにつかまればできる	何かにつかまればできる	維持
④ 移乗	自立(介助なし)	自立(介助なし)	維持
⑤ 座位	できる	できる	維持
⑥ 屋内歩行	つかまらないでできる	つかまらないでできる	維持
⑦ 屋外歩行	つかまらないでできる	つかまらないでできる	維持
⑧ 移動	見守り等	見守り等	維持
⑨ 排泄	自立(介助なし)	自立(介助なし)	維持
⑩ 入浴	見守り等	見守り等	維持
⑪ 食事	自立(介助なし)	自立(介助なし)	維持
⑫ 更衣	見守り等	見守り等	維持
⑬ 意思の伝達	意思を他者に伝達できる	意思を他者に伝達できる	維持
⑭ 視覚	見える	見える	維持
⑮ 聴覚	聞こえる	聞こえる	維持
(6) 生活範囲			
① 自宅の寝室以外の部屋に行く頻度	毎日	毎日	維持
② 屋外に出る頻度(玄関外、ベランダ、中庭、(マンションの)廊下、車庫、庭または敷地内の通路など)	週1~3回	週1~3回	維持
③ 自宅の庭またはマンションの建物以外の近隣の場所への外出頻度	週1~3回	週1~3回	維持
④ 町内の近隣よりも離れた場所への外出頻度	週1~3回	週1~3回	維持
⑤ 町外への外出頻度	週1~3回	週1~3回	維持
(7) 障害高齢者の日常生活自立度	A1	A1	維持
(8) 認知症高齢者の日常生活自立度	I	I	維持
(9) 居住環境等			
① 世帯構成	その他	その他	変化なし
② 介護環境	本人を支援する家族が身近にいる(同居を含む)	本人を支援する家族が身近にいる(同居を含む)	変化なし
(10) 他介護予防サービスの利用状況	特になし	特になし	変化なし
(11) 特定介護予防福祉用具販売の利用状況	入浴補助用具	入浴補助用具	変化なし
(12) 介護予防住宅改修の実施状況	手すりの取付け	手すりの取付け	変化なし

※(9)①世帯構成「その他」は、利用者の息子・孫との同居である

介護予防サービス・支援計画書 (介護予防ケアプラン)	目標:環境を整え、退院後の自宅の生活に慣れることができる 支援計画期間:6か月
目標を達成するまでの想定期間	手すり(玄関上がりかまち×1、寝室・居室・廊下×1、トイレ×1)6か月
モニタリング想定時期	3か月後
事業所で設定している定期モニタリング実施頻度	貸与開始から4～6ヶ月以内

b 貸与開始時点での情報収集の状況

【情報収集を行った職種等】

- 介護支援専門員から得た利用者基本情報(フェイスシート)
- 福祉用具専門相談員による目視・動作確認
- 利用者・家族からの聞き取り
- 介護支援専門員からの聞き取り
- リハビリテーション専門職からの聞き取り

【情報収集の方法(ヒアリング内容)】

- 福祉用具専門相談員として退院前カンファレンスに参加し、理学療法士から今の利用者の状況等、介護支援専門員と一緒に関係者間で確認した。その際、家族が自宅内の写真を持参していたため、それを基に、理学療法士、介護支援専門員と一緒に住環境整備の検討・提案を実施することができた。
- 福祉用具貸与の手すりの搬入は、利用者が退院する前に実施したため、その際に自宅内も確認させてもらい、福祉用具等の不足や設置位置等の調整を行った。

【本事例におけるポイント(ヒアリング内容)】

今回の利用者については入院中に声が掛かり、退院をきっかけに利用開始となったものである。リハビリテーション病院だったため、入院中に関わっていたリハビリテーション専門職(理学療法士)から情報を得ることができた。

c 目標を達成するまでの想定時期の根拠

【根拠】

- 福祉用具専門相談員としての見立て
- 介護支援専門員からの助言・情報共有
- リハビリテーション専門職からの助言・情報共有
- 介護予防ケアプランの支援計画期間に準拠

【確認した事項】

- 身体状況・ADL
- 介護環境

【他職種(理学療法士)から受けた助言や情報共有の内容】

- 病院でのリハビリテーションを懸命に行う利用者であるため、住環境を整えることで自宅でも積極的に自力で行える。

【本事例におけるポイント(ヒアリング内容)】

介護支援専門員、理学療法士との会話の中で今後の通所リハビリテーションの利用を含め、退院後半年を目安に利用者の状態が変わってくるのではないかとということになり、その後の支援内容の見直しの機会を設けるとよいのではないかとということとなり、目標を達成するまでの期間を6か月と設定した。

d モニタリングの実施

【時期(ヒアリング内容)】

- 搬入後1週間から10日以内に電話で利用状況等を確認
- その後、介護支援専門員と情報共有しつつ、3か月後を目途にモニタリングのために訪問
 - (リハビリテーション専門職からの情報)3か月後にはADLの向上も見込まれる
 - (福祉用具専門相談員の見立て)下肢筋力向上から立ち座り動作や段差昇降能力の向上が見込まれる

【モニタリング結果を踏まえた判断およびその理由(ヒアリング内容)】

- 貸与継続(貸与開始当初から想定していた)
 - 目標達成時期(6か月後)には、トイレの手すりは必要なくなる(返却)と考えている。一方、貸与開始時から、6か月以上継続して使用するようなものについては住宅改修として以下を提案し、実施した。
 - ・ 玄関外階段の手すり
 - ・ 自宅内で2階に上がるための階段部分の手すり
 - ・ トイレ内の立ち座り時に利用する手すり ※返却予定の手すりとは別の位置に設置

【本事例におけるポイント(ヒアリング内容)】

事前に病院の理学療法士と会話できたことが特に有益だった。理学療法士から、リハビリを頑張る方だと聞いており、自らリハビリを頑張れる方であるため、入院中もどんどん動きが良くなっているとのことだった。よって、退院後に通所リハビリテーションにも通うことも含め、ADLが改善していこうと想像していた。

【事故、ヒヤリ・ハットの確認(ヒアリング内容)】

- モニタリング時の確認では「無し」
 - 想定されるヒヤリ・ハットは家族を含めて説明している。
 - 今回は手すりが主な福祉用具であったため、手すりのぐらつきがないようにすることや、具体的な手すりの握り方など、使い方についても詳細に説明した。変な体勢で手すりに体重をかけすぎないで欲しいなど、導入時に強く伝えるようにしている。

【本事例におけるポイント(ヒアリング内容)】

会社としてヒヤリ・ハットに関する説明資料が準備されている。タブレット端末にも説明用の動画もあり、モニタリング訪問時には、それらを見せながら「こんなことはなかったか」という聞き取りを実施している。

No.5	調査の目的 ③利用者が不適切な使用をしていないか
------	--------------------------

a 実態調査で把握した利用者の基本情報

利用者の基本情報	貸与開始時	モニタリング実施時	変化
(1) 性別	女性	-	-
(2) 年齢	77歳	-	-
(3) 要介護度	要支援2	要支援2	維持
(4) 介護が必要になった主な原因	その他 (ネフローゼ症候群(骨粗鬆症))	その他 (ネフローゼ症候群(骨粗鬆症))	変化なし
(5) ADL			
① 寝返り	つかまらないでできる	つかまらないでできる	維持
② 起き上がり	つかまらないでできる	つかまらないでできる	維持
③ 立ち上がり	何かにつかまればできる	何かにつかまればできる	維持
④ 移乗	自立(介助なし)	自立(介助なし)	維持
⑤ 座位	できる	できる	維持
⑥ 屋内歩行	何かにつかまればできる	何かにつかまればできる	維持
⑦ 屋外歩行	何かにつかまればできる	何かにつかまればできる	維持
⑧ 移動	自立(介助なし)	自立(介助なし)	維持
⑨ 排泄	自立(介助なし)	自立(介助なし)	維持
⑩ 入浴	自立(介助なし)	自立(介助なし)	維持
⑪ 食事	自立(介助なし)	自立(介助なし)	維持
⑫ 更衣	自立(介助なし)	自立(介助なし)	維持
⑬ 意思の伝達	意思を他者に伝達できる	意思を他者に伝達できる	維持
⑭ 視覚	見える	見える	維持
⑮ 聴覚	聞こえる	聞こえる	維持
(6) 生活範囲			
① 自宅の寝室以外の部屋に行く頻度	毎日	毎日	維持
② 屋外に出る頻度(玄関外、バルコニー、中庭、(マンションの)廊下、車庫、庭または敷地内の通路など)	毎日	毎日	維持
③ 自宅の庭またはマンションの建物以外の近隣の場所への外出頻度	週1回未満	週1回未満	維持
④ 町内の近隣よりも離れた場所への外出頻度	週1回未満	週1回未満	維持
⑤ 町外への外出頻度	週1回未満	週1回未満	維持
(7) 障害高齢者の日常生活自立度	A2	A2	維持
(8) 認知症高齢者の日常生活自立度	I	I	維持
(9) 居住環境等			
① 世帯構成	夫婦のみ世帯	夫婦のみ世帯	変化なし
② 介護環境	本人を支援する家族が身近にいる(同居を含む)	本人を支援する家族が身近にいる(同居を含む)	変化なし
(10) 他介護予防サービスの利用状況	特になし	特になし	変化なし
(11) 特定介護予防福祉用具販売の利用状況	特になし	特になし	変化なし
(12) 介護予防住宅改修の実施状況	手すりの取付け	手すりの取付け	変化なし

介護予防サービス・支援計画書 (介護予防ケアプラン)	目標:環境整備や歩行補助用具を利用することにより、転倒の不安なく活動することができるようになる。
	支援計画期間:6か月
目標を達成するまでの想定期間	手すり(玄関上がりかまち×1、屋外×2)6か月 歩行器(歩行車タイプ、2つ以上の車輪・キャスター付き)6か月 歩行補助つえ(多点杖)6か月
モニタリング想定時期	6か月後
事業所で設定している定期モニタリング実施頻度	貸与開始から4~6ヶ月以内

b 貸与開始時点での情報収集の状況

【情報収集を行った職種等】

- 福祉用具専門相談員による目視・動作確認
- 利用者・家族からの聞き取り
- 介護支援専門員からの聞き取り

【情報収集の方法(ヒアリング内容)】

- 地域包括支援センターの介護支援専門員から電話で依頼があった。迅速な対応が必要だったため、すぐに介護支援専門員、住宅改修の施工担当と三者で日程調整し、利用者宅へ訪問した。利用者に関する詳細な情報は訪問時にまとめて確認した。
- 利用者の状況は利用者・ご家族からの聞き取りで得た。介護支援専門員からは電話での情報収集に留まったため、聞き取れる範囲が限られた(本事例ではフェイスシートの受領はなかった)。
- 手すりの設置については、住宅改修でも貸与でも対応できるところは両方提案し、住宅改修でなければ実施できないところは住宅改修として提案を行った。

【本事例におけるポイント(ヒアリング内容)】

介護支援専門員から住宅改修、歩行器、歩行用補助つえの提案をして欲しいと依頼があり利用者宅を訪問し、必要な福祉用具等の提案を実施した。

住宅改修の手すりは、屋外の門扉の箇所に段差昇降用の手すり、トイレには立ち座り用のL字手すりを設置。浴室は浴槽内での立ち座り1つ、浴槽の跨ぎ用に1つ、浴室内の移動のために1つ、計3か所の手すりを設置。

c 目標を達成するまでの想定時期の根拠

【根拠】

- 福祉用具専門相談員としての見立て
- 利用者・家族による意向

【確認した事項】

- 利用者・家族による意向
- 身体状況・ADL
- 転倒・転落の経験

【本事例におけるポイント(ヒアリング内容)】

初回訪問時、利用者から自宅内での困りごとを聞き取り、住環境内の危険箇所や段差や不安に思っている箇所に対してはアプローチできた。よって、ケアプランの計画同様6か月で目標が達成できると判断した。

- 手すり:手すりを利用し、駐車場の段差をつまずくことなく昇降できるようにする。手すりを利用し、玄関と掃き出し窓の昇降を安全に事故無く行えるようにする。
- 歩行器:歩行器を利用し、屋外移動を安全に行えるようにする。
- 歩行補助つえ:歩行補助杖を利用し、転倒せず室内歩行を行えるようにする。

d モニタリングの実施

【時期(ヒアリング内容)】

- 目標達成時期である6か月をモニタリング訪問時期としていたが、本調査のため、3か月後に実施
- 3か月後のモニタリング訪問が、福祉用具の納品・住宅改修施工後の初回確認だった。それまで地域包括支援センター、利用者いずれからも特に連絡はなかった。
→納品前に予めデモ期間(10日程度)を設けており、それを踏まえての貸与開始だったため、納品後の確認は特に実施しなかった。

【モニタリング結果を踏まえた判断およびその理由(ヒアリング内容)】

- 貸与継続(貸与開始当初から想定していた)
→動作が安全になったから使わないというよりは、安全に使えるようになった状態を維持するために、貸与を継続していくという考えである。

【事故・ヒヤリハットの確認(ヒアリング内容)】

- モニタリングの訪問打診のために利用者に連絡をとった際、事故(転倒)があったことを把握
→転倒の危険性が高くないと想定していた段差のない箇所(リビングと台所の間のところ)で転倒が発生した。
→事前にどこで転倒したことがあるか、どこが危ないと思っているかを聞き取った上で必要な福祉用具等の提案を行い、必要なものを納品できたとは思っていたが、少し聞き取りが足りなかったのかと考えた。
→事故防止のため、転倒箇所に対し、突っ張り棒型の手すりを貸与するか、住宅改修で手すりを設置するか提案したが、利用者から拒否された。よって屋内で使っている歩行補助つえを常に使っていたかといと改めて説明し、注意喚起を促した。

【本事例におけるポイント(ヒアリング内容)】

今回は本調査のため3か月でモニタリング訪問したが、これがなければ半年後に訪問していた。3か月後のモニタリングで転倒があったことを把握できたが、地域包括支援センターの介護支援専門員も転倒の情報を把握していなかった。よって、今回は有意義な気づきが得られたと思う。

No.6	調査の目的 ③利用者が不適切な使用をしていないか
------	--------------------------

a 実態調査で把握した利用者の基本情報

利用者の基本情報	貸与開始時	モニタリング実施時	変化
(1) 性別	女性	-	-
(2) 年齢	77歳	-	-
(3) 要介護度	要支援1	要支援1	維持
(4) 介護が必要になった主な原因	関節疾患・関節リウマチ その他(脊柱管狭窄症)	関節疾患・関節リウマチ その他(脊柱管狭窄症)	変化なし
(5) ADL			
① 寝返り	つかまらないでできる	つかまらないでできる	維持
② 起き上がり	何かにつかまればできる	つかまらないでできる	改善
③ 立ち上がり	何かにつかまればできる	つかまらないでできる	改善
④ 移乗	自立(介助なし)	自立(介助なし)	維持
⑤ 座位	できる	できる	維持
⑥ 屋内歩行	つかまらないでできる	つかまらないでできる	維持
⑦ 屋外歩行	何かにつかまればできる	つかまらないでできる	改善
⑧ 移動	自立(介助なし)	自立(介助なし)	維持
⑨ 排泄	自立(介助なし)	自立(介助なし)	維持
⑩ 入浴	自立(介助なし)	自立(介助なし)	維持
⑪ 食事	自立(介助なし)	自立(介助なし)	維持
⑫ 更衣	自立(介助なし)	自立(介助なし)	維持
⑬ 意思の伝達	意思を他者に伝達できる	意思を他者に伝達できる	維持
⑭ 視覚	見える	見える	維持
⑮ 聴覚	聞こえる	聞こえる	維持
(6) 生活範囲			
① 自宅の寝室以外の部屋に行く頻度	毎日	毎日	維持
② 屋外に出る頻度(玄関外、ベランダ、中庭、(マンションの)廊下、車庫、庭または敷地内の通路など)	週4~6回	毎日	改善
③ 自宅の庭またはマンションの建物以外の近隣の場所への外出頻度	週1~3回	週1~3回	維持
④ 町内の近隣よりも離れた場所への外出頻度	週1回未満	週1回未満	維持
⑤ 町外への外出頻度	週1回未満	週1回未満	維持
(7) 障害高齢者の日常生活自立度	自立	自立	維持
(8) 認知症高齢者の日常生活自立度	自立	自立	維持
(9) 居住環境等			
① 世帯構成	その他	その他	変化なし
② 介護環境	本人を支援する家族が身近にいる(同居を含む)	本人を支援する家族が身近にいる(同居を含む)	変化なし
(10) 他介護予防サービスの利用状況	特になし	特になし	変化なし
(11) 特定介護予防福祉用具販売の利用状況	腰掛便座 入浴補助用具	腰掛便座 入浴補助用具	変化なし
(12) 介護予防住宅改修の実施状況	手すりの取付け	手すりの取付け	変化なし

※貸与開始時からモニタリング時に変化があった項目をグレーアウトしている。

※(9)①世帯構成「その他」は、利用者の息子同居だが、息子は2階、利用者本人は1階を主な生活環境としている。

介護予防サービス・支援計画書 (介護予防ケアプラン)	目標:歩行器を使用することで、下肢筋力向上を図り、後には電動自転車に乗って近くのケーキ屋に行けるようにしたい。
	支援計画期間:12 か月
目標を達成するまでの想定期間	歩行器(歩行車タイプ、2つ以上の車輪・キャスター付き)6か月 →近所のスーパーまで安全に移動できるようにしたい(12か月)
モニタリング想定時期	6か月後
事業所で設定している定期モニタリング実施頻度	貸与開始から4~6ヶ月以内

b 貸与開始時点での情報収集の状況

【情報収集を行った職種等】

- 介護支援専門員から得た利用者基本情報(フェイスシート)
- 福祉用具専門相談員による目視・動作確認
- 利用者・家族からの聞き取り
- 介護支援専門員からの聞き取り
- 当社以外の住宅改修事業者

【情報収集の方法(ヒアリング内容)】

- 地域包括支援センターの介護支援専門員から、少し足取りが危なくなってきた、お風呂、トイレがしんどくなってきたということで電話にて相談があった。
- 介護支援専門員からのフェイスシートを基に ADL 情報、生活背景を確認し、2~3日以内に利用者宅に訪問し、情報収集と家屋内の状況を確認した。

【本事例におけるポイント(ヒアリング内容)】

利用者宅に訪問した際、利用者本人からも多く聞き取りを行い、福祉用具貸与だけでなく入浴補助用具(シャワーチェア)、住宅改修(手すり)の必要性についても提案した。住宅改修自体の施工は利用者が懇意にしている業者に依頼したいとのことだったため、住宅改修事業者とも連携した。

c 目標を達成するまでの想定時期の根拠

【根拠】

- 福祉用具専門相談員としての見立て
- 利用者・家族による意向

【確認した事項】

- 利用者・家族の意欲・意向
- 身体状況・ADL
- 疾病・疾患
- 転倒・転落の経験
- 活動・参加の状況(外出の頻度や目的等)

【本事例におけるポイント(ヒアリング内容)】

1年後には近所のスーパーまで行けるとよいというのがケアプランの目標だった。介護支援専門員からの情報で歩行にふらつきがあるとのことだったため、まずは6か月以内の短期目標として、歩行器を使って転倒しないで屋外移動するとし、その後の経過を確認することとした。

d モニタリングの実施

【時期(ヒアリング内容)】

- 福祉用具貸与契約後、1週間後に電話で利用状況等を確認
→納品後、特に転倒や追加で必要な商品が発生するなどがなかったため、モニタリング実施まで利用者に連絡をすることはなかった
- 想定時期は6か月後としたが、本調査のため3か月後にモニタリングのために訪問
→利用者への聞き取りの中で、ヒヤリ・ハット(自宅前の砂利のところで転倒しそうになった)が発生していたことを把握した。介護支援専門員も把握していない情報だった。

【本事例におけるポイント(ヒアリング内容)】

利用者宅は大きな邸宅であり、玄関前から歩道に出るまでの距離が長く、砂利が敷いてある。転倒防止のため、玄関前から歩道までの距離を舗装するのは負担もあるため改善できないが、利用者本人が貸与中の歩行器を大変気に入っているため、貸与継続の判断をした。

貸与継続にあたっては、使用方法の再指導と注意喚起(特に砂利の場所での使用について)を行った。砂利の場所では気を付けて歩行して欲しいということを事前に伝えられなかった。事前のリスク把握が不足していたのかもしれない。

【モニタリング結果を踏まえた判断およびその理由(ヒアリング内容)】

- 貸与継続(貸与開始当初から想定していた)
→ADLの維持・向上ができているため
→生活範囲の維持・拡大ができているため
→適合しており、利用者が継続を希望したため
- 当初想定していた6か月後のモニタリング訪問時には、1年後の目標として考えていた「近所のスーパーまで安全に移動できるようにしたい」が達成できていた。
- モニタリング訪問時、歩行器の点検(タイヤの摩耗がないか、ブレーキが効いているか等)も実施したところ、座面に亀裂があったため交換対応を行った。メンテナンスまで対応したことで、利用者から「貸与はいいね」との声をいただいた。

2.2.8 検証結果

(1) 貸与期間設定の根拠

1) 多職種からの助言・情報共有を踏まえた根拠の設定

福祉用具専門相談員が設定した貸与期間の根拠として、個別事例 No.1 は医師からの助言（介護支援専門員からのフェイスシートでの共有）、個別事例2は介護支援専門員からの助言・情報共有、個別事例3はサービス担当者会議での情報共有、個別事例4は介護支援専門員からの助言・情報共有とりハビリテーション専門職からの助言・情報共有と回答しており、いずれの福祉用具専門相談員も多職種からの助言や情報を踏まえ、かつ、利用者・家族の意向・意欲や ADL、介護環境等の情報も含め、福祉用具専門相談員として貸与期間を設定していた。

本調査は介護予防支援であり、介護予防サービス・支援計画書（介護予防ケアプラン）の目標達成までの期間に準じて検討している部分も見られたが、多職種からの情報や利用者宅へ訪問した上での、福祉用具専門相談員としてのアセスメントの結果も踏まえ、利用者のニーズに沿った福祉用具の提案と貸与期間の設定が行われていた。

2) 福祉用具を利用する目的を踏まえた貸与期間の設定

個別事例 No.1 は豪雪地域での事例だった。本調査では9月から貸与開始となる利用者を対象としていたため、数か月で降雪が予想されていた。今回の事例では外出用に歩行器を貸与していた利用者だったが、季節的な要因も踏まえ、貸与期間は2か月と短期間に設定されていた。福祉用具を利用する目的を踏まえると、降雪により外出頻度が減るため、歩行器は不要になると想定できる。よって妥当な根拠であると言える。本事例では貸与期間設定の根拠の1つとして季節の要因があったが、他の事例においても福祉用具の利用目的を踏まえ、利用者の身体状況の改善を想定し貸与期間を設定している事例や、安全に生活していくために継続して利用することを想定して長期の貸与期間を設定している事例があり、福祉用具専門相談員は、利用者がその福祉用具をどのような目的で利用し、どのような目標を達成するために利用するのかを考え、貸与期間を設定していると考えられる。

3) モニタリング予定時期の設定

今回の調査では貸与開始後のモニタリング予定時期を検討いただき、その予定が3か月を超える場合にも調査期間の関係から3か月後にはモニタリングを実施していただいた。事業所向け調査結果では、介護予防福祉用具貸与における定期モニタリングを行う時期は、福祉用具貸与事業所としてルールを定めている場合、「貸与開始から4～6ヶ月以内」が 84.9%と最も多くなっており、個別事例に関するヒアリング調査でも、今回の調査がなければ6か月後に訪問する予定だった事例が多かった。しかし、今回予定より早く(3か月後)に訪問したことによって、以下のような気づきが得られていた。

- ・ 住み慣れた自宅ではあるが、病院からの退院後の福祉用具利用だったため、病院での生活環境と福祉用具が設置された自宅での生活による、環境の変化があったため、早めにモニタリングを実施してよかった。

- ・ 福祉用具を提供し、安全な環境づくりができたため、半年後に訪問すれば問題なく生活できているだろうと思っていたが、今回の調査で早めに訪問したことで転倒していたことが把握できた。

今回、個別事例のヒアリングを実施した6事業所のうち、1事業所では事業所のルールではなく福祉用具専門相談員個々に、貸与している福祉用具や利用者の状況を踏まえてモニタリング訪問時期を決めていると回答した。例えば、天井突っ張り型手すりの場合は緩みやすいため概ね3か月後に実施する、身体状況に不安がある方には2か月後に訪問するなどであった。しかし、事業所として6か月に1回と決めている場合にも、以下のようなケースでは短期間でモニタリングを実施するという回答も得た。

- ・ 利用者の状態に変化があった(または予想される)場合
- ・ 利用者や介護支援専門員から訪問の要望があった時
- ・ 住宅改修や福祉用具貸与により環境変化が大きい場合(段差解消、複数の手すりを設置など)
- ・ 歩行器を初めて貸与する利用者(操作に慣れていない場合、普段の走行場所に危険がありそうな場合など)
- ・ リフトなど操作方法の理解が難しい用具を貸与する利用者・家族の場合

上記のことから、福祉用具貸与事業所としての概ねの訪問時期を決めている場合でも、福祉用具専門相談員は利用者の状況や介護環境(家族等)、使用にあたり注意が必要な福祉用具を貸与する場合など、個々の状況にあわせて柔軟にモニタリング訪問時期を設定することがわかった。

(2) 「貸与される福祉用具の過不足」の確認

1) 利用者の活動範囲の拡大による福祉用具の変更

個別事例 No.2 は、進行性の疾患(パーキンソン病)を踏まえて継続的に利用する想定で歩行器を選定し、貸与している事例だった。3か月後のモニタリングでは ADL の変化はなかったが、福祉用具を利用することになり、転倒不安が減り、活動意欲が向上していた。生活範囲として「自宅の庭またはマンションの建物以外の近隣の場所への外出頻度」が貸与開始時には「週1~3回」だったがモニタリング実施時には「週4~6回」に増加していた。本事例では家屋内で当初通らない想定だった場所も、活動意欲の向上により通る必要が発生し、歩行器の機種を変更したというものだった。

今回の事例に限らず、実際に一定期間使用したことで利用者のニーズや意識、活動範囲が当初と変わってくることは想像できる。デモ期間を設け使いやすさや操作方法を確認する福祉用具貸与事業所は多くあると想像できるが、本事例のように、福祉用具を使うことで活動範囲が広がるなど、数か月使用したことで変化する点もあるだろう。一方、実際の生活の中で使ってみると、使いにくい、あまり使用しないなどによって変更や回収となることも考えられるため、身体状況の変化だけでなく、利用者のニーズや活動範囲の変化なども想像し、貸与開始後の初回は通常よりも短い期間でモニタリングを実施し、確認するという点も、利用者にとって過不足のない福祉用具の利用になるのではないかと考えられる。

2) 多職種からの助言を踏まえた提案による福祉用具の回収(貸与開始時からの想定)

個別事例 No.4 は、リハビリテーション専門職との情報共有を踏まえ、当初から継続的に利用が想定される手すりは住宅改修として提案し、身体状況の改善に伴い不要となるものは貸与として提案していた事例だった。退院をきっかけに福祉用具の利用開始となった事例であったため、入院中に利用者に関与していたリハビリテーション専門職からの助言・情報共有を受け、福祉用具利用による目標を達成するまでの想定時期が検討され、それに基づいた提案を実施していた。リハビリテーション専門職からの助言や、通所リハビリテーションにも通うことも含め、福祉用具専門相談員としても ADL の改善を貸与開始時から想像しており、トイレの手すりについては6か月後には必要がなくなるだろうと考えていた。本調査のため3か月後にモニタリングを実施しているが、当初の想定通り改善の方向にあり、予定通り6か月後にはトイレの手すりは回収予定とのことだった。

本事例は退院前カンファレンスに出席したことでリハビリテーション専門職から情報を得ることができた事例だった。また、福祉用具専門相談員としても自身の見立てだけでなく、多職種からの助言も参考に、利用者の今後の状況や、提案すべき福祉用具について住宅改修と福祉用具貸与をその目的を踏まえて利用者に提案し、その後の状況も当初の見立て通り進行しており、多職種連携が有益なものであると言える。

本事例では退院がきっかけであったため、リハビリテーション専門職との情報共有がしやすい状況にあったと想像できるが、どのような情報を聞き取り、自身の提案に反映させるかは、福祉用具専門相談員の意識やスキルにもよるところと考えられる。また、他の事例では介護支援専門員が、医師からの助言をフェイスシートで共有しており、その情報を参考にしている福祉用具専門相談員もいた。医療職との連携はなかなか難しいという実態はあるものの、本事例の通り、多職種からの情報共有を踏まえた提案を行うことで、利用者にとって過不足のない提案に繋がるのが改めて把握できた。

3) 実施体制を踏まえたモニタリングにおける確認・提案

今回ヒアリングを実施した福祉用具専門相談員の中には、自分の担当利用者以外の利用者のモニタリングを実施しているケースがあった。その場合、住環境(段差の有無など)をモニタリング訪問時にも確認し、その際に必要と感じた福祉用具については追加の提案を実施しているとのことだった。

事業所向け調査結果でも、介護予防福祉用具貸与におけるモニタリング実施体制は、「担当の福祉用具専門相談員が原則対応している」が59.4%、「モニタリング専門の福祉用具専門相談員が原則対応している」47.6%であり(図表10)、本調査に回答した半数程度の事業所では利用者への貸与開始時の提案者と利用後のモニタリング実施者が異なっていた。貸与開始時の提案者とモニタリング実施者が異なる場合、モニタリング訪問時に住環境や利用者の状況、ニーズ把握等、別の視点での確認や提案ができる一方で、目標達成に向けた継続的な支援を行うためには、担当者間での連携・情報共有が一層重要となる。

モニタリング実施体制は事業所の規模等によって異なると考えられるが、いずれの体制の場合も、貸与開始の状況等を踏まえて適切な時期にモニタリング訪問を実施することは、ケアプランの目標達成に向けた利用者への支援に繋がり、福祉用具専門相談員の重要な役割と言える。

(3) 「利用者が不適切な使用をしていないか」の確認

1) 事故、ヒヤリ・ハットの発生状況

個別事例 No.5、No.6いずれもモニタリング訪問時または訪問のため利用者に連絡をした際に事故があったことを把握した事例だった。

個別事例 No.5 は、歩行に不安があるということで事前に介護支援専門員から手すり、歩行器、歩行補助つえの提案依頼があり自宅を訪問した事例だった。訪問時、福祉用具専門相談員は、利用者からの聞き取り、家屋内の危険箇所や段差などを確認し、住宅改修や福祉用具で改善ができる部分についてはアプローチできたとのことだった。また、歩行器等の納品前には予めデモ期間(10 日程度)を設け、利用状況を確認した上での貸与開始となっていた。しかし、後日利用者に連絡をした際、当初、転倒の危険性が高くないと想定していた段差のない箇所転倒が発生していたことを把握した。事前の聞き取りや必要な住宅改修、福祉用具を提供していたが想定外で発生した事故であった。福祉用具に起因するものではなかったが、利用者が日々の生活の中で、たまたま福祉用具を使用していない場所での発生であり、その後も貸与は継続されている。事故把握後の対応として、発生箇所への追加提案(手すりの貸与)を実施したが、利用者が拒否されたということで、貸与中の歩行用補助つえを常に使っていた点について改めて説明し、注意喚起を促していた。

個別事例 No.6は歩行器の利用でのヒヤリ・ハット(転倒しそうになった)の発生だった。納品後、1週間後に電話で利用状況等を確認しており、特に転倒や追加に必要な商品がないことは確認していた。当初のモニタリング実施予定は6か月後としていたが、本調査のため3か月後にモニタリングを実施し、その際、利用者への聞き取りの中で転倒しそうになったことを把握した。介護支援専門員も把握していない情報だったとのことであり、通常より早い時期に訪問したことで、ヒヤリ・ハットの把握ができ、事故に至る前に使用方法の再指導、注意喚起ができた事例だった。

2) 利用安全に向けた取組

いずれの事例も使用開始時には使用方法の説明や注意喚起を行っていたが、福祉用具専門相談員が想定していない場所で事故やヒヤリ・ハットが発生していた。また、いずれも利用者から連絡があったものではなく、福祉用具専門相談員からの連絡やモニタリング訪問時の聞き取りで把握した情報であり、問題なく使用できているだろうと想定されていても、福祉用具専門相談員側から確認することも有用なことと考えられる。

また、他の事例のヒアリングの中では、事故防止にあたり、納品時だけではなくモニタリングの都度、毎回基本的な操作方法等を含め説明している、ヒヤリ・ハットの画像などを見せながら、「こんなことはなかったか」という聞き取りを実施しているという福祉用具専門相談員もいた。全てのリスクについて把握することには限界があるが、早期にリスクを把握し、改善に向けた提案をすることや、繰り返し注意喚起を行うことも福祉用具専門相談員として必要な役割であると考えられる。